

Panasonic®

取扱説明書 活用ガイド ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-4TS204S



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(6~10ページ) を必ずお読みください。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください (→6 ~ 10 ページ)

本機の特長とご案内	4
本書のご案内	11
付属品 / リモコンの準備	13
各部の働き	14

接続と設定を行う

接続の前に	17
テレビやアンテナと接続する	20
ネットワーク接続の準備をする	26
テレビとアンプ（スピーカー）を HDMI 端子で接続する	29
電源コードを接続する	30
• 困ったときには	30
かんたん設置設定をする	31

メディア情報・画面説明

記録できるディスクについて	35
再生のみできるディスク / 使えないディスクについて	37
USB-HDD の録画について	38
USB 機器について	42
本機の電源を入 / 切する	43
画面上の操作について	44

視聴

受信できるデジタル放送と 記録の制限について	46
テレビ放送を見る	47
4K 放送の番組について	50

録画

録画モードについて	51
4K 放送の録画、ダビングについて	53
放送中の番組を録画する	54
番組表の見方	55
• 文字サイズを変更するには	55
番組表 (G ガイド) を使って	
予約録画をする	57
• 録画中の予約録画を止める	60
番組を検索する	63
番組ニュースを確認する	65
新番組 / 特番 / 初放送の 確認や予約をする	66
日時を指定して予約録画する (時間指定予約)	67
予約内容の確認、取り消し、修正など	68
自動予約する	69
• おまかせ録画する	69
• 関連する番組を自動で予約録画する (カテゴリまとめて予約)	71
• お取りおき番組を自動で予約録画する	73
• ニュース番組を自動で予約録画する	74
予約録画の便利な機能	75
録画 / 予約録画に関するお知らせ	76
スカパー！プレミアムサービス対応	
チューナーから録画する	78
CATV (ケーブルテレビ) から録画する	79
番組の同時録画について	80

目次 (続き)

再生・編集

録画一覧について	81
録画した番組を再生する	83
Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、 DVD ビデオを再生する	89
再生中のいろいろな操作	91
再生設定をする	94
番組を消去する / 編集する	97
チャプターの作成・再生・編集	101

ダビング

番組のダビングについて	103
番組をダビングする	104
ディーガやビエラなど 他機器からダビングする	112

ビデオカメラ

ビデオカメラから取り込む	114
--------------	-----

写真・動画・音楽

写真や動画を取り込む	118
写真や動画を再生する	119
写真や動画を書き出す	123
スマートフォンの写真や動画を 本機で受信する	125
ネットワークカメラの動画を本機で 受信する	126
音楽 CD を再生する / HDD に取り込む	127
音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す	128

本機の操作ができなくなったときは …



便利機能

録画した番組をモバイル機器に転送する	131
ビエラリンク (HDMI) を使う	134
お部屋ジャンプリンクを使う	136
DIGA Drive 機能を使う	138

必要なとき

本機で記録できるようにする (フォーマット)	141
ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 録画一覧の全番組消去	142
ファイナライズ	143
文字入力	144
設定を変える	145
• リモコンを使うと他機器が同時に 動作するのを防ぐ	162
• 本機のリモコンでテレビを操作する	163
ソフトウェアの更新について	168
取り扱いについて	169
同時操作について	172
こんな表示が出たら	175
表示マーク一覧	177
故障かな!?	183
仕様	191
著作権など	203
保証とアフターサービス (よくお読みください)	207
さくいん	208

① 本体の [S/I] を押し、電源を切る

- 切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。
(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)

② 本体の [S/I] を押し、電源を入れる

- (起動に時間がかかる場合があります)
故障かな!? と思った場合 (→183)

本機の特長とご案内

便利に使えるスマホアプリ「どこでもディーガ」(→166)

- 本機で録画した番組をスマホ／パソコンで楽しめます。※1、※2、※3
- 本機に取り込んだ音楽・写真・動画をスマホで楽しめます。※1、※3、※4
- 離れて暮らす家族がスマホで撮った子どもの写真・動画を、テレビの大画面で楽しめます。※1、※3、※4

※1 スマホやタブレットに視聴アプリ「どこでもディーガ（無料）」のダウンロードが必要です。どこでもディーガに関する詳細は下記ホームページをご覧ください。

https://panasonic.jp/support/av/d_diga/



※2 パソコンに（株）デジオン製のWindows用視聴アプリ「DiXiM Play U Windows版」のダウンロードが必要です。

DiXiM Play U Windows版に関する詳細は下記（株）デジオンのホームページをご覧ください。
「DiXiM Play U Windows版」

<https://www.digion.com/sites/diximplay/windows-u/>

※3 本機は日本国内に設置のうえ、私的使用の範囲その他法律において明示的に認められている範囲でお使いください。本機の使用状況によっては視聴できない場合があります。ご利用のネットワーク環境により、ファイアウォールや無線ブロードバンドルーターの設定が必要になる場合があります。共用設備などでセキュリティーレベルが高く設定されている環境ではご利用になれない場合があります。携帯電話回線での宅外視聴では多くのパケットが必要となることがあります。パケット料金にお気をつけください。海外で視聴する場合は、上記のほか、お使いのスマートフォンやタブレットなどの携帯端末が各国の規制基準を満たしておらず使用が認められない場合がありますので、携帯端末の仕様と各国の法規をご確認ください。また、ネットワーク環境によっては視聴できない地域があります。詳しくは当社ホームページ（<https://panasonic.com/jp/support/recorder/>）をご覧ください。

※4 スマートフォンやタブレットなどの端末と本機とをインターネットに接続した状態で、本機に表示される登録番号を視聴アプリに入力する必要があります。

お録りおき機能 (→73、87)

ドラマを約90日間お録りおき^{※5}。さらにアニメもお録りおきできて^{※6} もっと録り逃しなし。

※5 19時～22時台に放送開始する地上デジタル放送のドラマを設定した場合。

（お録りおき日数は、1日当たり3時間分の番組を録画したときの日数です）

● お録りおき録画の設定が必要になります。

● 搭載チューナー数を超える同時録画はできません。

※6 ドラマ／アニメのお録りおき時間帯を設定できます。設定したジャンル／時間帯の組み合わせによって、お録りおき日数は変動します。ドラマとアニメを設定した場合、お録りおきできる日数が短くなります。

本機の特長とご案内（続き）

写真・動画、CD 楽曲をためて家族で楽しめる

- スマートフォンやカメラの写真や動画を保存してテレビで楽しめます。（→119、166）
- 写真や動画を自動で分類しておまかせアルバムを作成します。（→119）
- ペットの動画もかんたんに取り込めます。（→126）
- 思い出の写真や動画を自動でディスクに保存することができます。（→123）
- CD を再生したり楽曲を本機に取り込んで楽しめます。（→127）

充実の録画機能

- 4K 放送チューナーを搭載し、4K 放送番組の録画やダビングができます。
- 4K 放送を 4K 画質モードで長時間録画することができます。
- 新 4K 衛星放送 1 番組を含む、最大 3 番組を同時に録画できます。

本機で Ultra HD ブルーレイの HDR 機能を楽しむには

Ultra HD ブルーレイを再生したときに、HDR 対応のメッセージが表示された場合はテレビの HDR 設定を確認してください。

- 2015 年または 2016 年に発売された当社製の 4K/HDR 対応のテレビ（CX800 など）をお使いの場合、以下のテレビの設定を確認してください。
 - テレビを HDMI 入力に切り換える
 - テレビのリモコンボタンの「メニュー」を押す
 - 「機器設定」の「HDMI HDR 設定」を選ぶ
 - 「HDMI HDR 設定」の「オン」を選ぶ
- 当社製以外の他社製 4K/HDR 対応のテレビをお使いの場合、テレビの説明書をご覧ください。
- HDR 非対応のテレビの場合、メッセージが表示されますが、HDR 信号を変換した映像を再生します。

電源 [切] 時の動作について

本機は、電源 [切] の状態でも、録画や番組表データの蓄積など内部で動作していることがあります。本体の上面や底面などが熱くなることがあります、本機の性能・品質には問題ありません。



安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグ
を抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常ににおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



接触禁止

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。



電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電やショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。



電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



戻る

安全上のご注意（必ずお守りください）（続き）

警告



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止 感電の原因になります。



分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かないでください。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



可燃性ガスのスプレー等を使用しない

清掃用などの可燃性ガスを本機に使用すると、静電気などの影響により、火災の原因になることがあります。



電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- \oplus と \ominus を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- \oplus と \ominus を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になりますので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。



使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください）（続き）

！警告



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあります。誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります。誤動作による事故の原因になります。



心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から15 cm以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。



本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。



放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。



不安定な場所に置かない

- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

安全上のご注意（必ずお守りください）（続き）

⚠ 注意



屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。



長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやUSB機器は、保護のため取り出しておいてください。



長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。



ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。



機器の前にものを置かない

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。



光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良的人は3D映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。



3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。



3D映像の視聴年齢については、およそ5~6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

⚠ 注意



3D 映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合は、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D 映像の見えかたには個人差がありますので、「3D 設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。



スピーカー等の磁気を発生する機器を本機の上に載せない

磁力や振動の影響により、誤動作や故障の原因になることがあります。

本書のご案内

ディスクなどのマーク表示について

本書では、ディスクなどは以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD
BD-RE*	BD-RE
BD-R*	BD-R
BD ビデオ	BD-V
Ultra HD ブルーレイ	
DVD-RAM	RAM
DVD-R	R
DVD-R DL	
DVD-RW	RW
DVD ビデオ	DVD-V
+R、+R DL、+RW	
CD	CD
USB 機器	USB
USB-HDD	USB-HDD

*DL、BDXL も含みます。

- 同じディスクでも記録方式の違いなどで動作が異なる場合、表示マークに記録方式を付与しています。
 - AVCREC 方式の場合 : 例) **R AVCREC**
 - VR 方式の場合 : 例) **R VR** **RW VR**
 - ビデオ方式の場合 : 例) **R V** **RW V**
(ただしファイナライズ後は **DVD-V**)
- ハイビジョン動画 (AVCHD) が記録されたディスクの場合は、**AVCHD** と表示
- MP4 の動画が記録された USB-HDD (写真・音楽用フォーマット、SeeQVault フォーマット) (→38) の場合は、**MP4** と表示
- 特に記載がない場合、本書で「BD ビデオ」と記載している内容は、Ultra HD ブルーレイを含みます。

参照ページについて

- 本書内で参照していただくページを (→〇〇) で示しています。

本書のご案内（続き）

当社ホームページとサポートサイトのご案内

本機を使用していただくための情報を掲載しています。



お持ちのパソコンまたはスマートフォンからご覧ください。



スマートフォンの場合は、左記のQRコードからもご覧いただけます。

- 「よくあるご質問」：
困ったときはこちらをご確認ください。
- 動作確認情報
- スマートフォンのアプリ情報
- ソフトウェアのダウンロード情報
- 取扱説明書 活用ガイド：
PDF形式のデータをダウンロードできます。
など

サポートサイトは以下のアドレスからもご確認いただけます。

<https://panasonic.com/jp/support/recorder/>



ホームページの内容は変更される場合があります。
あらかじめご了承ください。

本機の設置について

- アンプなどの熱源となる物の上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。



タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。

つゆつき（結露）について

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

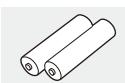
- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - ・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
 - ・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - ・梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約2～3時間）、電源を切ったまま放置してください。

付属品 / リモコンの準備

付属品



リモコン（1個）
N2QAYB001291



リモコン用乾電池（2個）
単3形乾電池



電源コード（1本）
K2CA2YY00402

- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 電源コードキャップ* および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- ※ 付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2025年9月現在のものです。
変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル（別売）が必要です。

付属品の一部および別売品は販売店でお買い求めいただけます。

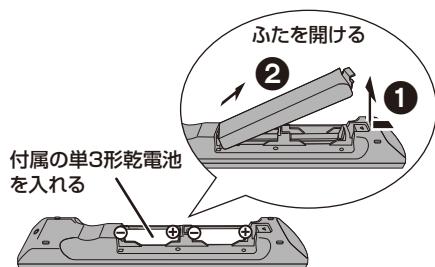
パナソニックの公式通販サイトでお買い求めいただけるものもあります。

詳しくはパナソニックの公式通販サイトをご覧ください。

パナソニックの公式通販サイト
<https://panasonic.jp/store/>



リモコンに電池を入れる

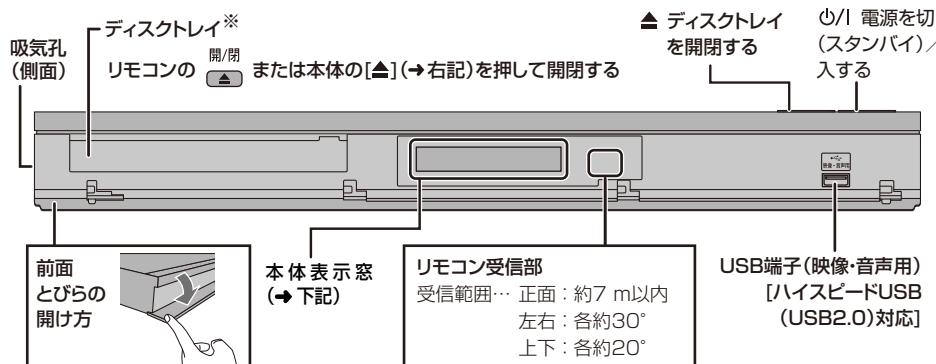


リモコンのふたを閉じるときは、開けるときと逆の手順②①で閉じてください。

- \oplus/\ominus を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

各部の働き

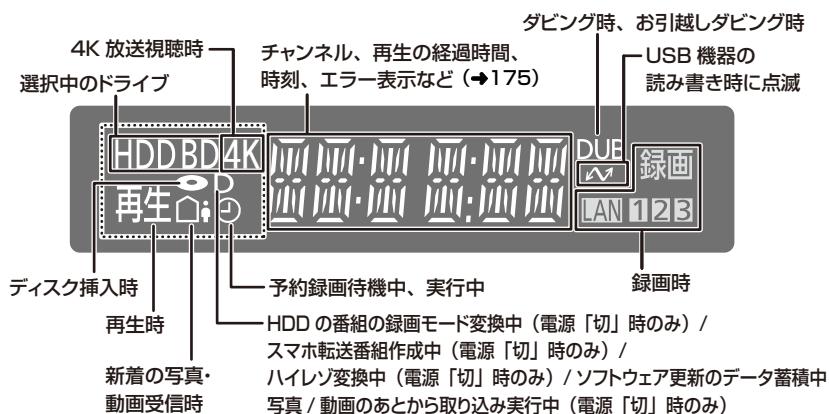
本体前面



- ※ • ディスクはラベル面を上にして入れてください。両面ディスクの場合は、記録または再生したい面を下にして入れてください。
• かんたん設置設定 (→31) が完了していないと、ディスクトレイの開閉はできません。

本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。

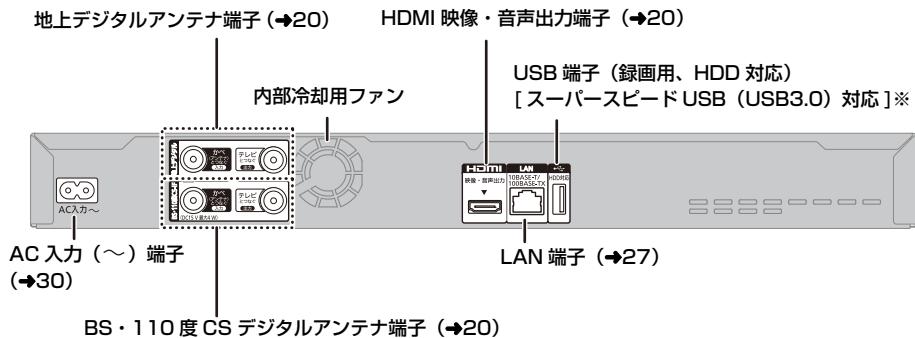


お知らせ

- 電源「切」時に本体表示窓に時刻を表示するには、以下①～③の設定にしてください。
 - 「クイックスタート」(→146) を「入」に設定
 - 「クイックスタートモード」(→146) を「標準」に設定
 - 「ECOスタンバイ」(→151) を「切」に設定
 ただし、「節電待機」(→43) で電源を切ると、時刻は表示されません。

各部の働き (続き)

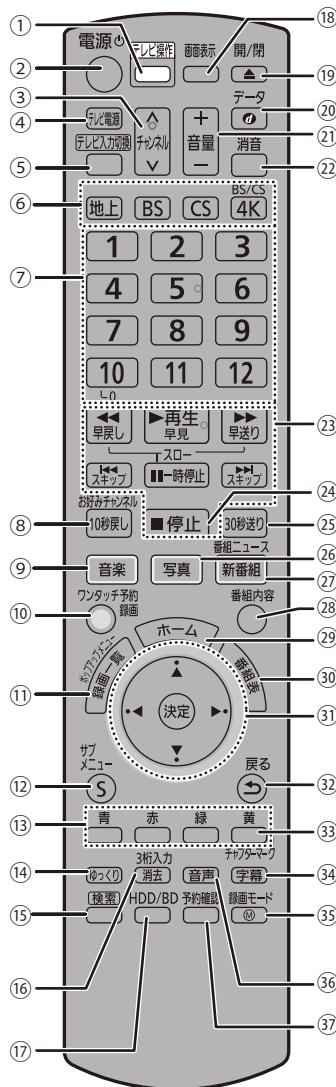
本体背面



※ 録画用 USB-HDD、写真・音楽用 USB-HDD、SeeQVault 対応 USB-HDD を接続する場合は、この端子に接続してください。 (→38)

各部の働き (続き)

リモコン



- ① テレビ操作モードにする (→164)
- ② 本機の電源を切 / 入する
- ③ チャンネルを順に選ぶ
- ④ テレビの電源を切 / 入する
- ⑤ テレビの入力を切り換える
- ⑥ 放送を切り換える (→47)
- ⑦ チャンネルなどを番号で選ぶ / 文字を入力する
- ⑧ 約 10 秒前へ戻す (→91) /
お好みチャンネルを表示する (→48)
- ⑨ HDD の音楽一覧を表示する (→128)
- ⑩ 録画する (→54) / ワンタッチ予約する (→57)
- ⑪ 録画一覧/ポップアップメニューを表示する (→83、89)
- ⑫ サブメニューを表示する
- ⑬ 画面上の指示に応じてさまざまな用途に使用する
- ⑭ 番組をゆっくり再生する (→93)
- ⑮ 検索画面を表示する (→63)
- ⑯ 番組の消去や予約の取り消しをする / 3桁番号を入力してチャンネルを選局する (→47)
- ⑰ HDD/BD を切り換える
- ⑱ 情報を表示する (→48、93)
- ⑲ ディスクトレイを開閉する
- ⑳ データ放送の画面を表示する
- ㉑ テレビの音量を調整する
- ㉒ (テレビ操作モード時) 一時的にテレビの音を消す
- ㉓ 番組や再生時の基本操作をする
- ㉔ 番組や再生を停止する
- ㉕ 約 30 秒先へ飛び越す (→91)
- ㉖ HDD の写真 / 動画一覧を表示する (→119)
- ㉗ 新番組 / 特番おしらせ画面を表示する (→66) / 番組ニュース画面を表示する (→65)
- ㉘ 番組内容を表示する (→48、92)
- ㉙ ホーム画面を表示する (→44)
- ㉚ 番組表を表示する (→57)
- ㉛ 選択および決定する
- ㉜ 前の画面に戻る
- ㉝ チャプターマークを作成・削除する (→101)
- ㉞ 字幕を切り換える (→48、93)
- ㉟ 録画モードを選ぶ (→54)
- ㉟ 音声を切り換える (→48、93)
- ㉞ 予約一覧画面を表示する (→68)

お知らせ

- リモコンを使うと他の当社製レコーダーなどが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。 (→162)
- 本機のリモコン受信部 (→14) にまっすぐ向けて、操作してください。

接続の前に

接続の流れ

接続1

テレビやアンテナと接続する (→20)

接続2

ネットワーク接続の準備をする (→26)

接続3

テレビとアンプ(スピーカー)を HDMI 端子で接続する (→29)

接続4

電源コードを接続する (→30)

本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル（別売）が必要です。接続するテレビに合わせて HDMI ケーブルをご準備ください。

当社製 HDMI ケーブルはパナソニック製品取扱店でお買い求めいただけます。

●4K/60p をお楽しみになりたい場合は、18 Gbps 対応の HDMI ケーブルが必要です。

●上記以外の場合は、「ハイスピード HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

設定の流れ

リモコンの設定 (→31)

4K対応テレビとの接続確認 (→32)

ネットワーク設定 (→32)

チャンネル設定 (→34)

- 各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。（本機の電源コードは、すべての接続が終わったあと、接続してください）
- 各機器の説明書もご覧ください。

接続の前に（続き）

本機は「BS4K/110度CS4K放送」の視聴や録画することができます。（下記の表に記載の放送局名は変更される場合があります）

- ・従来のBS・CSデジタルアンテナ（右旋円偏波対応）に本機を接続することで、4K放送が楽しめます。
- ・さらに多くのチャンネルを視聴する場合は、「SHマーク」対応のBS・CSデジタルアンテナ（左旋円偏波対応）や接続機器などが必要です。詳しくはお買い上げの販売店へご相談ください。

受信できる BS4K/110度 CS4K放送	NHK BS4K BS朝日4K BSフジ4K BS-TBS4K BSテレ東4K BS日テレ4K	左記以外の BS4K放送	スカパー！などの 110度CS4K放送
接続する機器			
従来の機器*で接続 する場合	 (受信可)	 (受信不可)	 (受信不可)
SHマークのある機 器で接続する場合	 (受信可)	 (受信可)	 (受信可)
→			
従来の機器*で接続 する場合			A (→20)
→			B (→21)
→			C (→22)
→			D (→23)
→			E (→24)
SHマークのある機 器で接続する場合			
セットトップボックス (CATV・光回線など) を利用する場合			
 ケーブルテレビの端子			

* 従来の機器：従来ご使用のBS・110度CSデジタル放送を受信できる環境（アンテナ、分配器、分波器など）

接続の前に（続き）

お知らせ

- 本機では8K放送は受信できません。
- アンテナケーブルを接続する場合は、アンテナプラグが外れないようにF型接栓をご使用になることをお勧めします。F型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付け過ぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
- 分配器を使って本機とテレビにBS・CSデジタルアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
- 接続状態により、分波器や分配器、専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。



混合している複数の電波をBS・CSと
UHF・VHFに分波します。



電波を本機とテレビなど複数の機器に
分配します。

- HDMIケーブルが端子から外れないようにしっかりと接続してください。

☞ テレビに本機の映像が映らない場合は（→30）

本機はアナログ出力端子がありません。HDMI端子のないテレビでは、ご利用になれません。

ACASチップとACAS番号について

本機はデジタル放送を受信するためのACASチップを内蔵しています。 そのため、従来機器のようなB-CASカードの挿入は不要です。

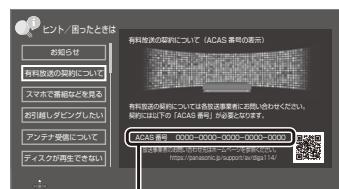
- 本機は、高精細な映像コンテンツを保護するため、ACASチップ*を内蔵しています。(B-CASカードは同梱していません)
- ※ ACASチップにはACAS番号(20桁)が書き込まれています。NHKの受信契約メッセージ消去や有料放送を視聴するには、ACAS番号が必要です。ACAS番号をご確認のうえ、保証とアフターサービス（→207）の記入欄にメモしておいてください。
- 本機を譲渡または廃棄される場合には、ご契約先のNHKや有料放送に解除または変更連絡をしてください。

ACAS番号を確認するには

以下の手順で確認することができます。確認は接続と設定終了後に行うことができます。（→34）

① ホーム を押す

② データ を押す



接続1 テレビやアンテナと接続する

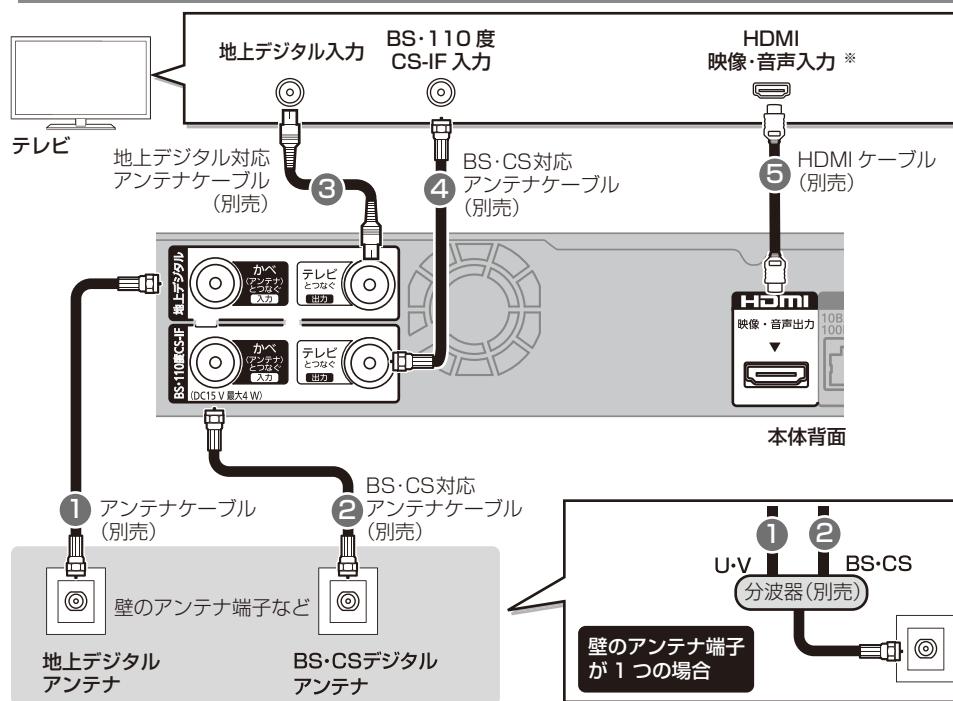
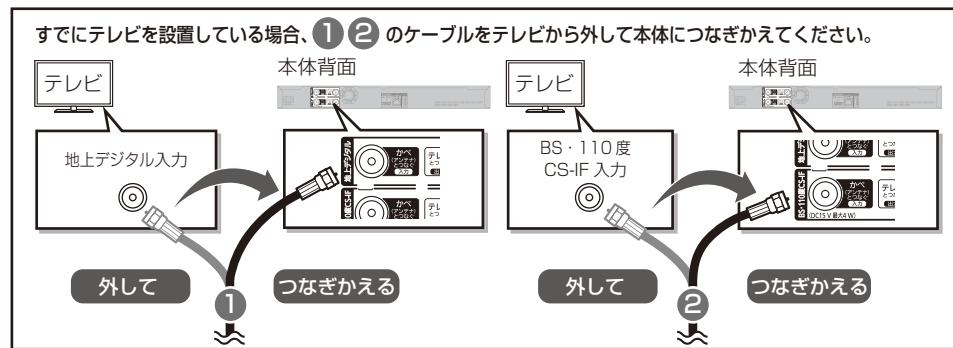
A

テレビと接続する場合（従来の機器で接続）

- ①～⑤のケーブルを接続してください。
(BS/CS を視聴しない場合、②④の接続は不要です)

BS4K/110度 CS4K 放送は、下記接続では一部の放送局しか受信できません。

すべての放送局を受信したい場合は C (→22) の接続をしてください。



* 4K 出力するには、4K 対応テレビの HDMI 端子に接続してください。

接続1 テレビやアンテナと接続する (続き)

B

すでに別のレコーダーが接続されている場合（従来の機器で接続）

①～⑤のケーブルを接続してください。

(別のレコーダーからテレビに接続している HDMI ケーブルは接続したままにしてください)

BS4K/110 度 CS4K 放送は、下記接続では一部の放送局しか受信できません。

すべての放送局を受信したい場合は D (→23) の接続をしてください。

①②のケーブルをテレビから外して本体につなぎかえてください。

テレビ

地上デジタル入力

外して

本体背面



つなぎかえる

テレビ

BS・110度 CS-IF 入力

外して

本体背面



つなぎかえる

テレビ

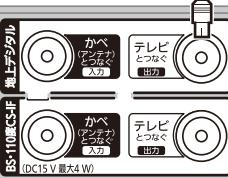
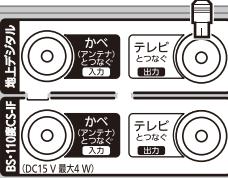
地上デジタル入力

BS・110度 CS-IF 入力

HDMI 映像・音声入力 *

別のレコーダー

① アンテナ
ケーブル
(別売)



地上デジタル
対応
アンテナケーブル
(別売)

BS・CS 対応
アンテナケーブル
(別売)

⑤ HDMI
ケーブル
(別売)

地上デジタル
アンテナ

地上デジタル
入力

BS・110度
CS-IF 入力

地上デジタル
出力

BS・110度
CS-IF 出力

② BS・CS 対応
アンテナケーブル
(別売)

本体背面

BS・CS
デジタルアンテナ

上記の接続で映像が乱れる場合

アンテナレベルが不足しているなどの理由でテレビの映像が乱れることがあります。

その場合は、下記のようにアンテナ接続をしてください。

分配器
(別売)

地上デジタル入力

BS・110度 CS-IF 入力

分配器
(別売)



地上デジタルアンテナ

* 4K 出力するには、4K 対応テレビの HDMI 端子に接続してください。

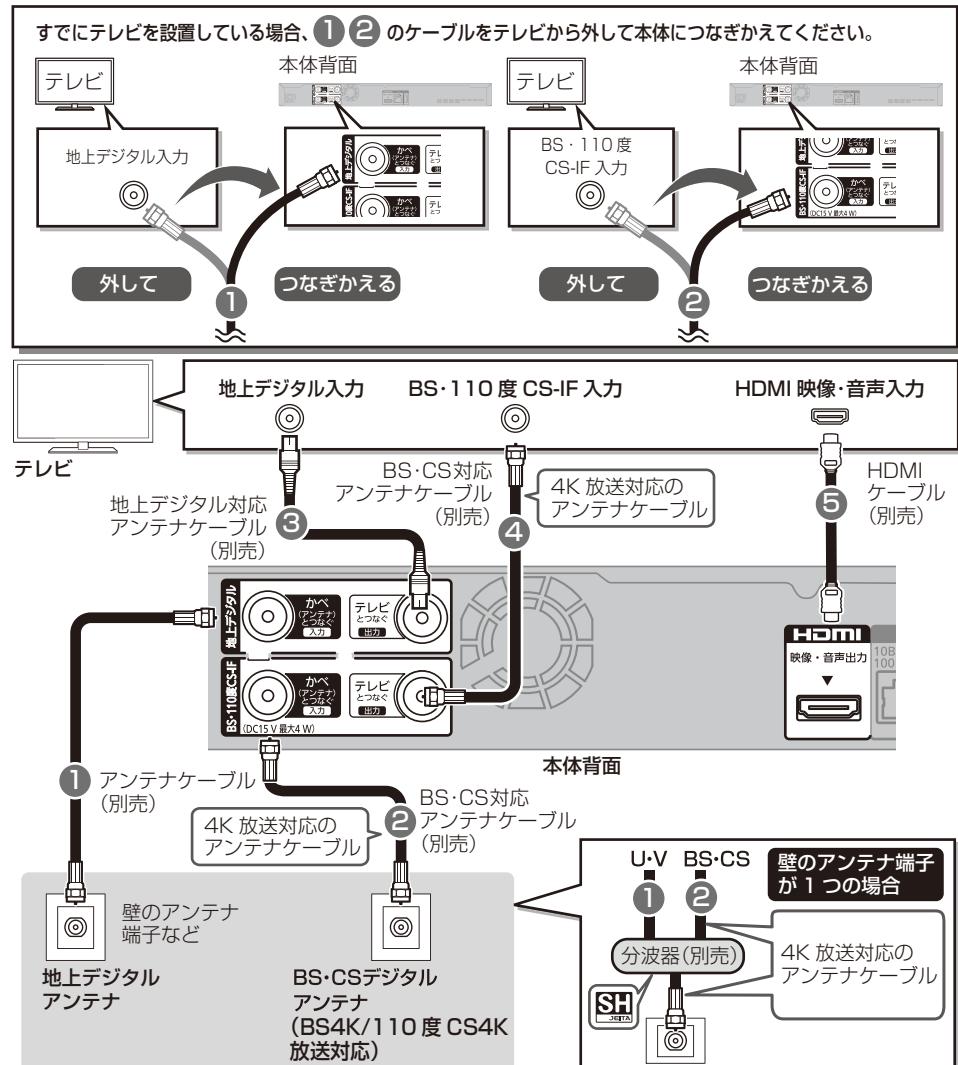
接続1 テレビやアンテナと接続する (続き)

C

テレビと接続する場合 (SHマークのある機器で接続)

①～⑥のケーブルを接続してください。

A の接続では BS4K/110 度 CS4K 放送は一部の放送局しか受信できません。すべての放送局を受信したい場合は下記の接続をしてください。本機で 8K 放送を受信することはできません。



• BS4K/110度 CS4K 放送を受信するためには、SHマーク (SH) の付いている接続機器をご使用ください。

接続① テレビやアンテナと接続する (続き)

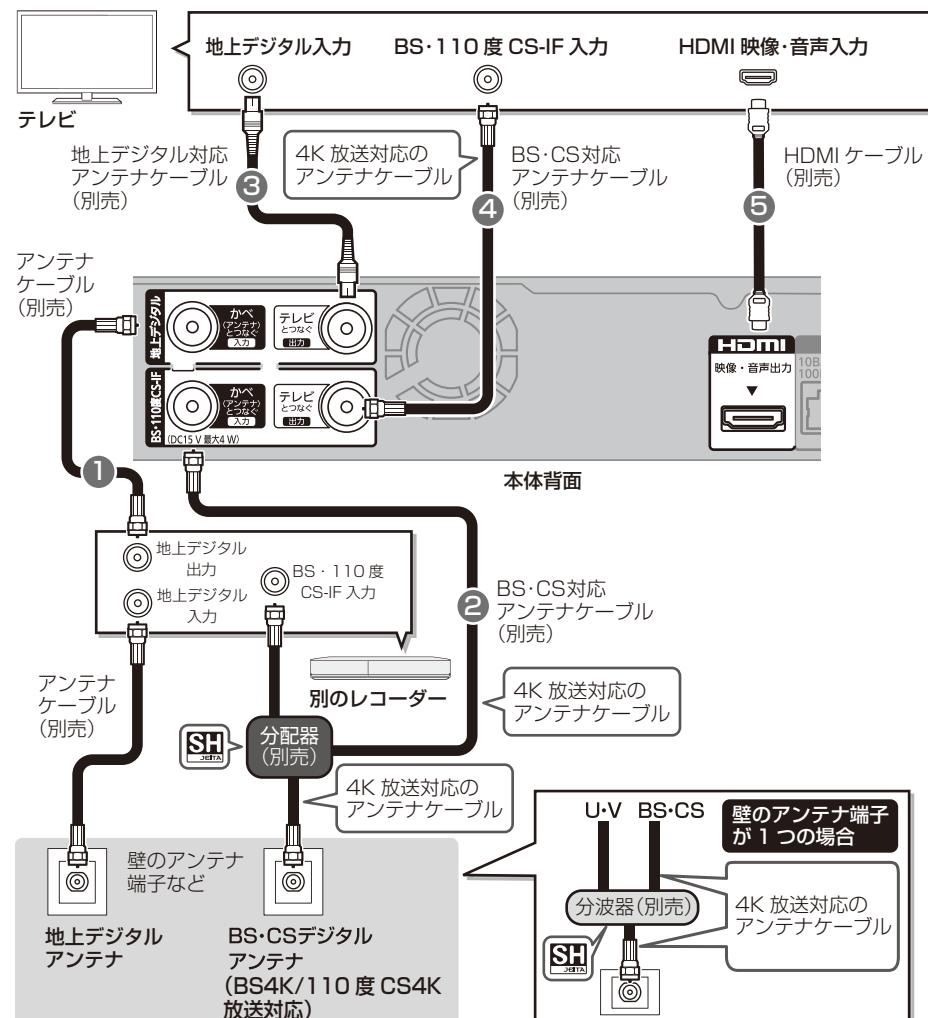


すでに別のレコーダーが接続されている場合 (SH マークのある機器で接続)

①～⑤のケーブルを接続してください。

(別のレコーダーからテレビに接続している HDMI ケーブルは接続したままにしてください)

B の接続では BS4K/110 度 CS4K 放送は一部の放送局しか受信できません。すべての放送局を受信したい場合は下記の接続をしてください。本機で 8K 放送を受信することはできません。



- BS4K/110度CS4K放送を受信するためには、SHマーク(SH)の付いている接続機器をご使用ください。

E

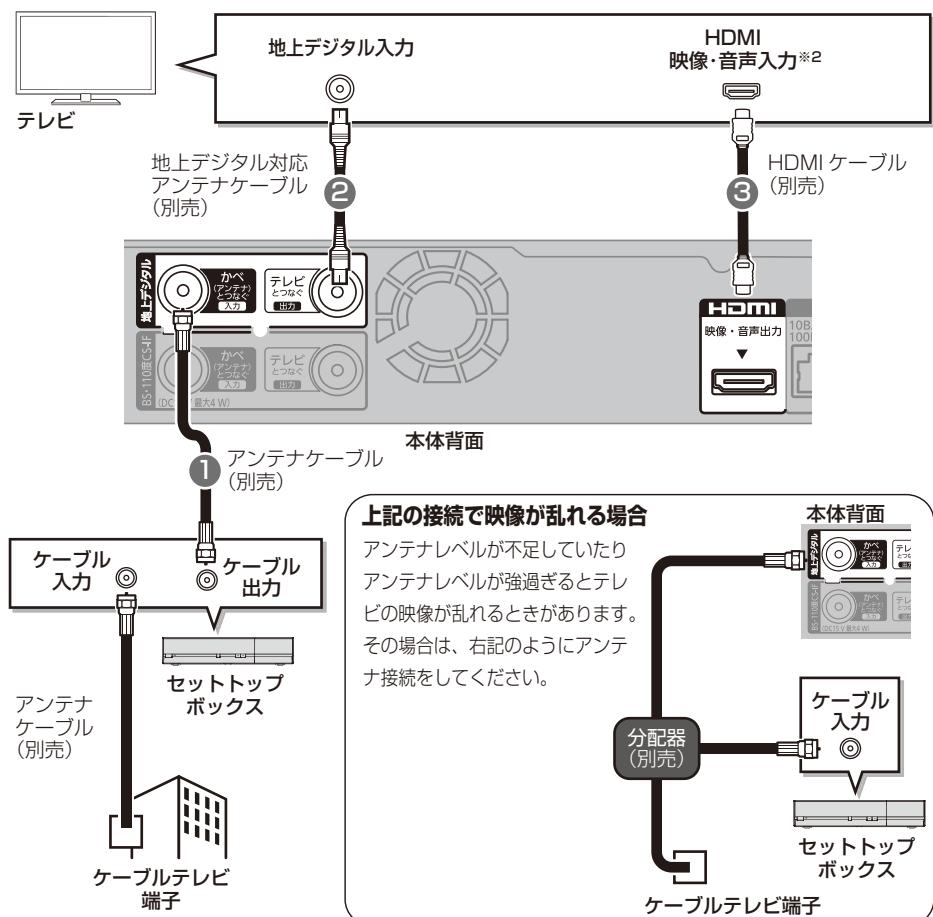
セットトップボックス (CATV・光回線など) を利用する場合

①～③のケーブルを接続してください。

CATV の接続方法や、受信できる放送はさまざまです。詳しくはご契約の CATV 会社にご相談ください。

このページでは、CATV の地上デジタル放送の信号方式がバススルー方式^{*1}の場合の接続を紹介しています。
受信する放送がバススルー方式でない場合や、バススルー方式でも本機で受信できない放送を視聴や録画するためには、「CATV (ケーブルテレビ) から録画する」(→79) をご覧ください。

^{*1} CATV会社がデジタル放送を再送信する伝送方式です。セットトップボックスを経由せず本機で直接受信できます。



^{*2} 4K 出力するには、4K 対応テレビの HDMI 端子に接続してください。

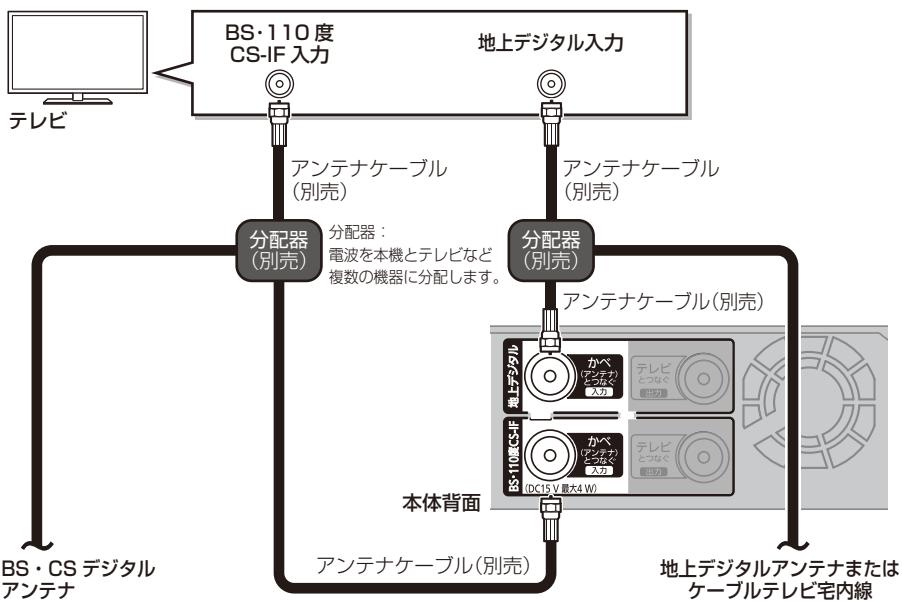
接続1 テレビやアンテナと接続する（続き）

本機が「節電待機」時にテレビを視聴する場合

「節電待機」（→43）で電源を切ると、本機の待機時消費電力を少なくすることができます。

ただし、**A** **B** **C** **D** **E** の方法でアンテナ接続した場合、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなることがあります。「節電待機モード」（→146）が「モード2」のとき

「節電待機」を使用してテレビの映像を映るようにするには、以下のようにアンテナ接続をしてください。



接続2 ネットワーク接続の準備をする

必要に応じて

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。

ご家庭のネットワーク環境に合わせて、

接続（→右記～27）と、ネットワーク設定（→32）を行ってください。

本機は、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ずルーターなどを経由して接続してください。

宅内ネットワーク機能

- お部屋ジャンプリンク（→136）
- スカパー！プレミアムサービスの番組を録画（→78）
- ネットワークを使って予約録画（→79）
- ネットワークを使ってダビング（→113）
- DIGA Drive 機能（→138）
- ネットワークカメラ機器連携（→126）
- お引越しダビング（→112）

インターネット機能

- Ultra HD ブルーレイを楽しむ（→89）
- どこでもディーガ（→166）
- 1か月の番組表や注目番組を受信（→56、61）
- デジタル放送の情報サービスを利用
- BD-Live を楽しむ（→90）
- 音楽タイトル情報やアーティスト情報の最新情報を取得（→127）
- AI おすすめ機能（→87）

お知らせ

- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。
- カテゴリー5 (CAT5) 以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続してください。
- 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備（有線 LAN ルーター、回線端末装置）に接続してください。

各機器と直接接続する

有線

LANケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。

本体背面

LAN(10BASE-T/
100BASE-TX)

LANケーブル(別売)

- シールドソイストペア (STP) LANケーブルをご使用ください。

接続機器



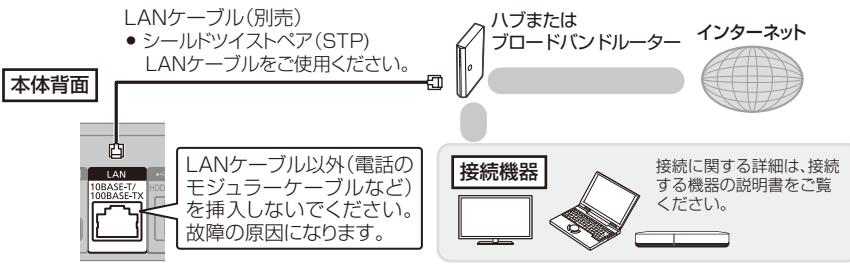
接続に関する詳細は、接続する機器の説明書をご覧ください。

- LAN ケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません。

接続2 ネットワーク接続の準備をする（続き）

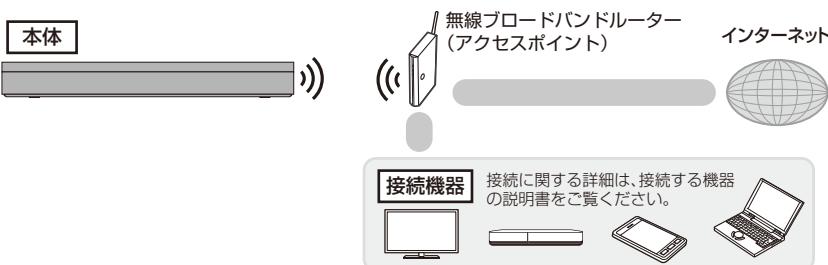
必要に応じて

ハブまたはブロードバンドルーターを使って接続する



接続機器とルーターは、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）を使って接続する



接続機器とルーターは、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

お知らせ

- 無線 LAN をご使用時は、LAN ケーブル（有線）での使用はできません。
- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）は 802.11ac または 802.11n (2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可) のものをお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）については、下記サポートサイトでご確認ください。
<https://panasonic.com/jp/support/recorder/>
- スカパー！プレミアムサービス対応チューナーやCATVセットトップボックスは、安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使って接続してください。（→26、上記）

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。
- 本機は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 有線接続の場合、100BASE-TX 対応の物をお使いください。

無線接続の場合、802.11ac または 802.11n
(2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可) 対応の物をお使いください。

- ルーターのセキュリティ設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報の取り扱いについて

本機の機能およびサービスを提供するため、機器 ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティ環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために

- 第三者が本機の設置・設定を行った場合は、設置設定後に機器パスワード初期化（→154）を実行し、「ディモーラ／使用情報の送信設定」（→155）で機器登録の解除をしてください。再度ネットワーク機能を利用するためにはディモーラサービスへの登録が必要になる場合があります。
- 第三者に譲渡したり廃棄する場合は、すべての設定リセット（→158）を実行してください。（機器パスワードが変更されます）
- 当社では、ネットワークのセキュリティに関する技術情報についてはお答えできません。
- 携帯電話やパソコンを紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク（SSID*）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。

*無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。詳しくはホームページをご覧ください。（→166）

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器（モデム、ルーターやハブなど）や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

●機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。

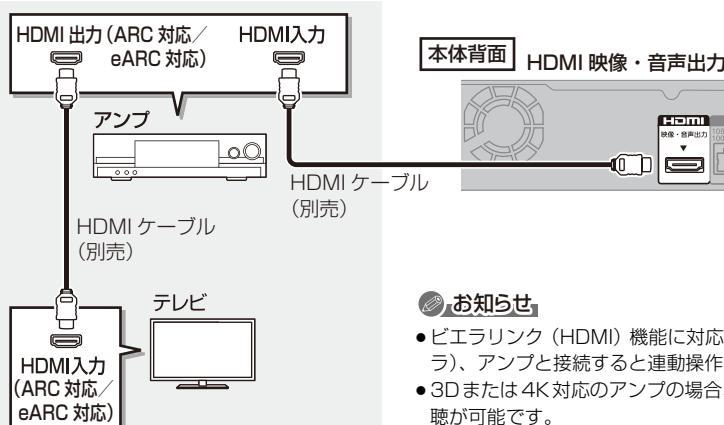
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能状態などから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- 本機がお手元にない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

接続③ テレビとアンプ（スピーカー）を HDMI 端子で接続する

必要に応じて

HDMI 映像・音声出力端子にアンプを接続する

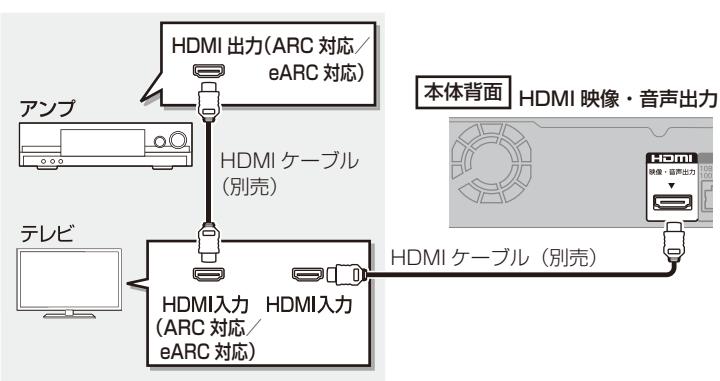
ビエラリンク（HDMI）機能を利用するには



お知らせ

- ビエラリンク（HDMI）機能に対応した当社製テレビ（ビエラ）、アンプと接続すると連動操作が可能になります。
- 3Dまたは4K対応のアンプの場合、3Dまたは4K映像の視聴が可能です。

3D または 4K 非対応のアンプと接続して、3D または 4K 映像を視聴するには



お知らせ

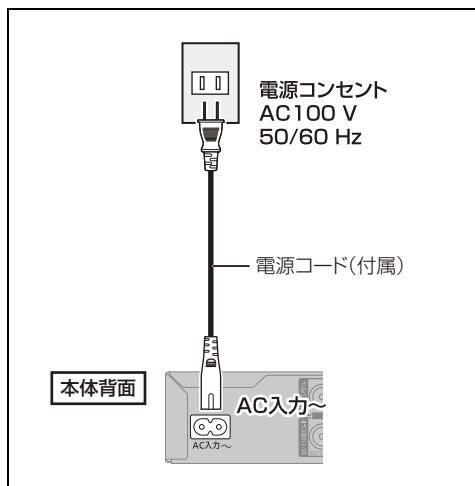
- ARC で接続する場合は、音声は最大で 5.1ch になります。
- eARC 対応 HDMI 端子でテレビ／アンプと接続し、Dolby Atmos®、Dolby® TrueHD、DTS:X®、DTS-HD® Master Audio、PCM 最大 7.1ch、MPEG-4 AAC 最大 22.2ch で出力が可能です。
ただし、音声出力機器が各音声フォーマットやチャンネル数に対応している必要があります。

お知らせ

- HDMI 端子に「ARC 対応」または「eARC 対応」の表示がないテレビまたはアンプを使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。
- Ultra HD ブルーレイ再生時は、「Ultra HD ブルーレイを最適に再生するために」(→89)をご確認ください。

接続4 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。



④ 長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

(消費電力：待機時 → 191)

- 電源コードを抜いている場合：
 - ・自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得はできません。
 - ・テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

困ったときには

テレビに本機の映像が映らない

- 本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル（別売）が必要です。
- テレビの入力を確認してください。
- 本機およびテレビ側の HDMI 端子、HDMI ケーブルのほこりを取り除き、しっかりと接続し直してください。
- 本機およびテレビの主電源を入れ直してください。
- 安定した映像をご覧いただくためには、18 Gbps 対応の HDMI ケーブルをお使いください。

詳しくは下記サポートページをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/av/diga706/>

テレビ放送が映らない／映りが悪い

- 地上デジタルと BS・CS のアンテナ端子を逆に接続していないか確認してください。
- 本機および接続機器とのアンテナ端子の入力と出力が間違っていないか確認してください。

詳しくは下記サポートページをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/av/diga711/>



かんたん設置設定をする

初めて電源を入れたときに、かんたん設置設定を行います。

1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

- 本機をHDMIで接続した入力に切り換えてください。



3 本機のリモコンの 電源ボタン を押す

4 画面の指示に従って設定をする

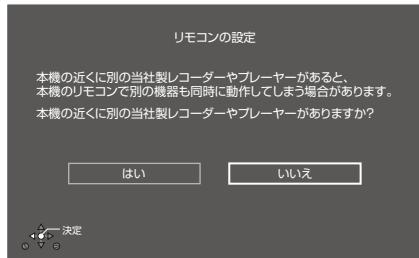
お知らせ

- 本体表示窓に「SETUP」が表示されている状態で、テレビに映像が映らない場合は（→30）

リモコンの設定

リモコンモードの設定

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。



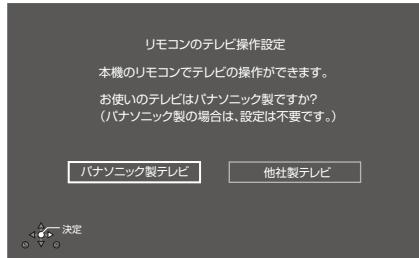
「はい」を選ぶと、リモコンの設定をすることができます。

画面の指示に従って設定してください。

リモコンのテレビ操作設定

テレビに合った番号を設定すると、リモコンの
[テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[音量 +,-]、
[消音]でテレビを操作できます。

また、[テレビ操作]を押してボタンを点灯させると、
他のボタンでもテレビを操作できるようになります。
(→164)



お使いのテレビを選んでください。

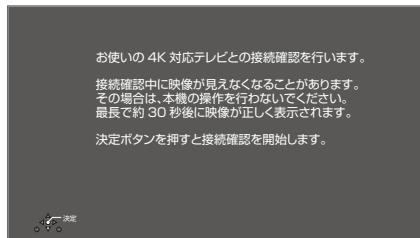
画面の指示に従って設定してください。

設定終了後に本機のリモコンモードの設定を
やり直すには（→163）

かんたん設置設定をする（続き）

4K 対応テレビとの接続確認

4K 対応テレビと接続時のみ表示されます。



画面の指示に従って操作してください。

ネットワーク設定

有線 LAN ケーブルで接続する場合は、背面の LAN 端子に接続してから設定してください。



画面の指示に従って設定を行ってください。

設定終了後にネットワーク設定をやり直すには
（→153）

お知らせ

- 上記の設定方法以外に、スマートフォンアプリ「どこでもディーガ」を使って設定することもできます。（→34）
- インターネットに接続できる状態で、ネットワーク設定を行うと、以下のようになります。
 - ネットワークに接続されたすべての機器から本機にアクセスできるようになります。機器ごとにアクセス制限をしたい場合は、「お部屋ジャンプリンク／スカパー！Link（録画）設定」（→165）でアクセス許可を取り消してください。
 - 「クイックスタート」（→146）が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 接続機器側での設定が必要になる場合があります。詳しくは接続機器側の説明書をご覧ください。

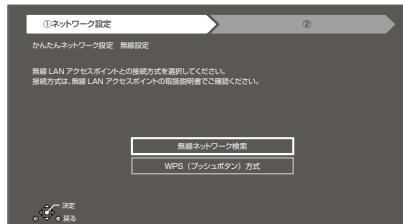
有線 LAN で接続する場合

① 「有線 LAN でネットワーク接続する」を選び、
（決定）を押す

無線 LAN で接続する場合

① 「無線 LAN でネットワーク接続する」を選び、
（決定）を押す

② 接続方法を選び、（決定）を押す



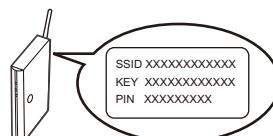
■ 「無線ネットワーク検索」を選んだ場合

③ 接続したい機器を選び、（決定）を押す



④ 暗号化キーを入力する

● 入力する暗号化キーは、接続する機器の説明書などでご確認ください。



■ 「WPS（プッシュボタン）方式」を選んだ場合

③ 無線ブロードバンドルーター（無線 LAN アクセスポイント）の WPS ボタンを押す

● 操作方法は接続する機器の説明書などでご確認ください。



④ （決定）を押す

かんたん設置設定をする（続き）

お知らせ

- ・ハブやルーターについてはそれぞれの説明書をご覧ください。

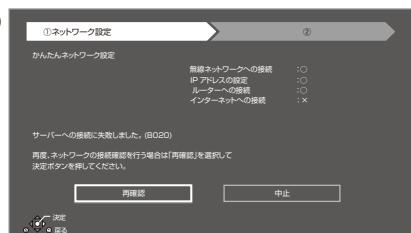
無線接続時のお知らせ

- ・本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- ・無線設定（→153）の画面で「電波状態」のインジケーターが4つ以上（受信レベル30以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかをお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、ネットワーク設定（→32）を再度行ってください。
- ・お部屋ジャンプリンク機能（→165）やどこでもディーガ（→166）をご利用になるには、802.11acまたは802.11n（5GHz）をお使いのうえ、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の説明書をご覧ください。
- ・暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするおそれがありますので、十分お気をつけください。

ネットワークに問題があるとき

以下のような画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

例)



「×」の表示が出た場合

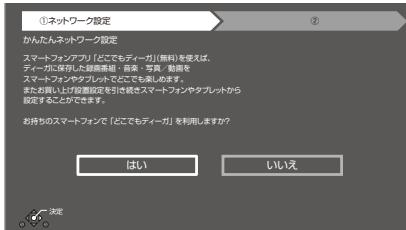
表示	ここを確認してください
LANケーブルの接続: × IPアドレスの設定: × ルーターへの接続: × インターネットへの接続: ×	LANケーブルの接続（→27）
LANケーブルの接続: ○ 無線ネットワークへの接続: ○ IPアドレスの設定: × ルーターへの接続: × インターネットへの接続: ×	・ハブやルーターの接続と設定 ・「IPアドレス」の確認（→153）
LANケーブルの接続: ○ 無線ネットワークへの接続: ○ IPアドレスの設定: ○ ルーターへの接続: × インターネットへの接続: ×	・ハブやルーターの接続と設定 ・「IPアドレス」の確認（→153）
LANケーブルの接続: ○ 無線ネットワークへの接続: ○ IPアドレスの設定: ○ ルーターへの接続: × インターネットへの接続: ×	「サーバーへの接続に失敗しました。(B020)」表示時 ・サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ・「プロキシサーバー設定」（→153）やルーターなどの設定
	「サーバーが見つかりません。(B019)」表示時 ・「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」の設定（→153） ・ルーターなどの設定

かんたん設置設定をする（続き）

スマートフォンアプリ「どこでもディーガ」を使って設定する

「どこでもディーガ」（**→4**）を使って設定を行うことができます。

① 「はい」を選び、（決定）を押す



●「いいえ」を選んだ場合は、右記「チャンネル設定」を行ってください。

② テレビの画面表示内容に従って、スマートフォンの設定を行う

例)



●上記画面の内容に従って、「どこでもディーガ」から本機を選択し、スマートフォン側で操作を行うと「チャンネル設定」が開始されます。

その場合、「チャンネル設定」（**→ 右記**）の表示はテレビ画面に表示されません。

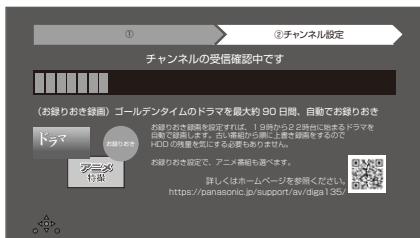
「どこでもディーガ」から設定中は、テレビには以下の画面が表示されます。



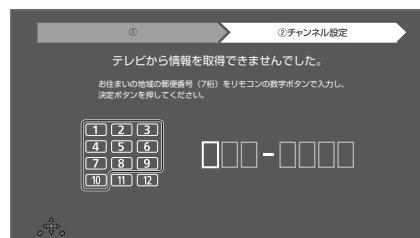
●「どこでもディーガ」の設定を中止して次の設定へ」を選んだ場合、右記「チャンネル設定」へ進んでください。

チャンネル設定

ビエラリンク（HDMI）Ver.2以降に対応した当社製テレビと接続している場合、テレビから設置情報を取得します。



テレビから設置情報を取得できない場合、画面の指示に従ってチャンネル設定を行ってください。



☞ 設定終了後にチャンネル設定をやり直すには（**→161**）

☞ 有料放送の視聴契約などのために、本機のACAS番号を確認するには（**→19**）

商品登録を行う場合（**→ 裏表紙**）

ディモーラ会員登録

設定から「かんたんネットワーク設定」（**→153**）を行った場合、ディモーラの会員登録の画面が表示されます。

ディモーラのサービスの登録について

ディモーラサービスに機器を登録すると、スマートフォンで宅外リモート視聴などの無料機能をご利用になれます。シーン再生などの有料機能を利用するためには、CLUB Panasonicに会員登録が必要です。

ディモーラのサービスについては、下記ホームページをご覧ください。

パナソニック テレビ番組情報ウェブサービス

ディモーラ：<https://dimora.jp/>

記録できるディスクについて

ディスクの種類	BD-RE	BD-R
	 繰り返し記録	 1回のみ記録
記録可能なディスク	片面1層(25 GB)/片面2層(50 GB)/片面3層(100 GB)	片面1層(25 GB)/片面2層(50 GB)/片面3層(100 GB)/片面4層(128 GB)
記録方式	—	—
記録できるコンテンツ	番組(4K放送の番組を4KDRモード、4K画質モードで記録可能)、写真/動画(MP4)、音楽	
他の機器で再生するには	<p>BD-RE、BD-Rに対応した機器で再生できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下の場合、再生できないときがあります。 <ul style="list-style-type: none"> 1.5～15倍録モードの番組 本機に取り込んだ動画(AVCHD、MP4) LAN経由で録画した番組 LTH typeのBD-R、DLやBDXLは再生機器がそれぞれの再生に対応していないと再生できません。 2006年春以前に発売されたBD機器では再生できません。 BD-RE、BD-Rに書き出した動画(MP4)と音楽ファイルは再生保証していません。 4KDRモード、4K画質モードの番組を記録したBD-RE、BD-Rは、他機器では再生できない場合があります。 <p>当社製機器での再生については、当社ホームページをご覧ください。(→12)</p>	
備考	<ul style="list-style-type: none"> DL、BDXL™にも記録できます。 カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)の記録や再生はできません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません) 	

記録できるディスクについて（続き）

ディスクの種類	DVD-R DVD-R DL（片面2層）   1回のみ記録	DVD-RW  繰り返し記録
記録可能なディスク	片面1層／片面2層	Ver.1.1/1.2に対応した6倍速メディアまで
記録方式	<ul style="list-style-type: none"> • AVCREC 方式 • VR 方式 (DVD ビデオレコーディング規格) • ビデオ方式 (DVD ビデオ規格) 	<ul style="list-style-type: none"> • VR 方式 (DVD ビデオレコーディング規格) • ビデオ方式 (DVD ビデオ規格)
記録できるコンテンツ	番組	番組
他の機器で再生するには		<p>以下の条件に当てはまる機器で再生できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 記録したディスクの再生に対応 • 記録したディスクの記録方式の再生に対応 <p>・ AVCREC 方式の場合：</p> <p>対応機器には右記のロゴが付いています。 対応機器以外で使用しないでください。 ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。 [R] はファイナライズ（→143）が必要です。</p> <p>・ VR 方式の場合：</p> <p>VR 方式の再生に対応している必要があります。</p> <p>・ ビデオ方式の場合：</p> <p>記録後にファイナライズ（→143）が必要です。</p> <p>・ デジタル放送を記録したディスクの場合、CPRM 対応している必要があります。</p>
備考		<ul style="list-style-type: none"> • デジタル放送を記録するには、CPRM 対応のディスクか確かめてください。 • ビデオ方式ではコピー制限のない番組（ビデオカメラで撮影した映像など）のみ記録できます。 • ビデオ方式ではデジタル放送は記録できません。

AVCREC™

- 8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。
- DVD の記録方式は、本機でフォーマット（→141）することで設定されます。

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

Ultra HD ブルーレイ	Ultra HD ブルーレイを楽しむには (→89)		
			
BD ビデオ	映像や音楽などの市販ソフト • 本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。		
	「A」または「A」を含むもの 例)    • リージョンコードは国により異なります。		
DVD ビデオ	映像や音楽などの市販ソフト • 本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。 ただし、PAL方式のディスクは再生できません。		
	「2」(または「2」を含むもの)、 「ALL」が表示されたもの 例)    • 番号は国により異なります。		
CD	音楽や音声が記録された市販ソフト (CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む) 写真が記録された CD-R や CD-RW (JPEG フォーマット記録ディスク)		
			
+R +R DL (片面2層) +RW DVD-RAM	他機器で番組やハイビジョン動画 (AVCHD)、写真 (JPEG) を記録したディスク • (+R, +R DL, +RW のみ) 録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます。 • 編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。		
DVD-R DVD-RW	他機器でハイビジョン動画 (AVCHD)、写真 (JPEG) を記録したディスク • 編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。		

- 記録状態によって再生できない場合があります。
- CD-DA 規格に準拠していない CD (コピーコントロール CD など) は、動作および音質の保証はできません。
- 8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

- HD DVD
- ビデオ CD
- SACD
- SVCD
- DVD オーディオ
- BD オーディオ
- Photo-CD
- パソコンやゲームのソフト
- カートリッジから取り出せない DVD-RAM (TYPE1)
- BD-RE (Ver.1.0)
- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていない DVD-R (ビデオ方式)、DVD-R DL (ビデオ方式)、DVD-RW (ビデオ方式) など

USB-HDD の録画について

当社にて動作確認をしている USB-HDD をお使いください。

すべての製品の動作保証をするものではありませんので、あらかじめご了承ください。

動作確認機器については当社ホームページ (→12) をご覧ください。

本機は、USB-HDD に番組を録画できます。

- USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、USB-HDD に複数の番組を同時に録画することができます。また、4K 放送の番組を予約録画することができます。(USB3.0 非対応の場合は、複数番組の同時録画や 4K 放送の予約録画はできません)
- USB-HDD の説明書もご確認ください。

SeeQVault^{※1} 対応の USB-HDD を使用する

- 番組の予約録画はできませんが、番組や撮影ビデオ、写真、音楽をダビングすることができます。
- 他の SeeQVault 対応ディーガで再生やダビングすることができます。(SeeQVault 対応の USB-HDD を録画用フォーマットで使用すると他のディーガで使用できません)
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD にダビングした番組は、どこでもディーガで再生することはできません。

ディーガ以外の機器で記録した
SeeQVault 対応の USB-HDD の動
作確認情報は当社ホームページでご
確認ください。(→12)



※1 「SeeQVault」(シーキューボルト) は、「さまざまな対応機器での再生互換性」と「強固なセキュリティー」を同時に実現するコンテンツ保護技術です。

USB-HDD の容量について

160 GB 以上 8 TB 以下

USB-HDD に記録できるコンテンツについて

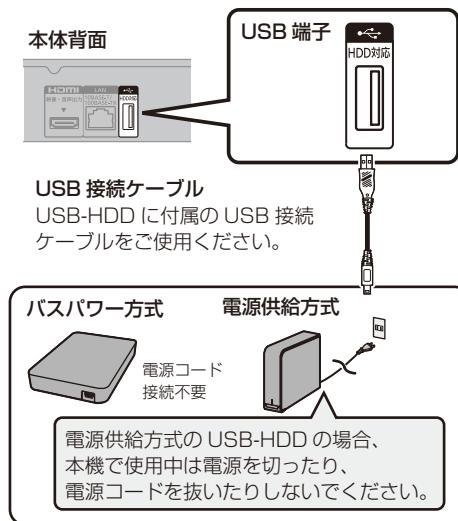
フォーマット コンテンツ	録画用	写真・音楽用	SeeQVault
番組	○	×	○ ^{※2}
撮影ビデオ (AVCHD)	×	×	○
動画 (MP4)	×	○	○
写真	×	○	○
音楽	×	○	○

- ※2
- ・予約録画はできません。ダビングでの記録のみ可能です。ただし、コピー制限のある番組をダビングした場合は、USB-HDD の番組のダビング残り可能回数は 1 回になります。
 - ・「部分消去」「番組結合」「番組分割」「サムネイル変更」「録画モード変換」や「まとめ番組の作成」はできません。
 - ・保存している番組数が多い場合、本機の電源を入れてから最大数分の間、SeeQVault フォーマットした USB-HDD へのダビング、消去など再生以外の操作ができないことがあります。
 - ・4KDR モード、4K 画質モードの番組を記録することはできません。

USB-HDD の録画について (続き)

接続する

USB-HDD は、本体背面の USB 端子に接続してください。(前面の端子に接続すると、録画できません)

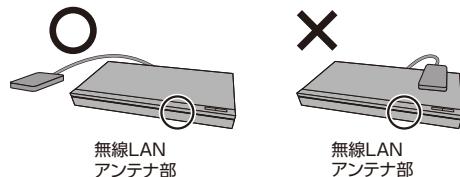


- USB ハブを使用して接続しないでください。

お知らせ

• 無線 LAN をご使用の場合は、USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、2.4 GHz 帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。以下のように設置してください。

- 802.11ac または 802.11 n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線プロードバンドルーターと接続し、5 GHz で使用する
- ご使用の無線プロードバンドルーターが 2.4 GHz のみの場合
 - USB-HDD は本機の上には置かない
 - USB-HDD は本機右前にある無線 LAN アンテナ部からできるだけ離して設置する



USB-HDD の録画について (続き)

録画用フォーマットで使用する

USB-HDD を使用する場合は、本機で USB-HDD の登録をする必要があります。登録できるのは最大 8 台です。複数台の USB-HDD を同時に接続して使用することはできません。

- 本機以外で使用した USB-HDD を本機に登録する場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。

- 接続時に USB-HDD の登録画面が表示された場合は、画面に従って登録してください。

[ホーム] ボタン→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD の登録」で登録を行う

お知らせ

- 登録番号は録画一覧で確認することができます。
- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB (4096 B) 以外の USB-HDD は使用できません。

9 台目の USB-HDD を接続したとき

9 台目の USB-HDD を登録するには、すでに登録済みの USB-HDD を取り消す必要があります。9 台目の USB-HDD を接続してください。

[ホーム] ボタン→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD の登録」で登録を行う

- ① 「はい」を選び、 を押す
- ② 取り消しを行う USB-HDD の登録番号を選び、 を押す
- ③ 「実行」を選び、 を押す
- ④ 「登録」を選び、 を押す
- ⑤  を押す

USB-HDD 登録を取り消す

登録を取り消した USB-HDD の内容は、再生できなくなります。USB-HDD や本体を廃棄・譲渡する場合などに行ってください。

USB-HDD 登録を 1 台ずつ取り消す場合：
登録を取り消したい USB-HDD を接続してから実行してください。

[ホーム] ボタン→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD 登録の取り消し」で登録を取り消す

すべての USB-HDD 登録を取り消す場合：
「USB-HDD の取り外し」(→41) を行ったあと、実行してください。

[ホーム] ボタン→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「すべての USB-HDD 登録の取り消し」で登録を取り消す

登録を取り消した USB-HDD が本機に接続されている場合、該当の USB-HDD を取り外してください。

USB-HDD の録画について (続き)

写真・音楽用フォーマットで使用する

写真・音楽用フォーマットした USB-HDD は他の写真・音楽用フォーマット対応のディーガに接続して動画や写真、音楽の再生や取り込みを行なうことができます。

[ホーム] ボタン→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD 管理」→「写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット」を選んで登録する

「録画用 USB-HDD のフォーマット」が表示されている場合は、[サブメニュー] を押して「写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット」を選んで登録してください。

お知らせ

- SeeQVault 対応の USB-HDD は写真・音楽用フォーマットはできません。
- 写真・音楽用フォーマットの USB-HDD は、番組を録画することはできません。

SeeQVault フォーマットで使用する

以下の操作は、SeeQVault 対応の USB-HDD 接続時のみ可能です。

[ホーム] ボタン→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD 管理」→「SeeQVault 対応のフォーマット」を選んで登録する

「録画用 USB-HDD のフォーマット」が表示されている場合は、[サブメニュー] を押して「SeeQVault 対応のフォーマット」を選んで登録してください。

お知らせ

- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB (4096 B) 以外の USB-HDD は使用できません。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD にダビングした番組は、どこでもディーガで再生することはできません。

取り外しについて

USB-HDD の記録内容を保持したまま、一時的に USB-HDD を取り外したい場合に、以下の手順を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失したり、予約録画が実行されないことがあります。

[ホーム] ボタン→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD の取り外し」で取り外す

USB 機器について

接続できる USB 機器について

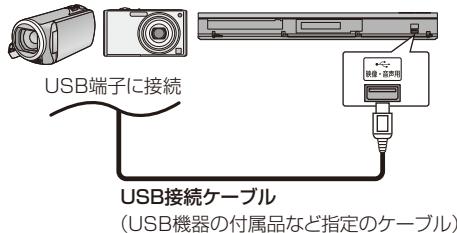
当社製のデジタルハイビジョンビデオカメラやデジタルカメラなどと接続することができます。
動作確認済みの機器については、当社ホームページ（[→12](#)）をご覧ください。

- USB リーダー＆ライター、USB 電源を利用する機器などは故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- USB ハブおよびUSB延長ケーブルで接続した場合や USB 端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
- 接続に使うUSB接続ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

お知らせ

- パソコンを使ってコピーや編集をした動画の再生や取り込みは、本機では保証しておりません。

USB 機器を接続する



接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。(機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合もあります)

- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書もご確認ください。

USB 機器の取り外しについて

写真・動画・音楽の取り込み・書き込み中は、電源を切ったり、USB 接続ケーブルを抜いたりしないでください。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがあります。

本機の電源を入 / 切する

本機の映像をテレビに映す

1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

- 本機をHDMIで接続した入力に切り換えてください。



3 本機のリモコンの 電源ボタン を押す

- 本体表示窓 HELLO
- SET UP または 0 0 0
チャンネル表示
- テレビに映像が映っているか確認してください。
 - ☞ テレビに映像が表示されない場合**
 - テレビの入力を確認してください。
 - 接続を確認してください。(→20 ~ 30)

本機の電源を切る

本機のリモコンの 電源ボタン を押す

- 本体表示窓 STANDBY
- または STANDBY
時刻表示
- 表示なし

節電待機で電源を切る

「節電待機」で電源を切ると、電源「切」時の消費電力を少なくすることができます。(消費電力 → 191)

1 テレビ視聴中に S を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブメニュー] を押してください。

2 「節電待機」を選び、(決定) を押す

3 「はい」を選び、(決定) を押す



お知らせ

●「節電待機」中の制限について

- ・起動が遅くなります。
- ・以下の機能は働きません。
 - お部屋ジャンプリンク
 - 「どこでもディーガ」の機能（宅外リモート視聴、スマートフォンの写真や動画を受信する機能など）
 - ビエラリンク録画待機
 - スカパー！プレミアムサービス対応チューナーやCATVからの予約登録、または番組の時間変更に追従
- ・アンテナケーブルを本機経由でテレビに接続している場合、「節電待機」で電源「切」にすると、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなることがあります。
- ・「節電待機モード」(→146) が「モード 1」の場合、テレビ側の設定でも衛星アンテナ電源を供給するようにしてください。
- ・「節電待機モード」(→146) が「モード 2」の場合、本機を経由せずにアンテナケーブルをテレビに接続すると、改善します。(→25)
- ・「節電待機」中に無効なボタンを押すと、本体表示窓に時刻が表示されます。

画面上の操作について

ホーム画面について

ホーム画面から本機の主な機能を操作することができます。

1 ホーム を押す

2 項目を選び、決定 を押す

例)



ホーム画面は3つのページに分かれています。

[◀][▶] (リモコンの左右ボタン) を数回押してページを切り換えてください。

録る	番組表を表示します。(→57) 録画の予約を行うことができます。
見る	録画一覧を表示します。(→83) 録画した番組を表示することができます。
残す (ダビングする)	かんたんダビングまたは詳細ダビングを行います。(→104、107) 録画した番組をダビングすることができます。

☞ 左右のページを表示するには

[◀][▶] を押す

(または [◀][▶] を数回押す)

☞ ホーム画面に表示されていない機能を選びたいときは

- ① [◀][▶] を押す
- ② 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す

☞ ホーム画面に表示する機能を変更するには

- ① 変更したい機能を選び、[サブメニュー] を押す
- ② 「機能を登録する」を選び、[決定] を押す
- ③ メニューを選び、[決定] を押す
- ④ 表示したい機能 (→45) を選び、[決定] を押す
- ⑤ 「はい」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 本書では、ホーム画面などの操作はお買い上げ時の状態で説明しています。

画面上の操作について (続き)

機能一覧

以下の機能を表示することができます。

機能名	参照ページ
見る・聞く	
録画番組を見る	83
お録りおきを見る	87
最新ニュース	74
最新録画番組を見る*	82
写真／動画を見る	119
音楽を聞く	128
番組を探す・予約する	
予約する	57
新番組／特番おしらせ	66
おまかせ録画	69
予約確認する	68
ニュース録画設定	74
検索する	63
放送局からのおすすめ(注目番組)	61
カテゴリーまとめて検索	72
お好み番組表 お好みチャンネル(→48)で登録した放送局のみを番組表に表示します。	—
残す	
ダビングする	104、107
保存一覧	88
スマホ転送番組一覧	133

ネットワーク機能を使う

スマホで楽しむ (どこでもディーガ)	4、166
番組ニュース	65
お部屋ジャンプリンク	136
ニューストピックス ディモーラのサービスに登録すると、話題のニュースをシーン一覧で表示します。(→74)	サービスの登録について(→34)
ディモーラからのおすすめ* ディモーラのサービスに登録すると、おすすめ番組が配信されます。	
お引越しダビング	112
設定する・その他の機能	
ヒント／困ったときは*	—
設定*	145
お好み設定リセット ホーム画面の表示をお買い上げ時の設定に戻します。	—
メディアを使う	
ディスク、USB機器、USB-HDD内のデータを表示します。	—

* 新着情報がある場合、(新着お知らせアイコン)が表示されます。(新着情報の更新は、電源「切」時に行います)

ホーム画面の「ヒント／困ったときは」を選択すると、本機の便利な使い方やよくあるご質問・機器のお知らせが表示されます。
ご使用に困ったときやお知らせがあるときなどにご覧ください。

受信できるデジタル放送と記録の制限について

受信できるデジタル放送について

地上デジタル放送 (地上デジタル)

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

BS デジタル放送 (BS デジタル)

放送衛星 (Broadcasting Satellite) を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

- WOWOW などの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。

110 度 CS デジタル放送 (CS デジタル)

通信衛星 (Communications Satellite) を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。

- 110 度 CS デジタル放送の放送事業者「スカパー!」への加入申し込みと契約が必要です。

BS4K/110 度 CS4K 放送 (BS/CS 4K)

● 従来の BS・110 度 CS 放送の右旋円偏波の電波で放送される 4K 放送と BS・110 度 CS の左旋円偏波の電波で放送される 4K 放送があります。

2025 年 9 月時点では、BS・110 度 CS での左旋円偏波を用いた 4K 放送は実施されていません。

- 4K 放送はハイビジョンの 4 倍の画素数を持つ、高精細かつ臨場感のある映像を再現することができます。
- 本機では 8K 放送は受信できません。
- 本書では「4K 放送」と表現しています。

お知らせ

- WOWOW など有料の放送局とのご契約は、テレビの B-CAS カードでご契約いただいている場合でも、本機内蔵の ACAS チップでのご契約が必要となります。
- 本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限があります。



ブルーレイディスク

市販されているディスクはそのまま使用できます。



DVD

著作権保護技術を持った CPRM に対応している必要があります。

パッケージに **CPRM 対応** の記載のある DVD を準備してください。

(デジタル放送録画用と記載されている場合もあります)

■ コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先が HDD や USB-HDD の場合は 10 回または 1 回を、ブルーレイディスクの場合は 1 回を表示します。

10 回～1 回はダビングの残り可能回数を表します。DVD の場合は 1 回を表示し、ダビングや移動はできません。

1 回の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。(複製はできません)

- 通常の番組・スマホ転送番組とともにダビング元から消去されます。(BD-R 番組が消去されてもディスク残量は増えません)

録画内容が
消える



ダビング元



移動



ダビング先

- プロテクト設定 (→97) されている 1 回の番組はダビングできません。

コピー制御の仕組みに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会

<https://www.apab.or.jp>

テレビ放送を見る

本機のチューナーを使用してテレビ放送を視聴します。

1 地上 [BS] [CS] BS/CS [4K] を押す

本体表示窓



2 ①～⑫またはチャンネルを選ぶ

①～⑫または
チャンネルを選ぶ

お知らせ

- 地上デジタルや BS・CS デジタルの番組を 4K 放送対応のチューナーで録画している場合、4K 放送は視聴できません。

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

① 本機では、データ放送を録画できません。

視聴中の番組の録画が始まると、データ画面が消えます。

② 情報サービスを利用するには、ネットワークの接続と設定が必要な場合があります。（→26、32）

1 データ放送のある番組を選局し、①を押す

データ

2 見たい項目を選び、②を押す

- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や 数字ボタンで操作してください。

③ データ画面を消すには
[データ①] を押す

その他の選局方法

番組表から選局

① 選局表 を押す

② 放送中の番組を選び、②を押す

☞ 番組表の見方について（→55）

☞ 別の放送の番組表を見るには
[地上][BS][CS][4K] を押す

③ 「今すぐ見る」を選び、②を押す

お知らせ

- 番組表に 8K 放送の放送局も表示される場合がありますが、本機で視聴することはできません。

3 行チャンネル番号を入力して選局

① テレビ視聴中に、③を押す

● 押すごとに放送が切り換わります。

② ①～⑩を押して、チャンネルを入力する

例) 101 の場合 … [1] → [10] → [1]

● 画面が表示されている間に入力してください。

☞ 枝番号の異なる放送を選局するには
（地上デジタル）（→49「枝番選局」）

テレビ放送を見る（続き）

お好みチャンネルから選局

お好みチャンネルは、放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。

① テレビ視聴中に、**お好みチャンネル** を押す

② 放送局を選び、**決定** を押す

■ チャンネルの登録

- ① 登録したい放送局を視聴中に、
[お好みチャンネル / 10 秒戻し] を押す
- ② [サブメニュー] を押す
- ③ 「登録」を選び、[決定] を押す
- ④ 「はい」を選び、[決定] を押す
- リストの一番下に登録されます。
(最大 48 チャンネル)

■ チャンネルの取り消し

- ① [お好みチャンネル / 10 秒戻し] を押す
- ② 取り消す放送局を選び、[サブメニュー] を押す
- ③ 「取消」を選び、[決定] を押す
- ④ 「はい」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 録画中はお好みチャンネルができません。
- お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

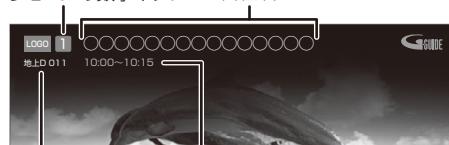
番組視聴中の便利な機能

見ている番組の情報を表示

番組表示 を押す（表示は約 20 秒後に自動消去します）

例）

リモコンの数字ボタン 受信中の番組名



⑤ 番組の情報を消すときは

番組の情報を表示中に、[画面表示] を押す

番組内容

番組内容
を押す

音声を切り換える

音声 を押す（→49「信号切換」）

お知らせ

- 録画中に切り換えてても、記録される音声に影響はありません。

字幕を表示する

視聴している番組が字幕付きの番組の場合、字幕を表示できます。

字幕 を押す（→49「信号切換」）

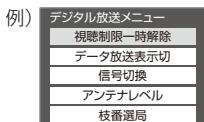
お知らせ

- 録画中に切り換えてても、記録される字幕に影響はありません。

テレビ放送を見る（続き）

放送内容などの設定

- ① テレビ視聴中に、 を押す
- ② 「デジタル放送メニュー」を選び、 を押す
- ③ 設定項目を選び、 を押す（→右記）



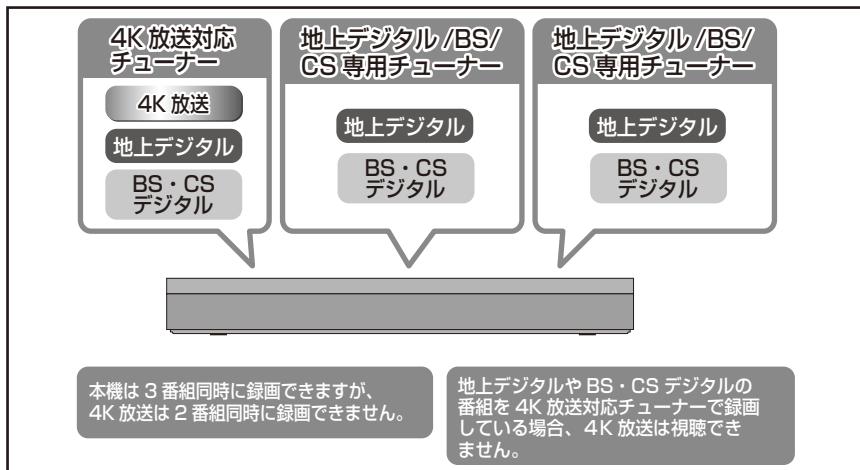
お知らせ

- 視聴中の番組により表示される項目が変わります。

視聴制限一時解除	暗証番号（→156）を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示切 示切	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 設定する項目 選び、 設定する
 お知らせ	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 (詳しくは →51)
アンテナレベル	アンテナレベルが確認できます。
枝番選局 	<p>枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 (例：「011-0」、「011-1」)</p> <p>3 枝チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。</p> <p>以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。</p> <p>放送局選び、[決定]を押す</p>
 主選局を変更するには	主選局にしたい放送局を選び、[緑]を押す

4K 放送の番組について

本機には 3 つのチューナーが搭載されています。



4K 放送対応チューナー



4K 放送対応チューナーで予約録画する番組は、予約一覧で「4K 放送対応チューナー」のアイコンが表示されます。

地上デジタル /BS/CS 専用チューナー

地上デジタル放送や BS・CS デジタル放送を録画するときは、このチューナーに優先して録画します。
([ワンタッチ予約 録画 ●] を押して録画する場合は、4K 放送対応チューナーで録画します。)

- その他のチューナーに関する情報は、当社ホームページでご確認ください。 (→12)

録画モードについて

本機は録画する放送によって選択できる録画モードが異なります。

4K 放送録画時の録画モード

録画モード	4KDR	4K 1.3倍録から 4K 8~12倍録	1.5~15倍録
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	4K画質 放送データを圧縮 ^{*1} して、4K画質で長時間記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮 ^{*2} して、ハイビジョン画質で長時間記録
記録できるメディア	HDD BD-RE ^{*3} BD-R ^{*3} USB-HDD ^{*3}	HDD BD-RE ^{*3} BD-R ^{*3} USB-HDD ^{*3}	HDD ^{*4} BD-RE ^{*3} BD-R ^{*3} -R AVCREC ^{*3} USB-HDD ^{*3~4}
サラウンドの音声	サラウンド音声	サラウンド音声 ^{*5}	ステレオ音声
複数の音声(マルチ音声→57)	複数の音声をすべて記録	音声は2つまで記録 ^{*6}	音声は1つだけ記録 ^{*6}
二重音声(→57)	両方の音声を記録		
字幕情報	字幕の入/切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入/切ができる)		字幕の入/切情報を記録しない。 再生時、字幕表示の入/切はできない ^{*6}

●録画モードと記録時間の目安 (→194)

●録画モードを変更するには

・録画時(→54) ・予約時(→58) ・かんたんダビング時(→106「画質変更」) ・詳細ダビング時(→107)

※1 映像圧縮方式: HEVC/H.265

※2 映像圧縮方式: MPEG-4 AVC/H.264

※3 4K放送をディスクやUSB3.0非対応のUSB-HDDへ記録する場合、ダビング時のみ可能です。

※4 4K放送をHDDやUSB3.0対応のUSB-HDDへ記録する場合、録画モード変換時のみ可能です。

※5 AAC 22.2chやAAC 7.1chを記録するには、「4K画質の音声ch数優先」(→148)を「入」に設定してください。
詳細は以下のサポートページをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/av/diga118/>

※6 記録したい音声、字幕表示の入/切などの内容を選びたい場合、記録前に以下の設定をしてください。

- ・録画時:「信号切換」(→49)で選ぶ
- ・予約録画時:「信号設定」(→60)で選ぶ
- ・ダビング時:「信号切換」(→94)で選んだあと、ダビングを行う(→111)

おまかせ長時間「4K 8~12倍録」モードについて

「4K 8~12倍録」モードは、番組の内容に応じて録画倍率を8倍録から12倍録まで自動調整して録画します。

スポーツや音楽など動きが激しい映像では、録画倍率が8倍相当になるため、画面に表示している記録可能時間よりも実際に記録できる時間が短くなることがあります。

録画モードについて(続き)

デジタル放送録画時の録画モード

録画モード	DR	1.5~15倍録	XP・SP・LP	FR
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮 ^{*1} して、ハイビジョン画質で長時間記録	DVD画質 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	DVD画質 ディスクの残量に合わせてXP～LPの中で画質を自動調整して記録 ^{*2}
記録できるメディア	HDD BD-RE BD-R USB-HDD	HDD BD-RE ^{*3} BD-R ^{*3} -R AVCREC ^{*3} USB-HDD	-R VR ^{*3} -R V ^{*3*4} -RW VR ^{*3} -RW V ^{*3*4}	
サラウンドの音声	サラウンド音声		ステレオ音声 (ダウンミックス2チャンネル)	
複数の音声(マルチ音声→57)	複数の音声すべて記録	音声は2つまで記録 ^{*5*6}	音声は1つだけ記録 ^{*5}	
二重音声(→57) ^{*7}	両方の音声を記録			
字幕情報	字幕の入/切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入/切ができる)		字幕の入/切情報を記録しない (再生時、字幕表示の入/切はできない) ^{*5}	

●録画モードと記録時間の目安(→194)

●録画モードを変更するには

・録画時(→54) ・予約時(→58) ・かんたんダビング時(→106「画質変更」) ・詳細ダビング時(→107)

※1 映像圧縮方式:MPEG-4 AVC/H.264

※2 番組の時間が少くとも、ディスク残量がなくなる場合があります。

※3 ディスクへの記録はダビング時のみ可能です。

※4 **-R V** **-RW V** デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。

※5 記録したい音声、字幕表示の入/切などの内容を選びたい場合、記録前に以下の設定をしてください。

・録画時:「信号切換」(→49)で選ぶ

・予約録画時:「信号設定」(→60)で選ぶ

・ダビング時:「信号切換」(→94)で選んだあと、ダビングを行う(→111)

※6 15倍録モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなることがあります。

※7 **-R V** **-RW V** に記録する場合、音声は設定に従って記録されます。(「DVD-Video記録の設定」(→148)の「二重音声記録時の音声選択」を設定する)

4K 放送の録画、ダビングについて

4K 放送の録画について

4K 放送の番組を録画する場合、4KDR モードまたは 4K 画質モードで録画できます。

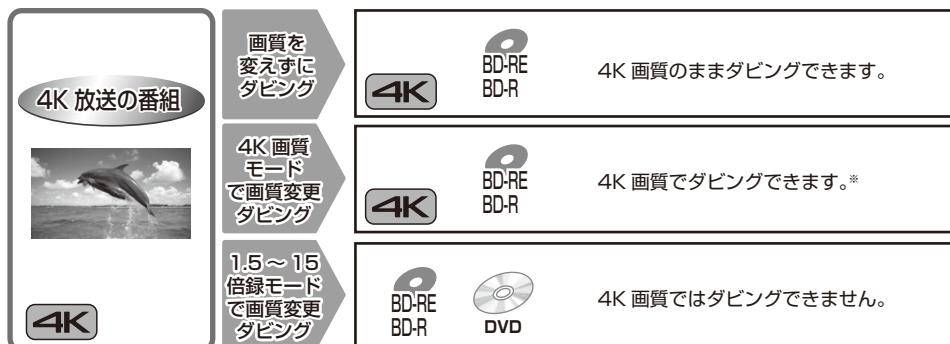


4K 画質モードを選んで録画した場合、本機はいったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。

4K 放送の番組を 1.5 ~ 15 倍録モードで録画することはできません。

4K 放送の番組のダビングについて

4K 放送の番組をディスクにダビングする場合、ディスクによって選択できる録画モードは異なります。



* 録画モードを「4K 4.5 倍録」から「4K 8~12 倍録」に設定して **BD-RE** **BD-R** に画質変更ダビングはできません。いったん「録画モード変換」(→100) で「4K 4.5 倍録」から「4K 8~12 倍録」に変換したあと、高速ダビングしてください。

4KDR モード、4K 画質モードの番組を記録した BD-RE、BD-R の他の機器での再生について

4KDR モード、4K 画質モードの番組を記録した BD-RE、BD-R は、他の機器では再生できない場合があります。4KDR モードの番組の場合、設定「4KDR のダビング方式」(→148) を「ダビング方式 2」に変更すると、他の機器でも再生できる場合があります。

詳しくは、当社ホームページをご覧ください。(→12)

放送中の番組を録画する

HDD この操作では HDD にのみ録画できます。

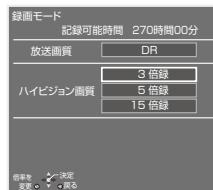
1 地上 (BS) (CS) (4K) BS/CS を押す

2 **1** ~ **12** または チャンネルを選んで、チャンネルを選んで、**▲ ▼** を押して、チャンネルを選んで、**▲ ▼** を押して、

3 録画モード **●** を押す

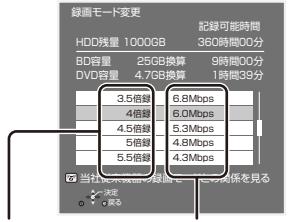
4 録画モードを選び、**決定** を押す

例)



- ハイビジョン画質または4K画質を選択時に【サブメニュー】を押すと、録画モードの倍率を変更できます。

例)



記録時間の倍率 情報量(ビットレート)*

* 数値が大きいほど画質は良くなります。

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像 (24 Mbps) を DR モードで録画した場合との比較を表しています。

4K画質モードの倍率や情報量は、4K放送 (33 Mbps) を 4KDR モードで録画した場合との比較を表しています。

5 ワンタッチ予約 録画 **●** を押す

本体
表示窓



「録画 1」または「録画 2」、「録画 3」が点灯

6 録画の終了方法を選び、**決定** を押す

録画中の番組の確認

番組表示
● を押す

例) 複数の番組を録画中

録画中の放送局

HDD	映像出力	4K/60p
	音声入力	日本語 2ch
	音声出力	ステレオLR
	● 地上D 021-1 ● BS4K 151	

録画を止める

1 ■停止 **●** を押す

2 「はい」を選び、**決定** を押す

- 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

一時停止する

録画を一時停止させたい番組を放送切換やチャンネル切換を行ってテレビ画面に表示させてください。

■一時停止 **●** を押す

- もう一度押す、または [ワンタッチ予約 録画 ●] を押すと録画を再開します。(番組は分割されません)
- 一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

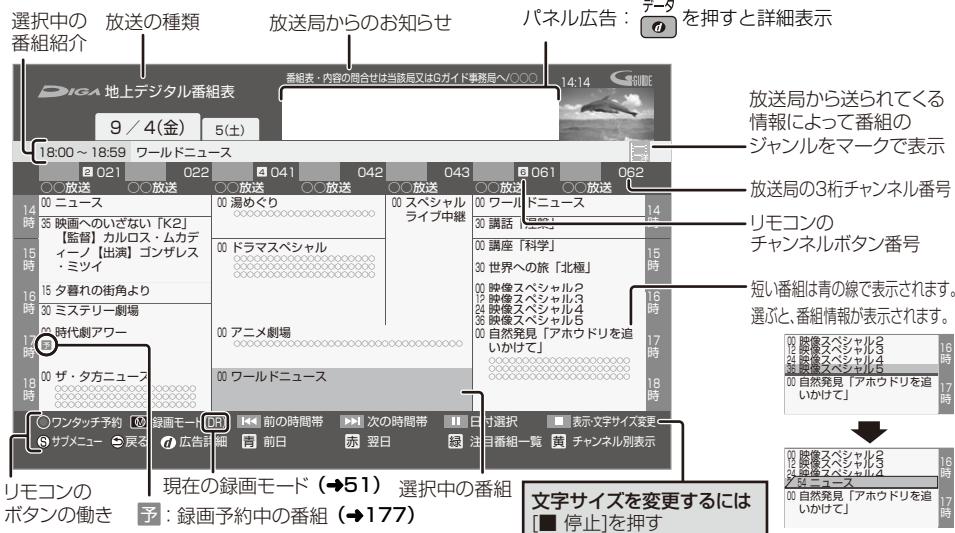
お知らせ

- 録画モードと記録時間の目安 (→ 194、195)
- 録画モードと記録時間の倍率について (→ 77)
- CATV から録画する (→ 79)
- 4K放送は、いったん4KDRモードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
- ディスクやUSB-HDDへは録画できません。
・予約録画はできます。(DVDは除く)
- 予約録画が始まり、複数の番組を録画 (→ 80) できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分割されます。
- 従来のアナログ放送と同様のDVD画質の番組は、選択した録画モードにかかわらず、画質はDVD画質相当で録画されます。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。
- 複数の番組を録画するには
手順 1 ~ 6 での別番組を録画してください。
・複数の番組を録画中のチャンネル / 放送切換は、録画中の番組間でのみ行えます。
・番組の同時録画について (→ 80)

番組表の見方

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。

例) 全チャンネル表示



番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な5つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ／特撮）を色分け表示しています。

お知らせ

●番組表のデータ受信について

本機の番組表は、放送局から送られてくる番組表のデータとGガイドから送られてくる番組表のデータを基に表示しています。それぞれの番組表のデータを受信するタイミングは異なります。

- ・放送局から送られてくる番組表のデータは、その放送局を視聴するとすぐに受信することができます。
- ・Gガイドから送られてくる番組表のデータは、電源「切」時に受信します。（時間帯によっては受信できるまでに1日程度かかる場合があります）
- ・番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。
- ・番組表に8K放送が表示される場合がありますが、本機で視聴・録画することはできません。

番組表の表示設定

放送の切り換え

地上 BS CS 4K B/S/C/S を押す

番組表の見方（続き）

表示の切り換え

番組表の表示を変更することができます。

■停止 を押す

☞ 文字サイズを変更するには

〔青〕〔赤〕を押す

☞ 表示チャンネル数を変更するには

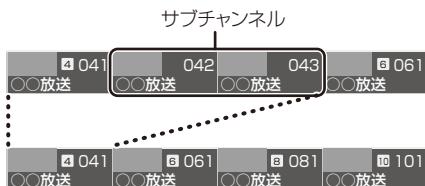
〔◀◀ スキップ〕〔▶▶ スキップ〕を押す

☞ 番組詳細の表示を切り換えるには

〔緑〕を押す

☞ サブチャンネル表示を切り換えるには

〔黄〕を押す



お知らせ

・サブチャンネルの表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

日付の切り換え

・全チャンネル表示時のみ

青 (前日) 赤 (翌日) を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

① ■停止 を押す

② 日付を選び、(決定) を押す

お知らせ

・本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。

さらに、本機をインターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→156) を「入」にすると、

1か月の番組情報を取得することができます。
(2025年9月現在、1か月の番組情報を取得できる放送局はWOWOW、スター・チャンネルのみです)

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

① 表示したいチャンネルの番組を選択

② 黄 を押す

時間帯の切り換え

〔◀◀ スキップ〕または〔▶▶ スキップ〕を押す

その他の表示設定

1 番組表表示中に

サブ
メニュー
〔S〕を押す

2 項目を選び、設定する

番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(→62)
表示・文字サイズ変更	〔青〕または〔赤〕で、番組表の文字サイズを変更します。
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 ●お好み番組表は、「お好みチャンネル」(→48) で登録されている放送局が表示されます。
表示チャンネル数	1画面に表示するチャンネル数を変更します。 ●全チャンネル表示時のみ
表示日数切換	1画面に表示する日数を変更します。 ●チャンネル別表示時のみ
表示対象	番組表で表示させる内容を変更します。 ●全チャンネル表示時のみ ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されているP01から36までのチャンネルを表示します。 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
ジャンル別表示	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。 ●全チャンネル表示時のみ
視聴制限一時解除	暗証番号(→156)を入力して視聴制限を一時解除します。
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。

番組表 (G ガイド) を使って予約録画をする

HDD **BD-RE** **BD-R** **USB-HDD** (録画用フォーマット)

- 4K 放送の予約録画については (→59)
- ディスクへは、DR モードで 1 番組のみ予約できます。(4K 放送は予約録画できません / DVD には予約録画できません)
- お買い上げ直後は、すべての番組表の情報が表示されません。番組表のデータ取得には 1 日程度時間がかかる場合があります。

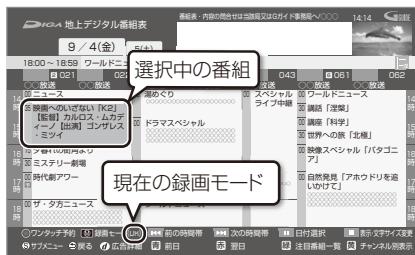
ディスクに予約録画する場合、ディスクを入れると下記のような画面が表示されますので、[戻る] を押して画面を消してください。

例)



1 を押す

2 番組を選ぶ



- ⌚ 別の放送の番組表を見るには
[地上] [BS] [CS] [4K] を押す
- ⌚ 現在の録画モードを変更するには
[録画モード] を押す
- ⌚ 番組を検索するには
(→62、63)

3

決定 を押す

ワンタッチ予約 を押すと、

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。(予 が表示されます)

- HDD に予約します。
- 手順 4、5 の操作は不要です。



4

「番組予約へ」を選び、決定 を押す



表示マークについては (→177)

多重音声の番組には以下のマークが表示されます。



: マルチ音声



: 二重音声

- 「関連情報」を選びと、選択している番組に関連した情報から番組を検索します。(→62)
- 「番組詳細内容」の取得には時間がかかる場合があります。

番組表 (G ガイド) を使って予約録画をする (続き)

5 項目選び、決定を押す

予約内容を確認してください。



- ディスクや USB-HDD に予約録画する場合は、「詳細設定へ」を選び「録画先」を「BD」または「USB-HDD」に変更してください。

この番組だけを予約する：

この番組のみ予約を登録

毎週予約する：

毎週同じ曜日に予約を登録

カテゴリーでまとめて予約する：

好みの番組を自動で登録 (→71)

録画モードを変更する：

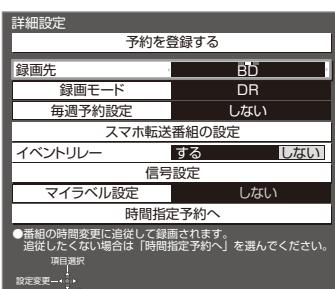
録画モードを変更 (変更後、「この番組だけを予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください)

スマホ転送番組を設定する：

スマートフォンなどへ転送するための番組を作成 (→131)

詳細設定へ：

録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更 (→59)



録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを毎日・毎週予約すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。



- 連続ドラマが終了したなど不要になった予約は取り消してください。 (→68)

まとめ表示について

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。 (→86)
(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

前回の番組を消去して録画するには

(自動更新)

「自動更新」(→59) を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。

- 未視聴の場合でも自動更新されます。
- 番組にプロテクトを設定している場合や、録画一覧表示中、HDD の番組を再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

お知らせ

- 複数の番組を予約する場合は、手順 1 ~ 5 の操作を繰り返してください。予約済みの番組を重複して予約することはできません。
- 本機では 128 番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は、1 番組として数えます)
- USB-HDD に 4K 放送を予約したい場合や複数の番組を同時に録画したい場合は、USB3.0 対応の USB-HDD を使用してください。 (→38)
- 本機で録画した USB-HDD の番組は、他の機器に接続しても再生することはできません。
- 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD には予約録画できません。



戻る

番組表 (G ガイド) を使って予約録画をする (続き)

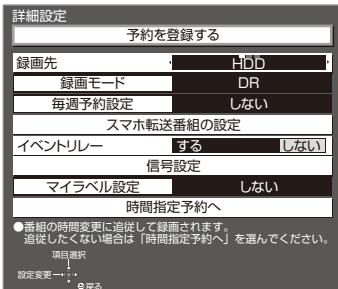
4K 放送の予約録画について

- HDDとUSB3.0対応のUSB-HDDにのみ予約できます。(USB3.0 非対応の USB-HDD とディスクには予約できません)
- 4K 放送の予約録画は最大 1 番組まで録画できます。
- 4K 画質モードで録画する場合、いったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
- 1.5 ~ 15 倍録モードで録画できません。

詳細設定をする

58 ページ手順 5 などで「詳細設定へ」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する (→下記)



2 設定が終了したら、「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、(決定)を押す

録画先	録画先を選びます。
予約チューナーの設定 (予約修正時のみ)	録画するチューナーを変更することができます。 • 予約の重複時に変更すると重複が解除できる場合があります。
録画モード	録画モード (→51、52) を設定します。 • BD に予約録画する場合は、録画モードは DR モードとなります。
毎週予約設定	「毎週予約」(→58) を設定する • 「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。
スマホ転送番組の設定 [HDD]	録画時にスマホ転送番組も作成するよう設定をします。(→131)
イベントリレー	「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。(ただし、別番組として録画されます) 例)

お知らせ

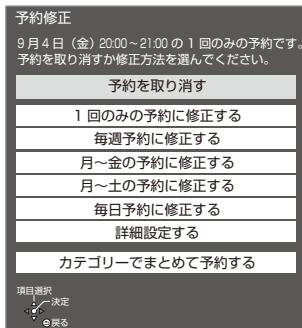
- 毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。
- 録画先が "BD" の場合、延長部分は HDD に代替録画されます。
- 他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。

番組表 (G ガイド) を使って予約録画をする (続き)

信号設定	複数の音声や映像の信号があるときに設定します。 ①項目を選び、設定する ②[戻る]を押す
マイラベル 設定 HDD	録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。 設定すると、録画一覧 (→81) で番組を探すのに便利です。 設定は録画後に変更することもできます。(→99) ラベルを選び、[決定]を押す •選択したラベルが録画一覧にならない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 •マイラベル名は変更することができます。 (→84 「分類ラベル設定」)
時間指定予約へ	録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。 (→67 「時間指定予約」)

番組表での予約の取り消し / 修正

- ① **予** が表示されている番組を選び、を押す
② **項目を選び、決定** を押す



- ☞ 「詳細設定する」を選んだ場合
「番組予約」のときは (→59 「詳細設定」)
「時間指定予約」のときは (→67 「時間指定予約」)
- ☞ 「カテゴリーでまとめて予約する」を選んだ場合 (→71)

録画中の予約録画を止める

1 テレビ視聴中に

を押す

- 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

2 「はい」を選び、決定を押す

番組表 (G ガイド) を使って予約録画をする (続き)

注目番組一覧から予約録画する

放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に
緑を押す

2 放送を選び、決定を押す

- 各放送の全チャンネルを選んだ場合、手順**4**へ進んでください。



インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→156)を「入」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。
(2025年9月現在、注目番組の情報を取得できる放送局はNHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです)

3 (注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ)
カテゴリーを選び、決定を押す



カテゴリー
② カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには
[ワンタッチ予約 録画 ●]を押す
● **■**が表示され、予約は完了します。
● 録画された番組は、**まとめ**番組になります。

③ 放送を変更するには
[緑]を押す (→手順**2**へ)

4 番組を選び、決定を押す



カテゴリー

- 前後のページを見るには
[◀◀ スキップ][▶▶ スキップ]を押す
- 他のカテゴリーを表示するには
[青][赤]を押す
([II]一時停止]を押してカテゴリーを選択することもできます)
- 放送を変更するには
[緑]を押す (→手順**2**へ)
- 録画モードを変更するには
① [録画モード]を押す
② 録画モードを選び、[決定]を押す

5 「番組予約へ」を選び、決定を押す
(「番組予約」のときは→58手順5)
(「時間指定予約」のときは→67手順3)

番組表 (G ガイド) を使って予約録画をする (続き)

ジャンルや人名、ワードで検索する

1 番組表表示中に

を押す

サブメニュー
の代わりに を押すと、
複数の検索条件を組み合わせて、
番組を検索することができます。
(→63)



2 「番組表の検索」を選び、を押す

3 検索方法を選び、を押す

- フリーワード検索
- ジャンル検索
- キーワード検索
- 人名検索

ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

- ④ 検索条件を選び、を押す
 - ・この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。
- ⌚ 放送ごとに表示するには
[地上][BS][CS][4K]を押す
- ⌚ 別日の検索結果を表示するには
[青](前日)[赤](翌日)を押す
(検索結果画面表示中に、[II一時停止]を押して日付を選択することもできます)
- ⑤ 番組を選び、を押す
- ⑥ 「番組予約へ」を選び、を押す
(→58手順5)

フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の検索条件(5件まで)を登録し、1つでも条件を満たす番組を検索することができます。

- ・番組表の番組名や番組内容にある番組概要、番組詳細内容(→57手順4)の文字情報から検索します。

■ 検索条件を登録する

④ を押す

⑤ 検索方法を選び、を押す

- ・「フリーワード」は、文字を入力し(→144)、登録してください。

上記手順④、⑤を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

⌚ 登録したフリーワードを変更するには

- ① 検索条件を選び、[決定]を押す
- ② 「フリーワード編集」を選び、[決定]を押す
- ③ 文字を入力する(→144)

⌚ 登録した検索条件を削除するには

- ① 検索条件を選び、[黄]を押す
- ② 「はい」を選び、[決定]を押す

■ 検索する

④ 検索する放送種別を変更する場合:

⌚ を押す

- ② 検索したい放送を「入」に設定し、を押す

⌚ を押す

⌚ 別日の検索結果を表示するには

- [青](前日)[赤](翌日)を押す
(検索結果画面表示中に、[II一時停止]を押して日付を選択することもできます)

⑥ 番組を選び、を押す

⑦ 「番組予約へ」を選び、を押す
(→58手順5)

お知らせ

- ・フリーワード検索結果は、40件まで表示します。
- ・検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどの検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- ・「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

番組を検索する

複数の検索条件を組み合わせて、番組表や録画番組の中から番組を検索し、予約録画や再生・編集をすることができます。

1 [検索] を押す

2 検索条件を設定する (→64)



- 検索条件を指定しない項目は、「指定しない」を選んでください。

([赤] を押して「指定しない」にすることもできます)

☞ 設定した検索条件をリセットするには
[青] を押す

3 すべての設定が終了したら、[決定] を押す



☞ 再検索するには
[検索] を押す

お知らせ

- 録画中の番組やお録りおき番組は、検索の対象なりません。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなど検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- フリーワードで英数の文字入力をした場合、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。
- SeeQVault フォーマットのUSB-HDDは、番組の検索ができません。

予約する（「番組表」選択時）

- ④ 番組を選び、[決定] を押す
- ⑤ 「番組予約へ」を選び、[決定] を押す (→58 手順 5)

再生する（「録画一覧」選択時）

- ④ 番組を選び、[決定] を押す

編集する（「録画一覧」選択時）

- ④ 番組を選び、[緑] を押す
(→97「番組を編集する」手順 3)
- ⑤ チャプターを編集するには
[サブメニュー] を押して「チャプターリストへ」を選び、[決定] を押す (→102 手順 4)

消去する（「録画一覧」選択時）

- ④ 番組を選び、[黄] を押す
- ⑤ 「消去」を選び、[決定] を押す

番組を検索する（続き）

検索条件について

検索対象	予約録画したい番組を検索する場合は、画面上で「番組表」を選び、再生・編集したい番組を検索する場合は、画面上で「録画一覧」を選んでください。
録画先	録画番組のある録画先 ●「家じゅう」は、お部屋ジャンプリンクで接続された機器の中から番組を検索することができます。
検索単位	「番組」または「シーン」単位で検索
放送種別	放送の種類 ●「お好み」は、「お好みチャンネル」（→48）で登録されている放送局です。
ジャンル	番組のジャンル
サブジャンル	「ジャンル」の詳細
フリーワード	登録したワード ☞ フリーワードの登録について（→右記） ●番組表の番組名や番組内容にある番組概要・番組詳細内容（→57手順4）の文字情報から検索します。 ●インターネットに接続すると、ディモーラから旬のキーワード（青色表示）を取得することができます。
人名（頭文字）	人名の頭文字
人名	「人名（頭文字）」で指定した頭文字の人名
期間	番組を録画した日時

検索条件によって表示される項目は異なります。

フリーワードを登録する

フリーワードは20件まで登録することができます。

- ① 「新規登録」を選び、（決定）を押す
- ② 項目を選び、設定する
☞ 文字入力（→144）



フリーワード：

入力文字の関連番組を検索します。

除外ワード：

入力文字の関連番組を検索対象から除外します。

検索方法：

検索時の組み合わせ方を設定します。

- 「すべてのフリーワードを含む」：登録したすべてのフリーワードを含む番組を検索します。
- 「いずれかのフリーワードを含む」：登録したフリーワードのうち、いずれか1つでも一致した番組があった場合、その番組を検索します。

- ③ 設定が完了したら、「決定」を選び、（決定）を押す

- ☞ インターネットから取得したキーワード（青色表示）を登録するには

キーワード（青色表示）を選び、[緑]を押す

- ☞ 登録したフリーワードを変更するには

- ① 変更したいフリーワードを選び、[緑]を押す
- ② 項目を選び、設定する
☞ 文字入力（→144）

- ☞ 登録したフリーワードを削除するには

削除したいフリーワードを選び、[黄]を押す

番組ニュースを確認する

番組ニュースでは、インターネットを利用して番組に関する記事を取得することができます。

また、記事の中のキーワードを使って、関連する番組を検索することができ、番組ニュースに検索キーワードを登録しておくと関連番組が見つかったときにお知らせします。

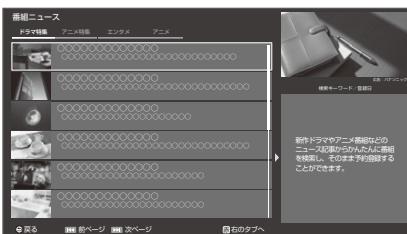
- ・番組ニュースを利用するには、本機をインターネットに接続する必要があります。

・ネットワーク接続と設定をする (→26、27、32)

1 番組ニュース 新番組 を押す

- ・「新番組/特番おしらせ」画面が表示された場合、もう一度ボタンを押してください。

2 番組選び、決定 を押す



- ⌚ 前後のページを見るには
[◀◀ スキップ] [▶▶ スキップ] を押す
⌚ 他のジャンルを表示するには
[青][赤] を押す

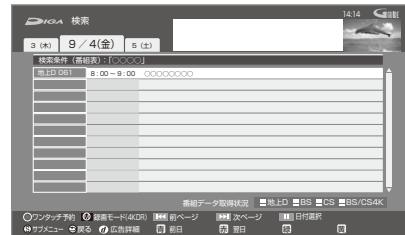
3 記事中のキーワードで番組を探すには 青 を押す

- ・検索に使用したキーワードは、検索キーワードとして登録されます。
- ・登録できる検索キーワードは最大 100 です。最大数を超えた場合、古いキーワードから自動的に削除されます。

- ⌚ 登録キーワードで番組を検索するには
検索したい登録キーワードを選び、
[決定] を押す
⌚ 登録キーワードを削除するには
削除したい登録キーワードを選び、
[黄] を押す

4 番組選び、決定 を押す

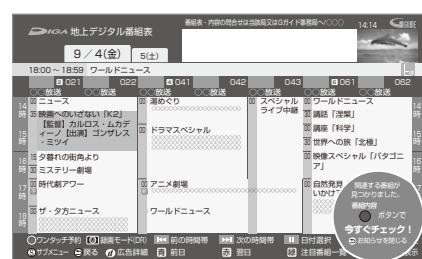
- ・決定 の代わりに 録画 を押すと、現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。(HDD に予約します)



5 「番組予約へ」を選び、決定 を押す (→58 手順 5)

登録キーワードに関連した番組が見つかったときのお知らせ

番組表を表示したとき、登録キーワードに関連した番組を見つけたことを通知する画面を数秒間表示します。
[ホーム] を押して「番組ニュース」を選ぶと、番組ニュース画面で関連番組を確認することができます。



新番組 / 特番 / 初放送の確認や予約をする

HDD **BD-RE** **BD-R** **USB-HDD** (録画用フォーマット)
本機は新番組や特番、テレビ初放送の映画を一覧で表示できます。

番組ニュース 新番組を押す

- ・「番組ニュース」画面が表示された場合、もう一度ボタンを押してください。

2 番組を選び、**決定**を押す

- [決定]の代わりに [ワンタッチ予約 録画 ●] を押すと、現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。(HDDに予約します)

表示マーク	表示条件
新番組 : 	[新]、<新>、<新番組>、<新シリーズ>の表示がある番組
特番 (地上 D) : 	放送時間が 1 時間 45 分以上で、番組開始時刻が 18 時から 23 時 59 分までの地上デジタルの番組
初放送 (映画) : 	「初放送」、「地上波初」など「初」の表示がある映画の番組

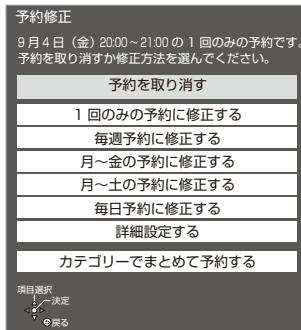
■ 予約済みの項目を修正する

- ① **予**が表示されている番組を選び、を押す

② 項目を選び、を押す



- ☞ 前後のページを見るには
[◀◀ スキップ] [▶▶ スキップ] を押す
 - ☞ 他のジャンルを表示するには
[赤] を押す
 - ☞ 放送を変更するには
[青] を押す
 - ☞ 「新番組」、「特番（地上 D）」、「初放送（映画）」
それぞれで表示するには
[緑] を押す
 - ☞ 録画モードを変更するには
 - ① [録画モード] を押す
 - ② 録画モードを選び、[決定] を押す



(→59「詳細設定」)

- 新番組を【ワンタッチ予約 録画●】で予約をした場合、第1話しか予約されません。毎週予約に変更する場合は、もう一度【ワンタッチ予約 録画●】を押して毎週予約に修正をしてください。
 - 表示条件が2つ以上重なる番組の表示マークは、「新番組」、「初放送（映画）」、「特番（地上D）」の優先順位で表示します。

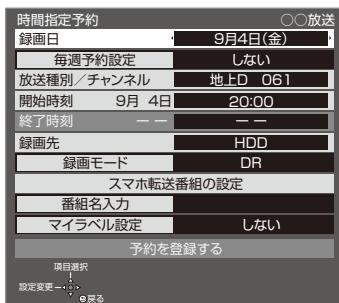
日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

HDD BD-RE BD-R USB-HDD (録画用フォーマット)

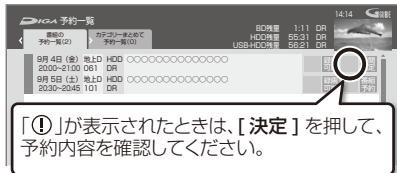
1 予約確認  を押す

2 ワンタッチ予約  録画 を押す

3 予約内容を設定する
(→右記「時間指定予約」)



4 「予約を登録する」または「修正を反映する」
を選び、 を押す



お知らせ

● 暗証番号に関する表示が出たとき

- デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号（→156）の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、[戻る] を押すと予約できます。
- 本機の日時が間違っている場合は、日時設定を行ってください。（→145「日時設定」）
- 番組追従機能（→75）は働きません。
- 写真・音楽用フォーマットまたはSeeQVaultフォーマットのUSB-HDDには予約録画できません。

予約内容の設定

時間指定予約

① 項目を選び、設定する（→下記）

② 設定が終了したら、
左記手順4へ

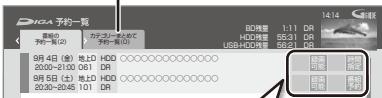
録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日・毎週予約を設定します。 (→59「毎週予約設定」)
放送種別 / チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 • [◀] または [▶] を押したままにすると 15 分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
予約チューナーの設定 (予約修正時のみ)	録画するチューナーを変更することができます。 • 予約の重複時に変更すると重複が解除できる場合があります。
録画モード	録画モード（→51）を設定します。
スマホ転送番組の設定	スマホ転送番組作成の設定をします。（→59）
番組名入力	<ul style="list-style-type: none"> 文字入力について（→144） 入力しなくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。（→60）

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認 を押す

2 番組を選び、以下の操作を行う

- 【◀】【▶】を押して、「カテゴリーまとめて予約一覧」を選ぶと、カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消しができます。
（→72「カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消し」手順3）



予約状況がマークで表示されます。

- 「①」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
- 毎日・毎週予約で HDD の残量が少ないため数週間後の予約ができるない場合、「①」が表示されます。「毎週一覧」で確認してください。
- 表示マークについては（→179）

- 実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。
(消去された予約は「履歴一覧の表示」で確認できます → 右記)

お知らせ

- 【予約確認】を3秒以上長押しすると、音声ガイドの設定画面が表示されます。

予約の取り消し

黄 [決定] を押す

- 「探して毎回予約」の場合、テレビ側の予約も取り消してください。

予約内容の修正

① [決定] を押す

② 「修正」を選び、[決定] を押す

- （「番組予約」のときは → 59「詳細設定」）
（「時間指定予約」のときは → 67「時間指定予約」）

毎日・毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。

① [決定] を押す

② 「毎週一覧」を選び、[決定] を押す

- 予約の「重複」がある場合に [決定] を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。（→76）
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める（一時解除）

サブメニュー [S] を押す

② 「予約実行切」を選び、[決定] を押す

- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
- [サブメニュー] を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。[LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）で録画中の番組を除く]

お知らせ

- 「お録りおき録画」では予約の実行切ができません。

視聴制限の一時解除

暗証番号（→156）を入力して視聴制限を一時解除します。

サブメニュー [S] を押す

② 「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す

③ 1 ~ 10 で暗証番号を入力する

履歴一覧の表示

「一部未実行」など、録画ができなかった予約の履歴を一覧表示します。

サブメニュー [S] を押す

② 「履歴一覧表示」を選び、[決定] を押す

- 履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

サブメニュー [S] を押す

② 「履歴削除」を選び、[決定] を押す

③ 「はい」を選び、[決定] を押す

- 予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

自動予約する

おまかせ録画する

設定した録画条件から番組を毎日検索し、自動で予約録画します。

- **HDD** に以下の録画モードで予約録画されます。

- 4K 放送：4K 2 倍録
- 地上 D/BS/CS 放送：5 倍録

- 録画モードを変更したい場合は、「録画モードを設定する」(→70) で設定してください。

- おまかせ録画は最大 12 個まで登録できます。

☞ 自動予約機能で予約可能な番組数について (→77)

1 ホーム を押す

2 「おまかせ録画」を選び、(決定) を押す

- 表示がない場合は [**◀◀ スキップ**] [**▶▶ スキップ**] でページを切り換えてください。

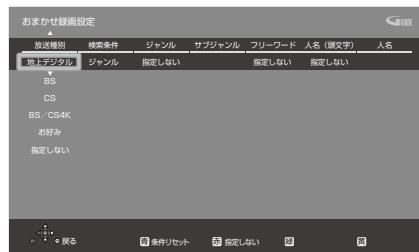
3 「未登録」を選び、**青** を押す

- 登録済みのおまかせ録画を変更するには、項目を選び、[青] を押してください。

おまかせラベル



4 録画条件を設定する (→ 右記)



5 すべての設定が終了したら、(決定) を押す

■ 録画条件について

放送種別	放送の種類 ●「お好み」は、「お好みチャンネル」(→48) で登録されている放送局です。
検索条件 <small>*1</small>	「ジャンル」、「カテゴリー」、「ディモーラおまかせ」の切り替え ●「ディモーラおまかせ」に設定すると、録画履歴の傾向からお客様の興味がありそうな番組や、ディモーラのサービスに登録されたディーガで多く録画された番組または話題になった番組を自動で録画予約します。 ☞ サービスの登録について (→34)
ジャンル	ドラマ、スポーツ、音楽などのキーワード
カテゴリー <small>*2</small>	放送番組に関連したキーワード
サブジャンル	「ジャンル」の詳細
サブカテゴリー	「カテゴリー」の詳細
フリーワード	登録したワード ☞ フリーワードの登録について (→64) ● インターネットに接続すると、ディモーラから旬のキーワード（青色表示）を取得することができます。
人名（頭文字）	人名の頭文字
人名	「人名（頭文字）」で指定した頭文字の人名

※1 放送データが未取得の場合は、「カテゴリー」への切り替えはできません。

※2 選択項目は放送データの取得状況によって変わります。

お知らせ

- おまかせ録画の自動予約を取り消す場合は、登録済みのおまかせ録画を取り消してください。(録画条件の初期化) (→70)
- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。
(→77 「自動予約する番組の優先順位について」)

自動予約する（続き）

自動消去設定

おまかせ録画で予約録画された番組は、自動的に消去することができます。

自動消去は本機の電源「切」時に実行します。

69 ページ手順 2 のあと

- ③  を押す
- ④ 項目を選び、 を押す

- 自動消去の対象から外したい番組は、「プロジェクト設定」(→右記) または「おまかせ録画から除外」(→71) を設定してください。
- 「HDDの残量が少なくなったら自動消去する」の場合、録画日時が古い順に最大 20 番組を自動消去します。

お知らせ

- 本機の電源「入」時や予約録画中などは、自動消去は実行されません。

録画モードを設定する

おまかせ録画ごとに録画モードを設定できます。

69 ページ手順 2 のあと

- ③ 登録したおまかせ録画を選び、 を押す
- ④ 録画モード (→51) を設定する

おまかせ録画予約の確認、修正、登録の取り消し

69 ページ手順 2 のあと

■ 予約済み番組を確認する

- ③ 確認したい項目を選び、 を押す
- ④  を押す
- ⑤ 「登録済み予約」を選び、 を押す
- 予約番組を修正したい場合：
「登録済み予約」では確認のみできます。
予約された番組を修正したい場合は、
予約一覧 (→68) で修正してください。

■ 登録済みのおまかせ録画を取り消す

選択したおまかせ録画のみを取り消し、自動予約されなくします。(録画条件の初期化)

- ③ 登録した項目を選び、 を押す
- ④ 「はい」を選び、 を押す
- 予約済みの予約は取り消されません。
予約一覧 (→68) で取り消してください。

おまかせ録画した番組を再生する

- 1  を押す

- 2 「おまかせ録画」を選び、 を押す

●表示がない場合は [] [] でページを切り換えてください。

- 3 項目を選び、 を押す

- 4 番組を選び、 を押す

おまかせ録画の一覧から番組を消去する

上記手順 3 のあと

- 4 消去したい番組を選び、 を押す

- 5 「消去」を選び、 を押す

●他の録画条件に同じ番組がある場合は、本機から消去されません。

再生中に [消去] を押して番組消去を行うと、その番組は本機から消去されます。

プロジェクト設定 / 解除

自動消去などで記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに保護する設定ができます。

上記手順 3 のあと

- 4 番組を選び、 を押す

- 5 「プロジェクト設定」または「プロジェクト解除」を選び、 を押す

●プロジェクト設定すると「」が表示されます。

●他の録画条件に同じ番組がある場合は、その番組もプロジェクト設定 / 解除されます。

自動予約する（続き）

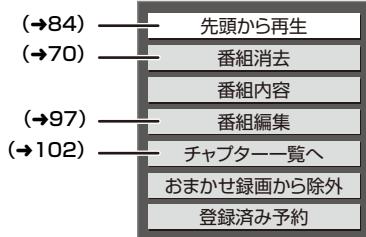
おまかせラベルの便利な機能

70 ページ「おまかせ録画した番組を再生する」の手順 3 のあと

サブメニュー

④ 番組を選び、**(5)** を押す

⑤ 項目を選び、**(決定)** を押す（→下記）



番組内容	番組の内容が確認できます。 ☞ 画面を消すには [決定] を押す
おまかせ録画から除外	おまかせラベルで表示させなくします。 「すべて」ラベル（→82）からは番組を見るることができます。
登録済み予約	おまかせ録画で録画予約した番組を表示します。

お知らせ

- おまかせ録画により、自動で録画された番組には「」が表示されます。
- 「おまかせ」ラベルでは、新しく録画された番組がある場合には、「」が表示されます。
- 録画一覧（→81）の「すべて」ラベルでは、 番組として、まとめ表示されます。
 - の番組を消去した場合、おまかせラベルでも番組は表示されなくなります。

関連する番組を自動で予約録画する（カテゴリーまとめて予約）

お好みの番組に関連するカテゴリーの番組を毎日検索して自動で予約録画します。

- **[HDD]** に予約します。
- 登録できる項目数は 32 個までです。
- ☞ 自動予約機能で予約可能な番組について（→77）

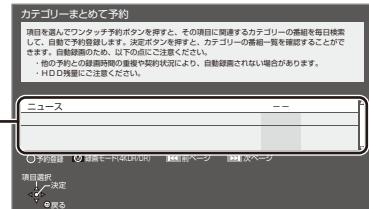
選択した番組から探す

選択している番組に関連した項目から番組を自動で予約録画します。

1 番組予約画面（→58 手順 5）表示中に
「カテゴリーでまとめて予約する」を選び、
[決定] を押す

- 選択している番組に関連するカテゴリーの番組の情報がない場合、選択できません。

2 表示されている項目を選び、**[決定]** を押す



選択している番組に関連した項目が表示されます。

- 録画モードを変更する場合は、[録画モード] を押して、録画モードを選んでください。

3 「予約する」を選び、**[決定]** を押す

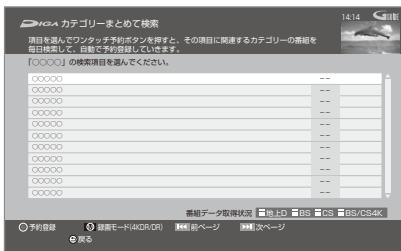
自動予約する（続き）

カテゴリーから探す

ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目を選び、その項目に関連したカテゴリーの番組を自動で予約録画します。

- 1 ホーム を押す
- 2 「カテゴリーまとめて検索」を選び、(決定) を押す
- 3 「検索する」を選び、(決定) を押す
- 4 検索対象から項目を選び、(決定) を押す

- 5 項目を選び、(決定) を押す



- 録画モードを変更する場合は、[録画モード] を押して、録画モードを選んでください。

カテゴリーの番組一覧を表示する場合

手順 5 で [決定] を押す

カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消し

- 1 ホーム を押す
- 2 「カテゴリーまとめて検索」を選び、(決定) を押す
- 3 「登録した予約を確認する」を選び、(決定) を押す

■ 予約済み番組を確認する

- ④ 確認したい項目を選び、(決定) を押す

● 予約番組を修正したい場合：

① 修正したい番組を選び、[ワンタッチ予約 録画 ●] を押す

② 項目を選び、[決定] を押す

詳細設定について（→59）

（予約番組を修正すると、カテゴリーまとめて予約の番組ではなくなります）

■ 登録済みの項目を取り消す

- ④ 登録した項目を選び、(決定) を押す

- ⑤ 「はい」を選び、(決定) を押す

- すでに予約済みの予約は取り消されません。
予約一覧（→68）で取り消してください。

お知らせ

- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。（→77「自動予約する番組の優先順位について」）
- 契約が必要なチャンネルの番組は、契約していない場合、自動登録されません。

自動予約する（続き）

お録りおき番組を自動で予約録画する

（地上デジタル）（BS デジタル）

お録りおきを設定すると、設定したチャンネルや時間帯のドラマやアニメを自動で予約録画します。

- ・録画先は [HDD] になります。
- ・お録りおき番組は、お録りおき用のHDD容量が不足すると古い番組から自動消去します。残しておきたい番組は、保存してください。（→87）
- ☞ 自動予約機能で予約可能な番組数について（→77）

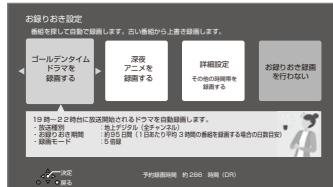
お録りおきを設定する

1 ホーム を押す

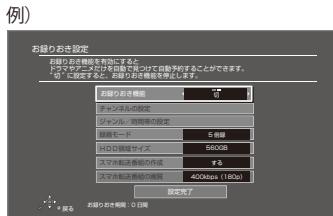
2 「設定」を選び、決定 を押す

3 「お録りおき設定」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、決定 を押す



「詳細設定」を選ぶと、チャンネルや時間帯、録画モードなどの設定ができます。



お知らせ

- ・お録りおきを使用しない場合は、「お録りおき機能」で「切」を選んでください。

・「お録りおき機能」を「入」から「切」に変更すると、すでに録画済みのお録りおき番組は消去されます。必要な番組はあらかじめ保存を実行したあとで「お録りおき機能」を「切」に変更してください。

- ・お録りおきの期間は、設定したジャンルの各時間帯の平均的な放送時間を基にした予測目安です。
- ・予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。

（→77 「自動予約する番組の優先順位について」）

- ・契約が必要なチャンネルの番組は、契約していない場合、自動登録されません。
- ・お録りおき録画で録画対象とする番組は以下になります。
 - ・選んだ番組の開始時刻の前後約3時間以内にある番組
 - ・選んだ番組と同じ放送局の番組

お録りおき予約の重複通知について

お録りおき予約が通常予約（→57）など他の予約と重複している場合、重複する番組のお録りおきができません。

画面の指示に従って、予約重複確認画面（→76）で重複を解消してください。



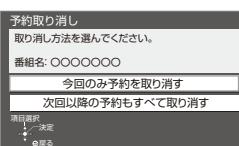
- ・通知を表示しないようにするには、「お録りおき予約重複通知設定」（→146）で「切」を選んでください。

優先お録りおき

他のお録りおき予約よりも優先してお録りおき予約をするには、予約一覧画面（→68）で予約番組を選び、[緑] ボタンで優先お録りおきを設定してください。

お録りおき予約の取り消し

お録りおき予約を取り消すには、画面の指示に従って予約を取り消してください。



今回の予約を取り消す：

今回のお録りおき予約を取り消し、次回以降のお録りおき予約は登録されます。

次回以降の予約もすべて取り消す：

今回のお録りおき予約を取り消し、次回以降のお録りおき予約も登録されません。

自動予約する（続き）

ニュース番組を自動で予約録画する

（地上デジタル）

指定したチャンネルのニュース番組を自動で予約録画することができます。

録画されたニュースは、「最新ニュース」や「ニューストピックス」として見ることができます。

- **HDD** に 7 倍録モードで予約録画されます。
- ニューストピックスをご利用になるには、インターネットに接続して、ディモーラの会員登録が必要です。
- ☞ サービスの登録について（→34）
- ☞ 自動予約機能で予約可能な番組数について（→77）

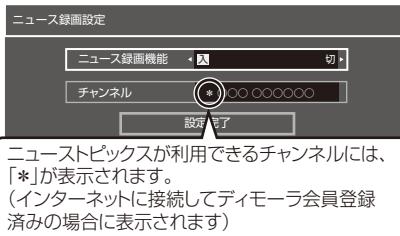
ニュース録画設定

1 ホーム を押す

2 「ニュース録画設定」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [<◀◀ スキップ]
[▶▶ スキップ] でページを切り換えてください。

3 項目を選び、設定する



ニュース録画機能：
「入」に設定すると、ニュース番組の自動録画を有効にします。

- チャンネル：
チャンネルを選びます。

4 設定が終了したら、 「設定完了」を選び、決定 を押す

最新ニュースを再生する

録画されたニュース番組の中から最新の番組を再生することができます。

1 ホーム を押す

2 「最新ニュース」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [<◀◀ スキップ]
[▶▶ スキップ] でページを切り換えてください。

ニューストピックスを再生する

録画されたニュース番組の中から話題のニュースを順番にシーン一覧で表示します。

1 ホーム を押す

2 「ニューストピックス」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [<◀◀ スキップ]
[▶▶ スキップ] でページを切り換えてください。

3 見たいシーンを選び、決定 を押す

- 選んだシーンから再生されます。

お知らせ

- 録画されるニュース番組は以下のようになります。
 - ・放送時間が 15 分以上の番組が予約録画されます。
 - ・番組編集はできません。
 - ・録画後 48 時間以上経つと、自動で消去されます。番組を残したい場合は、ダビングなどで保存してください。（→107）
 - ・録画一覧（→81）では以下のように表示されます。
 - **ニュース** 番組として、まとめ表示されます。
 - 番組には「**ニュース**」が表示されます。
- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。（→77「自動予約する番組の優先順位について」）

シーン一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。（2025 年 9 月現在）

また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。詳しくは、ディモーラのホームページ（→34）をご覧ください。

予約録画の便利な機能

ディスクやUSB-HDDの残量不足などに対応 (代替録画)

残量不足や未挿入、未接続などの理由でディスクやUSB-HDDに予約録画できない場合は、録画の失敗を防ぐために、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の開始からHDDに録画します。

お知らせ

- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。

番組追従機能

■ 野球中継などの番組延長に対応

予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3時間までの変更に対応)



- 予約した番組が放送局側の都合により放送されなかつた場合、予約録画は実行されません。

■ 毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

(開始 / 終了時刻の3時間までの変更に対応)



- 番組表の更新を基に働くため、更新状態(番組名の変更など)によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。(→67)

お知らせ

- 時間指定予約では番組追従機能は働きません。
- 番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

録画 / 予約録画に関するお知らせ

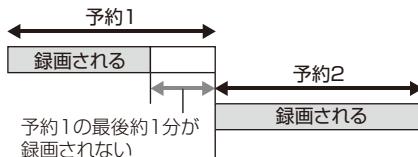
予約時の電源の切 / 入について

電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。予約録画中に電源を切ることはできます。(録画に影響はありません)

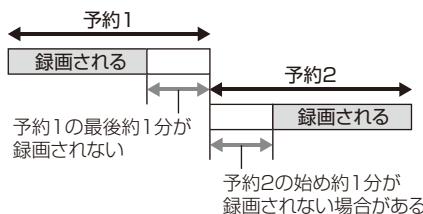
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

以下の場合は、前の予約の終わり約 1 分が録画されません。

- 複数の番組を録画できない状態のとき
- USB3.0 非対応の USB-HDD に予約しているとき



次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されない場合があります。



- 前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。
- 「予約チューナーの設定」で録画するチューナーを予約 1 と予約 2 で異なるように変更すると、番組の最後まで録画できる場合があります。(→59、67)

HDDの残量が少なくなったときの予約録画について

HDD の残量が少なくなると、本機の電源状態／再生状態／同時録画数などの条件によっては、HDD 残量不足のために番組の途中までしか録画できない場合があります。HDD 残量が少なくなった場合は、不要な番組を消去して残量を増やしてお使いください。

予約番組が重なっているとき (58 ページ手順 5 などのあと)

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。

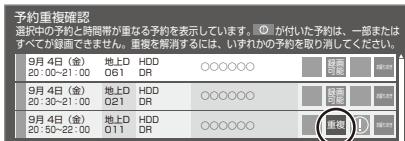
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。

予約重複確認

予約が重複しています。
予約が実行されない場合があります。
予約重複確認画面を表示しますか?

はい	いいえ
決定	
項目選択 → [決定] → 戻る	

例)

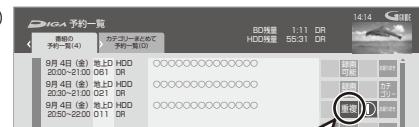


「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、[決定]を押すと、予約の修正ができます。
「予約チューナーの設定」で録画するチューナーを変更すると予約の重複を解除できる場合があります。(→59、67)

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

例)



開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりだい、次の番組が途中から録画されます。

開始時刻が同じ場合、あとから予約した番組を優先して録画します。

- LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスやCATV）の番組に「重複」マークが表示されている場合、途中からの録画は実行されません。

録画 / 予約録画に関するお知らせ (続き)

自動予約機能で予約可能な番組数について

●以下の録画予約は合計 128 番組まで可能です。

- ・お録りおき録画 (→73)
- ・おまかせ録画 (→69)
- ・カテゴリーまとめて予約 (→71)
- ・ニュース録画 (→74)

自動予約する番組の優先順位について

本機は、以下の優先順位で予約します。

予約の重複が起きた場合は、優先順位の低い自動予約は登録されません。

- ① 優先お録りおきに変更、または毎回保存を登録済みのお録りおき録画
- ② 検索条件が「ジャンル」または「カテゴリー」のおまかせ録画 (→69)
- ③ カテゴリーまとめて予約 (→71)
- ④ お録りおき録画 (→73) (毎回保存未登録)
- ⑤ 検索条件が「ディモーラおまかせ」のおまかせ録画 (→69)
- ⑥ ニュース録画 (→74)

同じ種類の予約録画が重なった場合、複数の番組を録画 (→80) できないときは、以下の優先順位で予約します。

- ① 開始時刻の早い番組を優先
- ② 開始時刻が同じときは、4K 放送、地上デジタル、BS デジタル、CS デジタルの順で番組を優先
- ③ 放送波が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先

再放送の録画について

「お録りおき録画」、「おまかせ録画」、「カテゴリーまとめて予約」では、同じ番組を二度録画するのを防ぐために、番組名に「第 2 話」や「#2」などの話数を含む番組（連続ドラマやアニメなど）を録画したことがある場合、その再放送は約 180 日間録画予約しません。

(ただし、途中で録画を中断した番組の再放送は録画予約します)

- 一度録画した番組の再放送も録画予約するには、「再放送の録画」(→148) を「録画する」に変更してください。

画質と記録時間について

4K 画質モードの場合

長時間の録画モードで録画する場合、映像によってはブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、4KDR モードなど高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

ハイビジョン画質モードの場合

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード（4 倍録～15 倍録）で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR モードや 1.5 倍録 など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

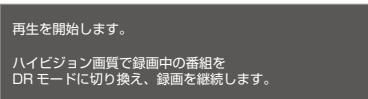
4K 画質モードの録画について

- 4K 放送の番組を 4K 画質モードで予約録画する場合は、いったん 4KDR モードで録画します。

DR モード切り換えについて

1.5 ～ 15 倍録モードでの録画中に、4K 放送番組の視聴、再生やダビング、お部屋ジャンプリンクなどを行うと、以下のような画面が表示される場合があります。

例) **BD-V** 再生時



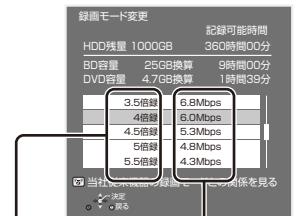
その場合は、いったん DR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。（電源「切」時に予約録画などで本機が動作中の場合、動作終了後に変換を行います）

- 変換前に一部の編集を行うことはできません。
- ☞ 変換が終了しているか確認するには (→100)

また、1.5 ～ 15 倍録モードで複数の番組を録画中、HDD の残量が少ないときは再生やダビングなどができるない場合があります。

録画モードと記録時間の倍率について

例)



記録時間の倍率 情報量(ビットレート)*

* 数値が大きいほど画質は良くなります。

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像(24 Mbps)を DR モードで録画した場合との比較を表しています。

4K 画質モードの倍率や情報量は、4K 放送 (33 Mbps) を 4KDR モードで録画した場合との比較を表しています。

☞ 録画モードと記録時間の目安 (→194)

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーから 録画する



ネットワークで接続すると、スカパー！プレミアムサービス対応チューナーからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

- サービスについては、当社ホームページをご覧ください。

https://panasonic.jp/support/bd/network/hd_rec/

接続と設定

- ネットワーク接続と設定をする（安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使って接続してください）（→26、27、32）
 - お部屋ジャンプリンク／スカパー！Link(録画)設定（→165）

HDD

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーで ネットワーク設定と予約の設定をする

録画中は、本体表示窓の「LAN」が点灯します。

点灯

本体
表示窓



- 本機が録画先になるように設定してください。詳しくはスカパー！プレミアムサービス対応チューナーの説明書をご覧ください。
- 本機の予約一覧に「LAN 予約」マークが表示されますので、予約内容を確認してください。（→68）
 - ・録画モードを変更することはできません。
 - ・「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
 - ・視聴制限のある番組や接続しているチューナーによっては、番組名が表示されないことがあります。

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

- スカパー！プレミアムサービス以外の番組も録画中のときは、「LAN」の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

- 4K 放送番組の録画はできません。
- 本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
- スカパー！プレミアムサービスの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
 - ・本機の日時が間違っている場合、もしくは本機をアンテナにつないでいない場合は、日時設定を行ってください。（→145「日時設定」）
 - ・予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
 - ・チューナー側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録します。（本機側で予約内容を修正していた場合、修正内容は無効になります）
 - ・予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。

CATV（ケーブルテレビ）から録画する

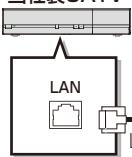
ネットワークを使って録画できる CATV セットトップボックスについては、当社ホームページ（[→12](#)）をご覧ください。

お知らせ

- CATV からコピー制限のある番組を録画する場合、「ダビング 10」の番組でも「1 回だけ録画可能」な番組として録画されます。

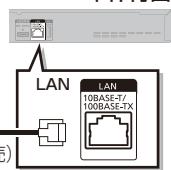
ネットワークを使って予約する

対応チューナー/
当社製CATV



- シールドツイストペア(STP) LAN ケーブルをご使用ください。

本体背面



ネットワークで接続すると、CATV セットトップボックスからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

- ネットワーク接続と設定をする（安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使って接続してください）（[→26, 27, 32](#)）
 - お部屋ジャンプリンク／スカパー! Link(録画)設定（[→165](#)）
- 4K 放送番組の録画はできません。

HDD

CATV 側でネットワーク設定と予約の設定をする

録画中は、本体表示窓の「LAN」が点灯します。



- 本機が録画先になるように設定してください。詳しくはCATVセットトップボックスの説明書をご覧ください。
- 本機の予約一覧に「LAN 予約」マークが表示されますので、予約内容を確認してください。（[→68](#)）
 - ・「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
 - ・ 視聴制限のある番組や接続している CATV セットトップボックスによっては、番組名が表示されないことがあります。

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

- ネットワーク経由以外の番組も録画中のときは、「LAN」の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

- 本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
- CATV の番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
 - ・ 本機の日時が間違っている場合、もしくは本機をアンテナにつないでいない場合は、日時設定を行ってください。（[→145 「日時設定」](#)）
 - ・ 予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
 - ・ CATV 側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録します。（本機側で予約内容を修正していた場合、修正内容は無効になります）
 - ・ 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。

番組の同時録画について

本機でできる最大の同時録画の組み合わせは、以下のとおりです。

- 1 ~ 4 番組目の録画順は自由です。

表の見方

地上・BS・CS放送	録画する放送/入力
DR	録画モード/接続

1番組目

4K放送
4KDR
4K画質モード ^{*1}
地上・BS・CS放送
DR 1.5~15倍録



2番組目

地上・BS・CS放送
DR 1.5~15倍録



3番組目

地上・BS・CS放送
DR 1.5~15倍録



4番組目

スカパー! プレミアムサービス ^{*2}
CATV ^{*2}
LAN経由

※1 4K 画質モードを選んで録画した場合、いったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。

※2 LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）の番組は、HDD にのみ録画できます。



ディスクに複数の番組を同時に録画することはできません。（DRモードでのみ録画できます）

お知らせ

- 以下の場合、番組の複数同時録画はできません。
 - ・ディスクから HDD へダビング中
 - ・HDD から HDD へダビング（複製）中
 - ・USB-HDD から HDD へダビング中
 - ・LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）で録画中に新たに LAN 経由の録画はできません。
 - ・ビエラリンク（HDMI）を利用して「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。
 - ・USB3.0 非対応の USB-HDD に同時録画する場合

録画一覧について

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **USB-HDD** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

例)

4K放送を4KDRモード、4K画質モードで録画した番組には が表示されます。

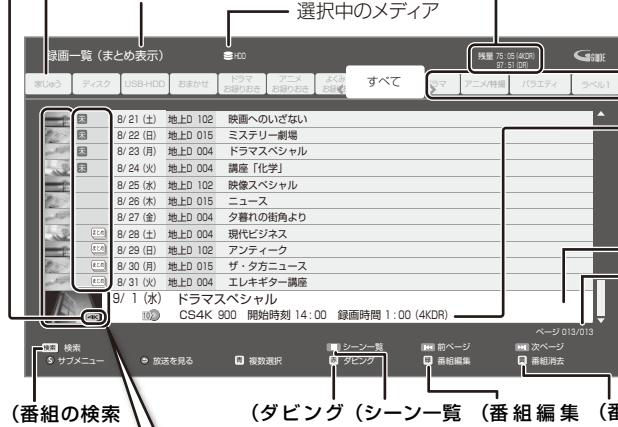
ラベル

- [◀][▶] を押すと、ラベルを切り換えることができます。

表示状態

- 表示を変えるには (→84) 選択中のメディア

- 残量 / 録画モード
• 変更するには (→54)



- 表示するラベルを変更するには (→84 「分類ラベル設定」)

録画番組の録画モード

- 「→4K ○○倍録」、「→○○倍録」
が表示中は、録画モード変換が終了していません。(→100)

選択中の番組

ページ数

- [◀◀][▶▶] を押すと、前後のページに切り替わります。押したままにすると、素早く切り替わります。

(番組の検索 →63)

(ダビング (シーン一覧 (番組編集 (番組消去 →97)) →104) →85) →97)

HDD **USB-HDD** 録画後すぐは「録画済」と表示

(画像は電源「切」時に作成されます)

- 表示される画像を変更するには (→99 「サムネイル変更」)

- 「家じゅう」「ディスク」「USB-HDD」(SeeQVault フォーマット)の場合、画像は表示されません。

まとめ 番組について

毎日・毎週予約やカテゴリーまとめて予約で録画した番組は、録画一覧では **まとめ** 番組として表示されます。



まとめ 番組を選び、**決定** を押すと、**まとめ** 番組内の番組を一覧表示します。

お知らせ

- 録画一覧に表示される残量は、DR モードは BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして、4KDR モードは 4K 放送を 33 Mbps で録画したものとして計算されています。(→194)

録画一覧について（続き）

ラベルの分類について

HDDに録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

家じゅう	「お部屋ジャンプリンク」(→137)で接続された機器の録画番組をまとめて表示します。 ●「家じゅうラベルの表示」(→154)を「入」にすると、表示されます。 ●「家じゅう」ラベルに表示できる機器は最大10台まで、番組数は1台当たり最大4000番組までです。 ●「家じゅう」ラベルから他のディーガの番組を再生した場合、接続機器側の「通信／映像品質の設定」は働きません。映像が途切れたり停止する場合は、ホーム画面の「お部屋ジャンプリンク」から再生してください。
ディスク	ディスク内の番組（ディスクが入っている場合のみ表示） ●[BD-V] [DVD-V]では表示されません。
USB-HDD	USB-HDD内の番組（USB-HDDが接続されている場合に表示）
HDD	おまかせ おまかせ録画（→69）で録画された番組
	ドラマ お録りおき お録りおき録画（→73）で録画された番組 (お録りおき設定時のみ表示)
	アニメ お録りおき
	よくみる お録りおき
	すべて すべての番組 ●お録りおき番組は表示されません。
	最新録画番組* 最新の録画番組から順に24番組まで表示します。 ●表示は全番組表示になります。 ●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。 番組を消去するときはお気をつけてください。
	未視聴* 録画してまだ見ていない番組 ●番組の先頭から30秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生を停止した番組は、「未視聴」から除外されます。
	カテゴリーまとめて番組* カテゴリーまとめて予約（→71）で録画された番組
	ドラマ、映画などの「ジャンル」* 録画した番組の番組情報を基に、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	マイラベル* 「マイラベル設定」(→60、99)で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルは6個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。（→84「分類ラベル設定」）
	撮影ビデオ ●ディスクやUSB機器から取り込まれた動画（AVCHD）(→114) ●「動画の編集」を行ったMP4(→121)

* 分類ラベル設定（→84）で録画一覧に表示するラベルを変更できます。

録画した番組を再生する

録画した番組を再生する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **USB-HDD** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

例) **BD-RE**



上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1  を押す

2 録画一覧から番組を選択、**[決定]**を押す



- **[まとめ]** 番組を選んで、[決定]を押すと、**[まとめ]** 番組内の番組を表示できます。

お知らせ

- 表示マークについては (→181)

● 録画中番組の再生について

- ・ HDDやUSB-HDDに録画中の番組を再生できます。(追っかけ再生)
- ・ 録画中に録画済みの番組を再生できます。(同時録画再生) ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。

- 有料放送を録画した番組では、再生時点での契約状況により、放送局からのメッセージが表示されます。

● 他の機器で作成したプレイリストのディスクの再生

- ① [ホーム]を押す
- ② 「メディアを使う」を選び、[決定]を押す
- ③ 「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、[決定]を押す
- ④ 「プレイリストを見る」を選び、[決定]を押す

● 3D 映像を楽しむには (→90)

- [録画一覧]を押すと**[BD-V]**や**[DVD-V]**の再生が始まる場合、[HDD/BD]を押してドライブを HDD に切り換えてください。

録画した番組を再生する (続き)

録画一覧上の便利な機能

録画一覧画面上で



① 番組を選び、(S) を押す

- 「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベルを選んでから [サブメニュー] を押してください。



② 項目を選び、(決定) を押す (→ 下記)

例)



(→97)

(→102)

(→86)

先頭から再生*	番組を最初から再生します。
HDD USB-HDD	
番組消去	番組を消去すると、スマホ転送番組も消去されます。 消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。 「消去」を選び、[決定] を押す
番組内容*	番組の内容が確認できます。 ●リモコンの[番組内容]でも確認できます。

一覧を更新

更新を中止

- 「家じゅう」ラベル選択時のみ

「家じゅう」ラベルに表示される番組をすぐに更新します。

並べ替え*

HDD

USB-HDD

(録画用フォーマット)

録画一覧に表示する番組の並び順の設定を行います。

- ▶ 録画日時の古い順
- ▶ 録画日時の新しい順
- ▶ 番組名順
- ▶ 番組名逆順

全番組表示へ*

まとめ表示へ*

HDD

USB-HDD

表示を切り替えます。

- SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合はできません。

視聴制限一時解除*

HDD

USB-HDD

「HDD 番組の視聴制限」

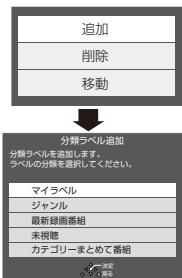
- (→149) で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

分類ラベル設定*

HDD

録画一覧に表示するラベルを追加、削除、移動します。

例) ラベルを追加する場合



表示させたいラベルを選び、

[決定] を押す

- 追加できるラベルは最大 8 個です。
- 「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。
- 「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。
 - ① 設定するマイラベルを選び、[決定] を押す
 - ② 「名称変更」を選び、[決定] を押す
(ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください)
 - ③ ラベル名を入力する (→144)

* 番組に が付いているときは機能の実行はできません。

録画した番組を再生する（続き）

見たいシーンから再生する（シーン一覧）

[HDD] [USB-HDD]（録画用フォーマット）

インターネットに接続すると、録画した番組のシーン一覧を表示することができます。シーン一覧では、録画した番組の流れを確認することができます。

ディモーラのサービスに登録すると、見たいシーンから再生を始めることができます。

☞ サービスの登録について（→34）

録画一覧画面上で

① 番組を選び、[II-一時停止] を押す

- シーン一覧が表示されます。



ディモーラ会員登録している場合：

② 見たいシーンを選び、[決定] を押す

- 選んだシーンから再生が始まります。

☞ 見どころ一覧を表示するには

上記手順①のあと、[II-一時停止] を押す

- 見どころ一覧で、項目を選び、[決定] を押すと、その場面の再生が始まります。

お知らせ

● シーン一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。

（2025年9月現在）

また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。詳しくは、ディモーラのホームページ（→34）をご覧ください。

● 以下の番組ではシーン一覧は表示できません。

- ・番組結合した番組
- ・BDからダビングした番組
- ・シーン情報のない番組

● SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、シーン一覧は表示できません。

● 番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。

録画した番組を再生する（続き）

まとめ 番組について

HDD USB-HDD（録画用フォーマット）

毎日・毎週予約や、カテゴリーまとめて予約で録画した番組は、録画一覧画面で「まとめ」番組として表示されます。

- 「まとめ」番組は、「まとめ」番組内で最後に録画や記録された番組の日付で表示します。

まとめ 番組内の番組を連続して再生する （まとめ再生）

まとめ 番組を選び、▶再生 早見 を押す

まとめ 番組の番組名について

「まとめ表示」での番組名は、「まとめ」番組内の最後に録画された番組の番組名が付きます。

- 「まとめ」番組名を変更（→97）しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集

- ① 番組を選び、青 を押す

- が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

サブ
メニュー

- ② すべて選んだあと、S を押す

- ③ 項目を選び、決定 を押す（→下記）

まとめ番組 の作成	選んだ番組を、1つにまとめます。
まとめ番組 の解除	まとめを解除します。
まとめ番組 から除外	選んだ番組を、「まとめ」番組から外します。 (まとめ番組一覧表示のとき)

お知らせ

- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、まとめ番組の編集はできません。

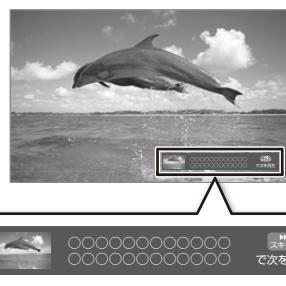
次エピソードを自動再生する

次に再生するシリーズ番組を通知してそのまま連続で再生します。

- 「次エピソード自動再生」（→147）を「入」にする

- ① 録画一覧の「まとめ」番組内の番組を選び、決定 を押す

- 再生中の番組が終わりに近づくと、以下の画面が表示されます。



- ② 再生中の番組を最後まで再生する、または

▶スキップ を押す

- 次の番組が引き続き再生されます。

お知らせ

- リピート（→94）の設定が有効な時は表示されません。

録画した番組を再生する（続き）

お録りおき番組を再生する

お録りおきした番組は、録画一覧から再生できます。

1  を押す

2 「ドラマお録りおき」「アニメお録りおき」または「よくみるお録りおき」を選ぶ



3 [まとめ] 番組を選び、 を押す

4 番組を選び、 を押す

■ AI おすすめを確認するには

AI おすすめでは、お録りおきしている未視聴の番組の中から、お客様が見たいと思われるシリーズをおすすめして表示します。

AI おすすめをご利用になるには、インターネットに接続して、ディモーラの会員登録が必要です。

④サービス登録について（→34）

上記手順 2 のあと

③  を押す

④ 番組を選び、 を押す

お録りおきの解除と番組を消去する

お録りおきが不要な番組を選んで、お録りおきの解除と番組の消去することができます。

上記手順 2 のあと

③ 解除したい  番組を選び、 を押す

④ 「はい」を選び、 を押す

お録りおき番組を保存する

お録りおき番組は、お録りおき用のHDD容量が不足すると古い番組から自動消去します。残しておきたい番組は保存してください。

■ コピー制限のある番組の保存について

お録りおき番組を保存する場合、ダビングの残り回数は以下になります。

- HDD、USB-HDD に保存する場合：
お録りおき番組は  になり、残りの回数は保存先の番組に移動します。

- BD-RE、BD-R に保存する場合：
お録りおき番組の残り回数は 1 回減り、ディスク側では  になります。

-  の番組を保存する場合：
保存先の種類に関係なく、移動になります。
(お録りおき番組は消去されます)

ワンタッチ保存をする

お録りおき番組のワンタッチ保存は、本機の動作状況に合わせて電源「切」時に実行するため、ワンタッチ保存の予約状態となります。

保存先は **HDD** **BD-RE** **BD-R** **USB-HDD** が選べます。

- SeeQVault フォーマットのUSB-HDDには保存できません。

- 新品のディスクに保存する場合は、フォーマットをしてください。（→141）

1  を押す

2 「ドラマお録りおき」「アニメお録りおき」または「よくみるお録りおき」を選ぶ

3 [まとめ] 番組を選び、 を押す

4 番組を選び、 を押す

ワンタッチ保存が予約され、HDDに保存されます。

④ 保存先などを変更するには

① [サブメニュー] を押す

②「ワンタッチ保存設定」を選び、[決定] を押す

③ 項目を選び、設定する

④ ワンタッチ保存の状況を確認するには（→88）

録画した番組を再生する（続き）

毎回保存をする

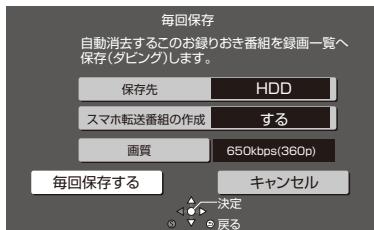
- 選んだ番組を自動的に保存するようにします。
保存先は **HDD** **USB-HDD** が選べます。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD には保存できません。

1  を押す

2 「ドラマお録りおき」「アニメお録りおき」または「よくみるお録りおき」を選ぶ

3  番組を選び、 を押す

4 「毎回保存する」を選び、 を押す



- 「保存先」で保存先を変更できます。
- 「スマホ転送番組の作成」で保存実行時にスマホ転送番組も作成できます。

☞ 每回保存の状況を確認するには（→下記）

お知らせ

- 每回保存で保存対象とする番組は以下になります。
 - ・  番組内の番組
- 每回保存の最大登録数は 64 です。

保存の確認、取り消しなど

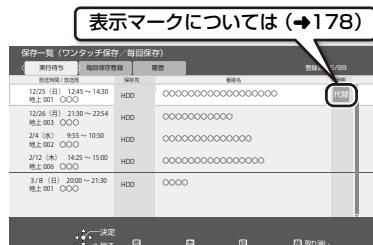
1  を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、 を押す

3 「残す」を選び、 を押す

4 「保存一覧」を選び、 を押す

5 番組を選び、操作を行う（→下記）



☞ 「実行待ち」、「毎回保存登録」、「履歴」を切り換えるには
[◀][▶] を押す

■ 実行待ち番組、毎回保存登録の取り消し

- ①  を押す
- ② 「はい」を選び、 を押す

■ 履歴の削除

保存に失敗した番組などの履歴を削除します。

- ①  を押す
- ② 「はい」を選び、 を押す

お知らせ

- 以下の動作中は、保存の実行はされません。（動作終了後に保存します）
 - ・ 電源「入」中
 - ・ 保存先と録画先が同じ番組の録画を実行中
- 保存を予約できる最大番組数は 99 です。
- 保存先の残量不足などで保存が実行できない場合は、HDD、または USB-HDD に代替で保存します。

Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、DVD ビデオを再生する

[BD-V] [DVD-V]

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 ディスクを入れる

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、[▶ 再生] を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合

項目を選び、**決定** を押す



☞ メニュー画面を表示させるには

- [BD-V] 再生中 : [サブ メニュー] を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中 : [録画一覧] を押す

- [DVD-V] [録画一覧] を押す
([サブ メニュー] を押して、「トップメニュー」を選ぶ)

☞ ポップアップメニューを表示させるには

- [BD-V] 再生中 : [録画一覧] を押す

- 停止中に [1] ~ [10] を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。

[DVD-V] : 2 術入力 [BD-V] : 3 術入力

お知らせ

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■ 停止] を押して停止させてください。
- [録画一覧] を押すと録画一覧が表示される場合、[HDD/BD] を押してドライブを BD に切り換えてください。
- Dolby Atmos® や DTS:X® 、AURO-3D® に 対応した BD ビデオを楽しむには (→150)

Ultra HD ブルーレイを楽しむ

本機は Ultra HD ブルーレイの再生に対応しています。

著作権保護のために、ディスクによっては本機をインターネットに接続していないと再生できない場合があります。(→26、32)

Ultra HD ブルーレイを最適に再生するため

4K/HDR で視聴するためには、HDCP2.2^{※1}、4K/60p/4:4:4、Ultra HD ブルーレイ規格の HDR 信号に対応する機器（ディスプレイ）や端子に接続してください。

- HDCP2.2 に対応していない機器や端子に接続した場合、2K 解像度で、HDR 信号をダイナミックレンジ変換^{※2} して出力します。また、ディスクによっては正しく再生できない場合があります。
- 4K/60p/4:2:0 まで対応の機器や端子に接続した場合、60p 素材の再生は HDR 信号をダイナミックレンジ変換して出力します。
- 4K/60p に対応していない機器や端子に接続した場合、2K 解像度で出力します。
- HDR に対応していない機器や端子に接続した場合、HDR 信号をダイナミックレンジ変換して出力します。また、ディスクによっては 2K 解像度での出力、または正しく再生できない場合があります。

Ultra HD ブルーレイの再生に関する情報は、下記ホームページをご覧ください。

<https://panasonic.com/jp/support/recorder/>

※1 HDCP とは不正コピー防止技術の 1 つです。2.2 はバージョンを表します。

※2 ダイナミックレンジ変換とは、HDR 映像信号を、HDR 入力に対応していないテレビに適した映像信号に変換する機能です。

お知らせ

- 4K/60p を楽しむためには 18 Gbps 対応の HDMI ケーブルが必要です。
- Ultra HD ブルーレイの再生中は、以下の動作制限があります。
 - ・ゆっくり再生 (0.8 倍速) や早見再生 (1.3 倍速 / 1.6 倍速 / 2.0 倍速) はできません。
 - ・早送り 1 速時の音声は出力されません。

Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、DVD ビデオを再生する（続き）

マスタークレードビデオコーディング対応のディスクを楽しむ

スタジオマスターと同等の高階調映像をお楽しみいただけます。

- 「MASTER GRADE VIDEO CODING」（→147）を「入」に設定してください。
- 再生すると、自動的にマスタークレードビデオコーディング（MGVC）として再生されます。

[画面表示] を押すと、以下の表示が出ます。



表示を消すときは

表示中に、[画面表示] を押す

お知らせ

- マスタークレードビデオコーディングとしての再生中は、以下の動作制限があります。
 - ・ゆっくり再生（0.8 倍速）や早見再生（1.3 倍速 / 1.6 倍速 / 2.0 倍速）はできません。
 - ・早送り 1 速時の音声は出力されません。

副映像のあるディスクを楽しむ

例)



- 副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声・操作音」（→150）を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは

- 「副映像設定」の「映像情報」と「音声情報」を設定してください。（→94）

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live は、外部メモリー（ローカルストレージ）に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

- 本機ではローカルストレージに USB 機器（USB メモリー）を利用します。

- ① ネットワーク接続と設定をする（→26、32）
- ② 「BD-Live インターネット接続」（→147）を「有効」または「有効（制限付き）」に設定する
- ③ 1 GB 以上の残量がある USB 機器を接続する
- ④ ディスクを入れる

• USB 機器に記録された BD ビデオのデータが不要になった場合は、「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。

[ホーム] ボタン → 「メディアを使う」 → 「USB 機器」 → 「BD ビデオデータ消去」で消去を行う

お知らせ

- アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することができます。

3D 映像を楽しむ

（3D 対応テレビと接続時のみ）

- テレビ側で3Dの設定など必要な準備を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

- 「3D 設定」（→151）
- 「3D ディスクの再生方法」（→147）

再生中の番組の 3D 設定をする

- 「3D 設定」（→96）

再生中のいろいろな操作

ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

停止

[■停止] を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。
(お部屋ジャンプリンクで再生した場合も含む)

- **[HDD] [USB-HDD]** : 番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク：前回止めた位置のみを記憶
- 記憶した位置は、ディスクトレイを開けると解除されます。（**[BD-V]** の場合、前回止めた位置を記憶しているディスクもあります）
- **[BD-V] [DVD-V]** ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

[II-停止] を押す

- もう一度押す、または [**▶ 再生**] を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し（サーチ）

[◀ 早戻し] または [▶ 早送り] を押す

押すごとに、または押したままにすると速度が速くなります。（5段階）

- [**▶ 再生**] を押すと、通常再生に戻ります。
- 早送り 1 速時のみ音声が出ます。（4KDRモードや4K画質モードの番組の再生中、Ultra HD ブルーレイや MP4 動画再生中、市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、「1080/60p」の表示がある番組の再生中は音声は出ません）

スキップ

再生中または一時停止中に

[◀ スキップ] または [▶ スキップ] を押す

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

- チャプターマーク（**→101**）がある場合は、その場面に飛びます。

30秒先へ飛び越す / 10秒前へ戻す

[30秒送り] または [10秒戻し] を押す

- **[DVD-V]** 正しく働かない場合があります。

早見再生（1.3倍速 / 1.6倍速 / 2.0倍速）

再生中、[▶ 再生] [早見] を押して、再生速度を選ぶ

- 以下の場合はできません。
 - ・ Ultra HD ブルーレイ
 - ・ 市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中
 - ・ 「1080/60p」の表示がある番組
 - ・ **[RW]** (ファイナライズ後も含む)
 - ・ **[MP4]** (取り込んだ動画も含む)
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。
- 同時動作や再生番組によっては 1.3 倍速 / 1.6 倍速 / 2.0 倍速再生ができない場合があります。
- **[BD-V] [DVD-V]** 市販のディスクでは早見再生（1.6 倍速 / 2.0 倍速）はできません。
- **[BD-RE] [BD-R] [R]** 早見再生（2.0 倍速）はできません。
- **[RW]** 早見再生（1.3 倍速 / 1.6 倍速 / 2.0 倍速）はできません。

スロー再生

一時停止中に

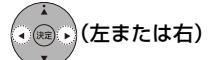
[◀ 早戻し] または [▶ 早送り] を押す

押すごとに速度が速くなります。（5段階）

- [**▶ 再生**] で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **[BD-V]**、**[AVCHD]** では、送り方向のみ動きます。
- **[MP4]** (取り込んだ動画も含む) できません。
- 音声は出ません。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に



(左または右) を押す

押すごとに 1 コマずつ送り（戻し）します。

- 押したまにすると、連続してコマ送り（戻し）します。
- [**▶ 再生**] で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **[BD-V]**、**[AVCHD]** では、コマ戻しはできません。
- **[MP4]** (取り込んだ動画も含む) できません。
- Ultra HD ブルーレイでは、働かない場合があります。

再生中のいろいろな操作（続き）

プレビューサーチ

HDD USB-HDD (録画用フォーマット)

録画番組の気になるシーンを探して見ることができます。

- ① 再生中に **[▼]** (リモコンの下ボタン) を押す
- ② **[◀] [▶]** (リモコンの左右ボタン) で再生したい位置の画像を選び、**(決定)** を押す

☞ プレビューを消すには
[戻る]、または [▼] を押す

お知らせ

- 編集した録画番組やダビングした番組は、シーン画像が未作成の場合があります。
- 本機の動作状態によって、シーン画像が未作成の場合があります。

番組内容

番組の再生中に

番組内容

[◀] (リモコンの左ボタン) または [決定] を押す



☞ 番組内容を消すには
[戻る]、または [◀] を押す

シーン一覧

再生中の番組のシーン一覧を表示します。

(インターネット接続時のみ)

シーン一覧では、録画した番組の流れを確認することができます。

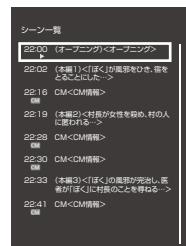
ディモーラのサービスに登録すると、見たいシーンから再生を始めることができます。

☞ サービスの登録について (→34)

① 再生中に **[▶]** (リモコンの右ボタン) を押す

② ディモーラ会員登録している場合：

見たいシーンを選び、**(決定)** を押す



- 再生が終了すると引き続き次のシーンを再生します。

お知らせ

● シーン一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。(2025年9月現在)

また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。

詳しくは、ディモーラのホームページ (→34) をご覧ください。

- 以下の番組ではシーン一覧は表示できません。
 - ・ 番組結合した番組
 - ・ BD からダビングした番組
 - ・ シーン情報のない番組
- 番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。

再生中のいろいろな操作（続き）

ゆっくり再生（0.8倍速）

再生速度を落とし、音声を聞き取りやすくなります。

再生中、**[ゆっくり]** を押す

- もう一度 [**ゆっくり**] を押すと、元の速度に戻ります。
- 以下の場合、ゆっくり再生はできません。
 - 市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中
 - 「1080/60p」の表示がある番組
 - 4KDR モード、4K 画質モードの番組
 - Ultra HD ブルーレイ
 - [RW]**（ファイナライズ後も含む）
 - [MP4]**（取り込んだ動画も含む）
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。
- ゆっくり再生中は、音声は PCM になります。

音声や字幕の切り換え

[音声] または **[字幕]** を押す

表示された再生設定画面で、音声や字幕を切り換えることができます。（詳しくは →94）

- [BD-V] [DVD-V]** ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。
- [MP4]**（取り込んだ動画も含む）できません。

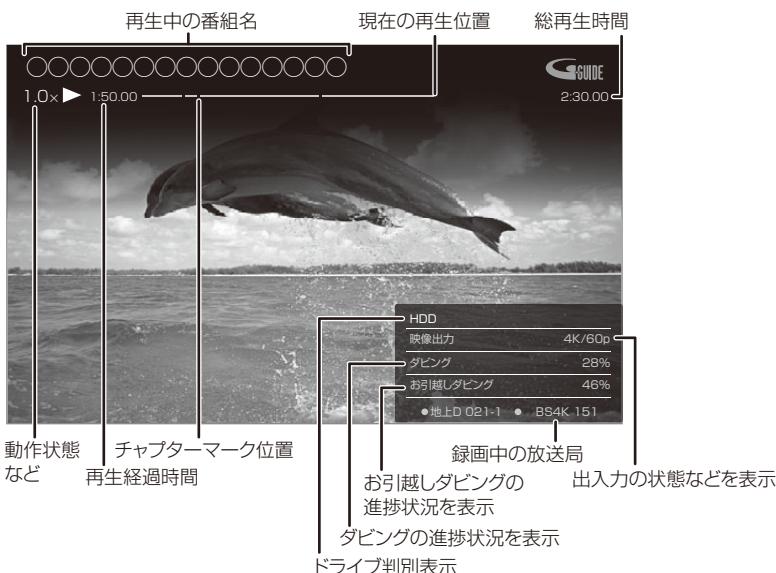
[お知らせ]

- 他社製機器から記録したスカパー！プレミアムサービスの番組は、字幕表示の入／切ができない場合があります。

操作の状態の表示

[画面表示] を押す（表示は約 20 秒後に自動消去します）

例) **[HDD]**



[画面表示] 操作の状態を消すときは

操作の状態を表示中に、[画面表示] を押す

再生設定をする

音声や字幕などの設定をする（再生設定）

1 再生中に



2 「再生設定」を選び、[決定]を押す

3 メニューを選び、[決定]を押す

例) [BD-V]



4 設定項目を選び、[決定]を押す

- 再生する番組やディスクにより設定項目は異なります。

5 設定を変更する

お知らせ

- 映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

基本設定

音声情報

音声属性を表示したり、音声や言語を選ぶことができます。

信号切換

録画した番組の再生時の音声などを切り替えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。

字幕スーパーを切り替えたい場合は、「字幕設定」(→156)で設定してください。

- ▶ マルチビュー
- ▶ 映像
- ▶ 音声
- ▶ 二重音声
- ▶ 字幕
- ▶ 字幕言語

音声チャンネル

音声（L/R）を切り替えます。

字幕設定

字幕の表示位置やスタイルの設定を行います。

- ▶ 字幕設定：字幕表示の入／切や、言語の選択
- ▶ 字幕スタイル
- ▶ 字幕位置
- ▶ 字幕輝度

アングル

アングルを選びます。

リピート

(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)
繰り返し再生の方法を選びます。

- ▶ 番組
- ▶ タイトル
- ▶ チャプター
- ▶ プレイリスト
- ▶ 全曲
- ▶ 1曲

シャッフル（音楽再生時のみ）

●「入」にすると、順不同に再生します。

映像情報 [AVCHD]

情報の表示のみ

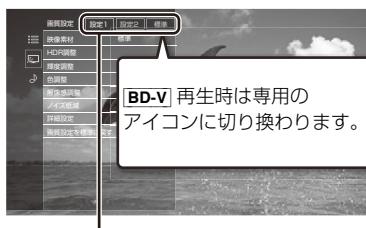
主映像情報 [BD-V]

副映像設定 [BD-V]

- ▶ 映像情報
- ▶ 音声情報

再生設定をする（続き）

画質設定



[◀]/[▶]で「設定 1」/「設定 2」/「標準」を切り替えます。

●「設定 1」/「設定 2」は、お好みの設定が登録できます。登録内容は BD ビデオ、Ultra HD ブルーレイ再生時、それ以外の場合で別々に記憶されます。

（お買い上げ時は「標準」と同じ設定です）

●「標準」の設定は変更できません。

映像素材

再生時の画質を選びます。

- ▶ 標準
- ▶ シネマ
- ▶ アニメ

HDR 調整

HDR の調整をします。

▶ ダイナミックレンジ調整*

(4K 放送番組、Ultra HD ブルーレイまたは MP4 の HDR コンテンツを HDR 信号で再生時のみ)

▶ ダイナミックレンジ変換調整*

(4K 放送番組、Ultra HD ブルーレイまたは MP4 の HDR コンテンツを通常の映像信号に変換して再生時のみ)

HDR（ハイダイナミックレンジ）入力に対応していないテレビと接続した場合に、HDR 映像の明暗比（ダイナミックレンジ）を変換して出力します。

- ▶ 黒レベル
- ▶ 白階調
- ▶ 黒階調

* 設定値を大きくすると、全体的に明るくなります。

設定値を小さくすると、HDR 映像の明暗比がより忠実に再現されます。

輝度調整

映像の明るさ、黒レベル、白／黒階調、システムガンマを調整します。

- ▶ 明るさ
- ▶ 黒レベル
- ▶ 白階調
- ▶ 黒階調

色調整

色の濃さ、色あいを調整します。

- ▶ 色の濃さ
- ▶ 色あい

解像感調整

映像の鮮明さを調整します。

数値が大きいほうが、より鮮明になります。

- ▶ 解像感（輝度高域）
- ▶ 解像感（輝度中域）
- ▶ 解像感（色）
- ▶ 輪郭補正

ノイズ低減

動画に発生する不要なノイズを補正します。

数値が大きいほうが、より低減されます。

- ▶ ブロックノイズ低減
- ▶ ランダムノイズ低減
- ▶ モスキートノイズ低減

再生設定をする（続き）

詳細設定

- ▶ 漆度垂直帯域制限
- ▶ 漆度水平帯域制限
- ▶ 色垂直帯域制限
- ▶ 色水平帯域制限
- ▶ プログレッシブ処理
プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
 - 「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。
 - ▶ Auto
 - ▶ Video

画質設定を標準に戻す

- 選択している「設定1」／「設定2」の画質設定をお買い上げ時の設定に戻します。

音質設定

設定した内容は保持されます。

音質効果

- ▶ 切
- ▶ ナイトサラウンド*
夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。
- ▶ ハイレゾリマスター（弱／中／強）*
デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。
(サンプリング周波数が96 kHz以下で記録された音声に有効)
- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。
- ハイレゾリマスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

はっきり効果の強さ

聞こえにくい高音域を明瞭にし、音声をはっきりと聞き取りやすくします。

- ▶ 切
- ▶ 弱
- ▶ 強

DSD-PCM 変換周波数設定

（音楽再生時のみ）

接続する機器や、お好みの音質に合わせて設定してください。

- ▶ 176.4 kHz
- ▶ 88.2 kHz
- ▶ 44.1 kHz

DSD LPF設定

（音楽再生時のみ）

接続する機器や、お好みの音質に合わせて設定してください。

自動音量調整*

番組とCM、ディスクと放送など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス*

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

※ 「HDMI 出力」が「PCM」の場合のみ働きます。（→150）
(音声は2チャンネルになります)

3D 設定

画面表示の飛び出し量

3D再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

番組を消去する / 編集する

番組を消去する

HDD **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW** **USB-HDD** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)
消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

1  を押す

2 番組を選び、 を押す



- 「おまかせ」ラベルの番組を消去する場合は、「おまかせ録画の一覧から番組を消去する」(→70)をご覧ください。
- 【まとめ】番組内の番組を消去する場合、[黄]を押す前に【決定】を押して、【まとめ】番組内の番組を表示してください。
- 複数の番組を消去する場合、番組を選んで【青】を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には が表示されます。
もう一度【青】を押すと選択を取り消します)

3 「消去」を選び、 を押す

お知らせ

- 【まとめ】番組内の番組を消去して、残り1番組になった場合、【まとめ】番組は解除されます。
- 【HDD】の番組消去について
 - 消去すると、スマホ転送番組も消去されます。
 - 消去が完了しても、HDDの残量表示に反映されるまで時間がかかる場合があります。
- 消去後のディスク残量について
 - HDD** **BD-RE** **-RW VR** **USB-HDD**
消去すると、消去した分、残量が増えます。
 - RW V**
最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。
 - BD-R** **-R** 消去しても残量は増えません。

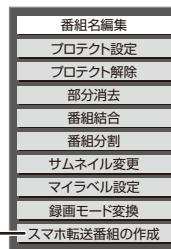
番組を編集する

HDD **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW** **USB-HDD** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)
(ファイナライズしたディスクや **AVCHD** では編集できません)

1  を押す

2 番組を選び、 を押す

3 項目を選び、 を押す (→下記)
例) **HDD**



(→132) ————— スマホ転送番組の作成

お知らせ

- 編集量が多い場合、ディスクへダビングできないことがあります。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、「部分消去」「番組結合」「番組分割」「サムネイル変更」「録画モード変換」ができません。
- 「部分消去」「番組結合」「番組分割」を実行するとスマホ転送番組も消去されます。

番組名編集

☞ 文字入力 (→144)

お知らせ

- 以下の番組は変更できません。
 - 新** 表示の番組
- 番組名を変更すると、スマホ転送番組の番組名も変更されます。

プロテクト設定 / 解除

記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。

- 【R V】**-RW V** できません。
- 「番組を編集する」(→上記)手順1～2のあと
「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、
【決定】を押す
- プロテクト設定すると  が表示されます。

番組を消去する / 編集する (続き)

部分消去

番組中の不要な箇所を消去できます。

消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

- **[R.V] [RW.V]** できません。



「番組を編集する」(→97) 手順 1 ~ 3 のあと

- ④ [▶ 再生] を押して、再生を始める
 - ⑤ 「開始点」を選び、消去する部分の開始点^{*} で [決定] を押す
 - ⑥ [▶ 再生] を押して、再生を始める
 - ⑦ 「終了点」を選び、消去する部分の終了点^{*} で [決定] を押す
- 続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、[決定] を押す (→手順 ⑥ へ)
- ・ 20区間まで設定できます。
 - ・ すでに設定した区間の変更はできなくなります。

- ⑧ 「消去開始」を選び、[決定] を押す

- ⑨ 「実行」を選び、[決定] を押す

- 部分消去すると、スマホ転送番組は消去されます。
- 部分消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。
- 「シームレス再生」(→150) を「入」にして再生すると、番組の消去部分の前後の映像が再生されない場合があります。

※編集したい場面をうまく選ぶために

- ① 早送りやスロー再生など (→91) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で [II 一時停止] を押し、[◀] [▶] を押して場面を調整する

番組結合

HDD USB-HDD

同じ録画モードや素材の 2 つの番組同士を、1 つの番組に結合することができます。

- 1.5 ~ 15倍録モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。
- 4K 画質モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。

「番組を編集する」(→97) 手順 1 ~ 3 のあと

- ④ 結合したい番組を選び、[決定] を押す



- ⑤ 「結合」を選び、[決定] を押す

お知らせ

● 結合した番組は以下のようになります。

- ・ 録画モード：画質の高いほうの録画モード（ただし、画質は向上しません）
- ・ ダビングの残り可能回数：少ないほうの回数
- ・ 番組名：最初に選択した番組名
- ・ おまかせ録画をした番組の自動消去の日時：最初に選択したおまかせ録画の番組の録画日時を基準にして自動消去 (→70)
- ・ チャプターマーク：結合した位置に作成（結合してチャプターマーク数が最大チャプターマーク数 (→200) を超える場合、超えた分は削除されます）
- ・ 番組の結合部分：映像や音声が途切れることができます。
- ・ スマホ転送番組は消去されます。

● 以下の番組は結合できません。

- 4KDR モードの番組とそれ以外の番組
- 4K 画質モードの番組とそれ以外の番組
- DR モードの番組とそれ以外の番組
- ハイビジョン画質（1.5 ~ 15 倍録モード）の番組とそれ以外の番組
- ・ 録画時間の合計が 8 時間を超える場合
- ・ デジタル放送の番組とそれ以外の番組
- ・ LAN 経由(スカパー! プレミアムサービスや CATV) で録画した番組
- ・ 録画モード変換 (→100) を行うと、結合できるようになります。視聴制限のある番組を結合すると、厳しいほうの視聴制限になります。
- ・ 摄影画質が異なる「AVCHD 3D」の表示がある番組同士

番組を消去する / 編集する (続き)

番組分割

- **[R V] [RW V]** できません。



「番組を編集する」(→97) 手順 1 ~ 3 のあと

- ④ 「分割」を選び、分割する場面^{*}で [決定] を押す
 - 「プレビュー」を選び、[決定] を押すと、分割する場面を確認することができます。
- ⑤ 場面を選び直すには
 - ① 「分割」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める
 - ② 分割する場面で、[決定] を押す
- ⑥ 「終了」を選び、[決定] を押す
- ⑦ 「分割」を選び、[決定] を押す
- 分割した番組は、**まとめ** 番組になります。
- 分割すると、スマホ転送番組は消去されます。
- 分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。
- **[BD-RE] [BD-R]** 分割した番組は、HDD にダビングできない場合があります。

* 編集したい場面をうまく選ぶために

- ① 早送りやスロー再生など (→91) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で [II 一時停止] を押し、[◀] [▶] を押して場面を調整する

サムネイル変更

HDD [R V] [RW V] USB-HDD

録画一覧やトップメニューで表示される画像（サムネイル）を変更します。

- **[R V] [RW V]** サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。



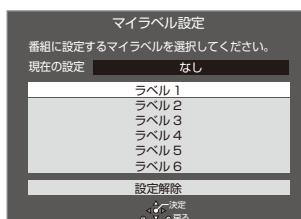
「番組を編集する」(→97) 手順 1 ~ 3 のあと

- ④ [▶ 再生] を押して、再生を始める
- ⑤ 「変更」を選び、お好みの場面^{*}で [決定] を押す
 - ⑥ 場面を選び直すには
 - ① 「変更」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める
 - ② お好みの場面で、[決定] を押す
 - ⑦ 「終了」を選び、[決定] を押す

マイラベル設定

HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。



「番組を編集する」(→97) 手順 1 ~ 3 のあと

- ④ ラベルを選び、[決定] を押す
- ⑤ 「マイラベル設定」を選び、[決定] を押す
 - 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
 - マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、[決定] を押してください。
 - マイラベル名は変更することができます。(→84 「分類ラベル設定」)

番組を消去する / 編集する (続き)

録画モード変換

HDD **USB-HDD**

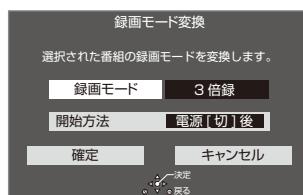
録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

- 4KDR モード、4K 画質モードの番組を変換する場合、4K 1.5 ~ 4K 8 倍録、4K 8~12 倍録、1.5 倍録 ~ 15 倍録モードを選択できます。
- 上記以外の録画モードの番組を変換する場合は、1.5 ~ 15 倍録 モードのみ選択できます。

「番組を編集する」(→97) 手順 1 ~ 3 のあと

- ④ 4KDR モード、4K 画質モードを変換する場合、「4K 画質」または「ハイビジョン画質」か選び、[決定] を押す
- ⑤ 画面上で「録画モード」を選び、[決定] を押す



- ⑥ 倍率を選び、[決定] を押す

- ⑦ 「開始方法」を選び、開始方法を設定する

- **すぐに :**
「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は視聴や再生はできません。
- **電源 [切] 後 :**
電源「切」時に変換を行います。
・ 変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

- ⑧ 「確定」を選び、[決定] を押す

- ⑨ 「すぐに」開始する場合 :

「開始」を選び、[決定] を押す

☞ 变換を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」開始する場合 :

[決定] を押す

☞ 变換の設定内容を変更・取り消しするには

- ① 97 ページ「番組を編集する」手順 3 で「録画モード変換」を選ぶ
- ② 「設定変更」または「設定取消」を選び、[決定] を押す

☞ 变換が終了しているか確認するには



「→4K ○○倍録」、「←○○倍録」が表示中は、変換は終了していません。

お知らせ

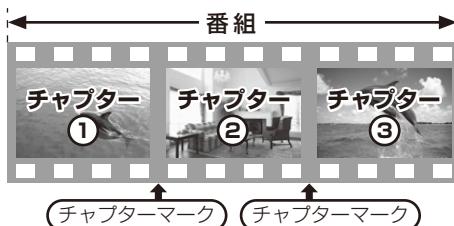
- 15倍録モードの番組やHDDに取り込んだハイビジョン動画（AVCHD）は変換できません。
- 4K 8~12 倍録モードの番組は 4K 画質で変換することはできません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換する容量が増える場合があります。
- XP、SP、LP、FR モードの二重音声の番組を変換する場合、変換を開始する前に「二重音声記録時の音声選択」(→148) で記録したい音声を選んでください。
- 他社製機器で録画された番組は、4K 画質の録画モードに変換できません。

チャプターの作成・再生・編集

[HDD] [BD-RE] [BD-R] [-R AVCREC] [-R VR] [-RW VR]
 (ファイナライズしたディスクでは再生のみできます)
 [USB-HDD] (録画用フォーマットまたは SeeQVault
 フォーマット)

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。
 スキップ (→91) すると、チャプターマークを作成した場面に飛びることができます。



チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」(→148) を「入」にすると、デジタル放送の録画時にCMなどの場面で自動的にチャプターマークを作成します。
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

お知らせ

- [HDD] [USB-HDD] チャプターマークが最大数まで作成された番組は、チャプターマークの作成 (→右記) や「サムネイル変更」(→99) ができなくなります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

黄
[チャプターマーク] を押す



削除

一時停止中に

- ① [ス킵] または [スキン] を押して、削除したい場面に飛ぶ
- ② 黄
[チャプターマーク] を押す
- ③ 「はい」を選び、[決定] を押す



前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行なうこともできます。

- ① [録画一覧] を押す
- ② 番組を選び、[サブメニュー] を押す
- ③ 「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す
- ④ [緑] を押す



- ⑤ 上記「作成」「削除」の手順を行う

チャプターの作成・再生・編集（続き）

チャプターを再生・編集する

1  を押す

2 番組を選び、 を押す

☞ 番組を検索するには（→63）

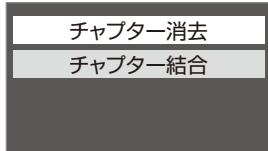
3 「チャプター一覧へ」を選び、 を押す

4 再生する：
チャプターを選び、 を押す

編集する：
チャプターを選び、 を押す
(→手順5へ)



5 編集する項目を選び、 を押す
(→右記)



チャプター 消去

指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。
(元に戻すことはできません)



「消去」を選び、[決定] を押す

- チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。
- スマホ転送番組も消去されます。
- チャプター消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、チャプター消去ができません。

チャプター 結合

選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、1つにつなぎます。



「結合」を選び、[決定] を押す

番組のダビングについて

本機では、HDD、USB-HDD やディスクの間でダビングを行うことができます。

ダビング元とダビング先のメディアによって、ダビング方法やダビング速度などが異なります。

ダビング方向	ダビング方法
HDD → ディスク	<ul style="list-style-type: none"> かんたんダビング 詳細ダビング 再生中番組の保存
USB-HDD → ディスク	<ul style="list-style-type: none"> 詳細ダビング

高速ダビングができない条件

(1 倍速ダビングになる)

- VR 方式・ビデオ方式の DVD にダビングする場合

お知らせ

- 以下の場合、USB-HDD からダビングできません。
 - ディスクが DVD (VR 方式・ビデオ方式) の場合
 - USB-HDD が SeeQVault フォーマットの場合
- 4KDR/4K画質/DR モードの番組や LAN 経由で録画した番組を DVD (AVCREC 方式) でダビングする場合、画質変更ダビングになり、以下のような制限があります。
 - 番組によっては、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。
 - 画質変更ダビング中に視聴や再生などを行った場合、ダビング速度が遅くなります。

他機器での再生については (→35)

ダビング方向	ダビング方法
HDD → USB-HDD	
USB-HDD → HDD	<ul style="list-style-type: none"> 詳細ダビング

録画用フォーマットの USB-HDD の場合、移動のみ可能です。

- ダビング元の番組は消去されます。
- HDD のスマホ転送番組は消去されます。
- ダビングの残り回数は減りません。
- 以下の番組はダビングできません。
 - AVCHD や AVC VIDEO の表示がある番組
 - XP、SP、LP、FR モードの番組

SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合 :

- コピー制限のある番組について
 - HDD からダビングするときは、HDD のダビング元の番組のダビング残り回数は 1 回減ります。USB-HDD の番組のダビング残り回数は 1 回になります。
 - HDD へダビングするときは、USB-HDD の番組は消去されます。
- 4KDR モード、4K 画質モードの番組はダビングできません。
- XP、SP、LP、FR モードの番組はダビングできません。

ダビング方向	ダビング方法
ディスク → HDD	<ul style="list-style-type: none"> 詳細ダビング

高速ダビングができない条件(1倍速ダビングになる)

- BD に記録した XP、SP、LP、FR モードの番組をダビングする場合
- DVD ビデオ (ファイナライズ後のディスク) をダビングする場合

お知らせ

デジタル放送のダビングについて (ムーブバック)

- DVD からはダビングできません。
- BD からは移動になります。(ディスクの番組は消去されます。ただし BD-R のディスク残量は増えません)



- BD-R BD-R 以下の番組は移動できません。

- ディスク内で番組分割した番組
- 当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集をした番組
- BD-R ファイナライズしたディスク
- 録画時間が 8 時間を超える番組

ダビング方向	ダビング方法
HDD → HDD USB-HDD → USB-HDD	<ul style="list-style-type: none"> 詳細ダビング SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合はできません。

番組を複製して同じ番組を 2 つにします。

お知らせ

お使いのテレビによっては、ダビング画面で表示解像度が低くなるため文字などがぼやけて表示される場合があります。ダビング終了後に元に戻ります。

録画モードを変更してダビングする場合は、高速になりません。

ディスク容量を超えてダビングしたり、他機器で作成したディスクをダビングするときは、画質変更ダビングになる場合があります。

HDD にダビングした XP、SP、LP、FR モードの番組をディスクにダビングする場合、VR 方式の DVD には高速でダビングします。それ以外のディスクには高速でダビングできません。

写真・音楽用フォーマットの USB-HDD はダビングできません。

番組をダビングする

かんたんダビング

ダビング方向：

HDD → **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW**

HDD にある番組をディスクにダビングします。

- 操作の前に記録可能なディスクを入れてください。
- 4KDRモードまたは4K画質モードでダビングする場合は、**[BD-RE]** **[BD-R]** を使用してください。

1 ホーム を押す

2 「残す」を選び、(決定)を押す

3 「かんたんダビング」を選び、(決定)を押す

- 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。

画質を選び、[決定]を押してください。

4 番組を選び、(決定)を押す

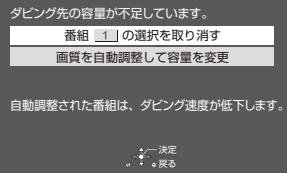
- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで [青] を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には が表示されます。)
もう一度 [青] を押すと選択を取り消します)



☞ かんたんダビングの画面の見方については
(→106)

☞ 選んだ番組がディスク残量を超える場合
確認画面が表示されます。

例)

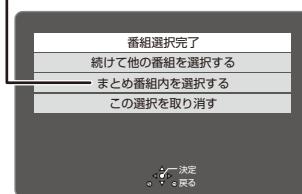


「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

5

「番組選択完了」を選び、(決定)を押す

手順4でまとめ番組を選んだときのみ表示



他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。(→左記 手順4へ)

6

「ダビング開始」を選び、(決定)を押す

- オプション設定について (→106)

7

「はい」を選び、(決定)を押す

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットしたあと、ダビングを始めます。

☞ ダビングを実行中に中止するには

- [戻る] を3秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作 (→110)

☞ ダビングの進行状況を表示するには

テレビ視聴中に [画面表示] を押す

番組をダビングする（続き）

お知らせ

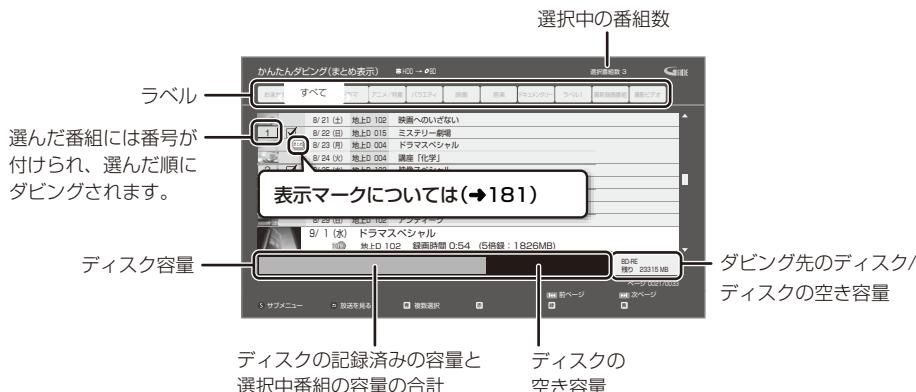
- ダビング中に番組の視聴や、録画番組の再生などをしたときは、本体表示窓に「DUB」が表示されます。



- 「DVD 画質」で未フォーマットの [R] [RW] にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
 - ⑩～⑯の番組が含まれている場合：VR 方式
 - ⑩～⑯の番組が含まれていない場合：ビデオ方式
- 1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。
- プロテクト設定 (→97) されている⑯の番組はダビングできません。
- まとめ** 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、[サブメニュー] を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
- ダビング中に電源を切ることはできません。
- 4KDR モード、4K 画質モードの番組とそれ以外の番組は、同じディスクにダビングできます。
- 録画モードを「4K 4.5 倍録」から「4K 8~12 倍録」に設定して [BD-RE] [BD-R] に画質変更ダビングはできません。いったん「録画モード変換」(→100) で「4K 4.5 倍録」から「4K 8~12 倍録」に変換したあと、高速ダビングしてください

番組をダビングする（続き）

かんたんダビングの画面の見方



- 異なるラベルの番組を複数選んでダビングすることはできません。

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面（→104手順4）で

ガ
メニ

① 番組を選び、**(S)** を押す

② 項目を選び、**決定** を押す（→下記）

お知らせ

- **[R] [RW]** 「オプション設定」（→左記）の「ダビング終了後自動ファイナライズ」を「する」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ（→143）を行います。記録や編集することはできなくなります。また、ダビング中に録画や再生はできません。

番組内容	番組の内容が確認できます。
画質変更	<input checked="" type="checkbox"/> が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ● 選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	以下の設定ができます。 ● ダビング終了後自動電源 [切] ● ダビング終了後自動ファイナライズ（[R] [RW] のみ）
並べ替え*	番組の並び順の設定を行います。 ▶ 録画日時の古い順 ▶ 録画日時の新しい順 ▶ 番組名順 ▶ 番組名逆順
まとめ表示へ*	表示を切り換えます。
全番組表示へ*	
視聴制限一時解除*	「HDD番組の視聴制限」（→149）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

* 番組に が付いているときは機能の実行はできません。

番組をダビングする（続き）

詳細ダビング

ダビング方向：

- **HDD** → **HDD** **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW**

USB-HDD（録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット）

- **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R AVCREC** **-R VR** **-RW VR** → **HDD**

- **USB-HDD**（録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット）→ **HDD** **BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC**

USB-HDD（録画用フォーマット）（SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、HDD にのみダビング可能です）

- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。（→141）

1 ホーム を押す

2 「残す」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶]（リモコンの右ボタン）を押す

- 「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。



5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「ダビングする」または
「ダビング後に電源[切]」を選び、決定 を押す

☞ ダビングを実行中に中止するには

- [戻る] を 3 秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作（→110）

☞ ダビングの進行状況を表示するには
テレビ視聴中に [画面表示] を押す

お知らせ

- ダビング中に番組の視聴や、録画番組の再生などをしたときは、本体表示窓に「DUB」が表示されます。
- 4KDR モード、4K 画質モードの番組は、SeeQVault フォーマットの USB-HDD にダビングできません。



ダビング方向

- ① 「ダビング元」を選び、決定 を押す
- ② ダビング元を選び、決定 を押す
- ③ 「ダビング先」を選び、決定 を押す
- ④ ダビング先を選び、決定 を押す

お知らせ

- **HDD** **USB-HDD** ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。（複製後は **まとめ** 番組になります）
- コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は 1 回減ります。（複製された番組のダビング残り可能回数は 1 回になります）
- ① 表示のある番組の複製はできません。
- ディスクから **HDD** へのダビング開始時のコピー禁止信号を確認中は、予約録画は実行できません。
- ディスクから **HDD** への画質変更ダビング中は、予約録画は実行できません。

録画モード

- ① 「録画モード」を選び、決定 を押す
- ② 録画するモードを選び、決定 を押す

元の画質	高速
記録先の空き容量に合わせて、録画モードを自動で選択してダビングします。	4K 1.3 倍録
	4K 4 倍録
	4K8-12 倍録
	オート（自動調整）
ハイビジョン画質	3 倍録
	5 倍録
	15 倍録
	オート（自動調整）

- [サブメニュー] を押して、録画モードの倍率を変更することができます。（→77）

お知らせ

- 録画モードと記録時間の目安（→196）
- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。
- アニメなど録画番組の内容によっては、オート（自動調整）を選択しても、空き容量が大幅に残ることがあります。

番組をダビングする（続き）

リスト作成（番組を選択する）

① 「新規登録」を選び、**決定** を押す

② 番組を選び、**青** を押す

- が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示されます。

③ 選択を取り消すには

番組を選び、「**青**」を押す

④ 選び終わったあと、**決定** を押す

お知らせ

- 録画用フォーマットのUSB-HDDには、「AVCHD」や「AVC VIDEO」の表示がある番組はダビングできません。
- ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
 - 管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少しだけ大きくなります。

詳細設定

(**-R** **-RW** ヘダビングするときのみ)

① 「ファイナライズ」を選び、**決定** を押す

② 「入」または「切」を選び、**決定** を押す

(**BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC** へ 1.5 ~ 15倍録 モードを選んでダビングするときのみ)

複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

① 「音声・字幕の記録」を選び、**決定** を押す

② 「モード 1」または「モード 2」を選び、**決定** を押す

- モード 1：再生時に音声や字幕の切り換えができます。
- モード 2：再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」(**→94**)で記録する内容を設定してください。

お知らせ

「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ(**→143**)を行います。記録や編集することはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。

• 4KDR モード、4K 画質モードの番組は「音声・字幕の記録」の設定が無効です。複数の音声や字幕のある番組をダビングする場合は **111** ページをご覧ください。

ダビングの便利な機能

リスト作成画面(→左記「リスト作成」手順①のあと)で

リスト作成 番組一覧(まとめ表示)			
	録画日	チケット	番組名
●	8/28 地上 D101	洋画劇場	3
○	8/29 地上 D081	広場	1
○	8/30 地上 D061	ザ・タガニュース	1
開始時刻 18:00			

サブメニュー

② 番組を選び、**S** を押す

③ 項目を選び、**決定** を押す(→下記)

番組内容	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除 [HDD] [USB-HDD]	「HDD 番組の視聴制限」(→149)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並べ替え [HDD] [USB-HDD]	表示順を変更します。(全番組表示時のみ)
まとめ表示へ 全番組表示へ [HDD] [USB-HDD]	表示を切り替えます。 • SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合はできません。

番組に が付いているときは機能の実行はできません。

リスト作成画面(→左記「リスト作成」)で

詳細ダビング		ダビング先空き容量 ダビングリスト容量	
すべて取消し	●	23315 MB	9350 MB (40%)
1 ダビング方向	HDD → BD/DVD	●	洋画劇場
2 線形モード	高速	●	0: 0:20 (8%) 激めわり
3 リスト作成	2 >	●	新規登録 (登録数=2)

• 登録されたリストや設定を取り消す：
「すべて取消し」を選び、**決定** を押す

• リスト項目を入れ替える：

番組を選び、**決定** を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ

• リストの全消去や追加、消去、移動をする：
[サブメニュー] を押したあと、項目を選ぶ

番組をダビングする（続き）

ファイナライズ後のディスク (DVD ビデオ) をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

ダビング方向：

[DVD-V] (ファイナライズ後の [R V] [RW V]
+R、+R DL、+RW) → [HDD]

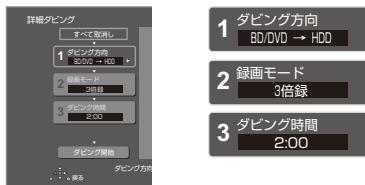
1 [ホーム] を押す

2 「残す」を選び、[決定] を押す

3 「詳細ダビング」を選び、[決定] を押す

4 項目を選び、[▶]（リモコンの右ボタン）を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」（→107）をご覧ください。



以下のように設定してください。

- 「ダビング方向」：「ダビング元」→「BD/DVD」
- 「録画モード」：「録画モード」を選択（1.5～15倍録のみ選べます）
- 「ダビング時間」：ダビング時間を設定する（→右記）

5 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

6 「ダビングする」または「ダビング後に電源 [切]」を選び、[決定] を押す

- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

7

ダビングしたい番組の再生を始める

④ トップメニューが表示された場合は
番組を選び、[決定] を押す

⑤ 好みの番組を再生するには

- [録画一覧] を押す
- 番組を選び、[決定] を押す

⑥ ディスクの再生が始まらない場合は

- [▶ 再生] を押す
- （トップメニューが表示されたら）
番組を選び、[決定] を押す

⑦ ダビングを実行中に中止 / 終了するには

[戻る] を3秒以上、もしくは [■ 停止] を押す

お知らせ

- 市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ（→91）で飛び越すことができます。
- 記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「ハイビジョン画質・スマート転送番組の記録設定」（→148）の「記録アスペクト設定」を変更して再度取り込んでください。

ダビング時間

1 「時間設定」を選び、[決定] を押す

2 「入」または「切」を選び、[決定] を押す

- 「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

3 「録画時間」を選び、[決定] を押す

4 “時間” または “分” を選び [▲][▼] で設定し、 [決定] を押す

番組をダビングする（続き）

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中にディスクへダビングすることができます。（1番組のみダビング）

- 記録する音声や字幕情報を設定できます。
- 再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向：[HDD] → [BD-RE] [BD-R] [-R] [-RW]

- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。（→141）

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合：

- [R VR] [-RW VR] [音声] または [字幕] を押して、表示された再生設定画面（→94）で、記録したい音声や字幕を設定する



2 [S] を押す

3 「再生中番組の保存」を選び、[決定] を押す

4 「保存開始」を選び、[決定] を押す

☞ ダビングを実行中に中止するには

- [戻る] を3秒以上押す
- ・中止時の動作（→右記）

お知らせ

- [R VR] [-RW VR] 複数の音声を含んだ番組を2番組以上同時にダビングしたい場合、ダビング前に記録したい音声や字幕の設定を行ってください。

- ① ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする
 - ・[音声] または [字幕] を押して、表示された再生設定画面（→94）で、記録したい音声や字幕を設定する

- ② かんたんダビング（→104）、もしくは詳細ダビング（→107）を実行する

字幕設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。1番組ずつダビングしてください。

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例) デジタル放送の番組 A・B・C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合



番組 A・B のみダビングされます。

番組 C はダビングされず、ダビング元に残ります。ただし、コピー制限のない番組を画質変更ダビング中に中止した場合、途中までがダビングされます。

[BD-R] [-R] 番組 C の中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

-R V -RW V に画質変更ダビングするときの動作

HDDの残量が少ないとときは、ダビングできません。HDDの不要な番組を消去（→97）してからダビングしてください。

4KDR モードの番組をディスクに高速ダビングするときの動作

（「4KDR のダビング方式」（→148）を「ダビング方式2」に設定時のみ）

HDD や USB-HDD の残量が少ないとときは、ダビングできません。HDD や USB-HDD の不要な番組を消去（→97）してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数（→200）を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

以下の場合、画質変更ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。

- ・ダビング先の [BD-RE] [BD-R] の残量が少ない
- ・[BD-RE] [BD-R] 以外のディスクへのダビング

番組をダビングする（続き）

3D 対応の番組のダビングについて

- **[BD]** 表示のある番組を **[R VR] [RW VR]** に XP, SP, LP, FR モードでダビングすると、番組から 3D 情報がなくなります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、以下の場合、画質変更ダビングになり、2D 映像として記録されます。
 - ・ダビング先の **[BD-RE] [BD-R]** の残量が少ない
 - ・**[BD-RE] [BD-R]** 以外のディスクへのダビング

複数の音声（マルチ音声）や字幕情報を含んだ番組、サラウンド音声の番組のダビングについて

録画した番組をディスクにダビングする場合、音声や字幕情報は以下のようになります。

4KDR モード、4K 画質モードの番組をダビングする場合

- **[BD-RE] [BD-R]** （高速でダビング時）
 - ・複数の音声や字幕情報を記録できます。（再生時に切り換える可能）
 - ・サラウンド音声はサラウンド音声のまま記録できます。
- **[BD-RE] [BD-R]** （4K 画質モードで画質変換ダビング時）
 - ・複数の音声は 2つまで記録できます。
 - ・字幕情報を記録できます。（再生時に切り換える可能）
 - ・サラウンド音声はサラウンド音声のまま記録できます。（「4K 画質の音声 ch 数優先」（→148）が「入」のとき）
- **[BD-RE] [BD-R]** （1.5～15 倍録 モードでダビング時）
 - ・複数の音声や字幕情報の記録はできません。（再生時に切り換える不可）
 - ・再生中に「信号切換」（→94）で選んだあと、ダビングを行ってください。
 - ・サラウンド音声はステレオ音声になります。
- **[R AVCREC]**
 - （1.5～15 倍録 モードでダビング時）
 - ・複数の音声や字幕情報の記録はできません。（再生時に切り換える不可）
 - ・再生中番組の保存（→110）でダビングしてください。
 - ・サラウンド音声はステレオ音声になります。

DR モード、1.5～15 倍録 モードの番組をダビングする場合

- **[BD-RE] [BD-R] [R AVCREC]**
 - （高速、1.5～15 倍録 モードでダビング時）
 - ・複数の音声や字幕情報を記録できます。（再生時に切り換える可能）
 - ・サラウンド音声はサラウンド音声のまま記録できます。
- **[R VR] [RW VR]** （HDD からダビング時）
 - ・複数の音声や字幕情報の記録はできません。（再生時に切り換える不可）
 - ・再生中番組の保存（→110）でダビングしてください。
 - ・サラウンド音声はステレオ音声になります。

お知らせ

- 他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り替えられないことがあります。
- **[BD-RE] [BD-R] [R AVCREC]** 詳細ダビングの詳細設定（→108）で、「音声・字幕の記録」を「モード 2」にしてディスクに画質変更ダビングすると、「信号切換」（→94）で設定した内容で記録することができます。（ただし、音声の切り換えや字幕表示の入／切はできません）

二重音声の番組のダビングについて

録画した番組をダビングする場合、音声は以下のようになります。

- **[BD-RE] [BD-R] [R AVCREC] [USB-HDD] [R VR] [RW VR]**
 - 両方の音声を記録
- **[R V] [RW V]** 以下の設定に従って記録：
 - 「DVD-Video 記録の設定」の「二重音声記録時の音声選択」（→148）を記録したい音声にする

ビデオ方式のディスクの記録アスペクト

- 「DVD-Video 記録の設定」の「記録アスペクト設定」（→148）に従って記録します。**[R V] [RW V]** へ記録するときに有効です。
- 「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

ハイビジョン画質 / スマホ転送番組の記録アスペクト

「ハイビジョン画質 / スマホ転送番組の記録設定」の「記録アスペクト設定」（→148）に従って記録します。480i の映像を 1.5～15 倍録 モードで記録するときに有効です。

- 以下の場合、「オート」に設定していると、番組のアスペクト変化に追従して記録します。
 - ・ファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）から HDD にダビング
- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

4K 4.5 倍録から 4K 8～12 倍録のダビング

録画モードを「4K 4.5 倍録」から「4K 8～12 倍録」に設定して **[BD-RE] [BD-R]** に画質変更ダビングはできません。いったん録画モード変換（→100）で「4K 4.5 倍録」から「4K 8～12 倍録」に変換したあと、高速ダビングしてください。詳しくは、当社ホームページをご確認ください。（→12）

ディーガやビエラなど他機器からダビングする

お引越しダビング

お引越しダビングに対応したディーガや他社製レコーダーなどとネットワーク接続すると、番組をダビングすることができます。他のディーガや他社製レコーダーなどから本機にまとめて移動するときに便利です。

- 対応機器については、当社ホームページ（→12）をご覧ください。

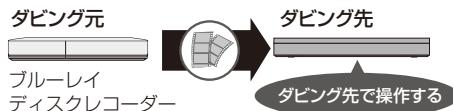
- スマートフォンアプリ「どこでもディーガ」を使って番組をダビングすることもできます。「どこでもディーガ」の詳しい操作方法については下記ホームページをご覧ください。

https://panasonic.jp/support/av/d_diga/

- 本機は4KDRモード、4K画質モードの番組のお引越しダビングに対応しています。4KDRモード、4K画質モードの番組のお引越しダビングは、ダビング元とダビング先の両方の機器が対応している必要があります。
- 写真のお引越しダビングは、本機がダビング先となる場合のみ対応しています。本機がダビング元となる場合は写真のお引越しダビングはできません。本機から別のディーガへ写真を移動するときは、写真・音楽用フォーマットされたUSB-HDDを使用して写真を移動することができます。

- お引越しダビング非対応のディーガの場合、お引越しダビングは利用できません。その場合は、BD-REなどのディスクにダビングしたうえで本機にダビングしてください。

- ネットワーク接続と設定をする（→26、27、32）
- お部屋ジャンプリンクの設定を変更する場合（→165）



番組ダビングの設定をする

- 1 ホーム を押す

- 2 「お引越しダビング」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は【◀◀スキップ】
【▶▶スキップ】でページを切り換えてください。

- 3 「番組をダビングする」を選び、決定 を押す

- 4 接続する機器を選び、決定 を押す

- 5 ダビング元を選択する画面が表示された場合：
ダビング元を選び、決定 を押す

- 6 番組を選び、決定 を押す

- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで【青】を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には が表示されます)
もう一度【青】を押すと選択を取り消します)
- 他社製機器の場合、番組が表示されない場合があります。その場合は、フォルダから番組を探して、表示してください。

例)



- ☞ まとめ 番組を選んだ場合は

まとめ番組内や他の番組も選択したい場合は、表示された項目を選んで操作してください。

- ☞ すべての番組をダビングしたい場合は
「一括ダビング」（→下記）してください。

- 7 接続機器がディーガの場合：

「ダビング元機器の番組」を

「残す」または「残さない」に設定する

接続機器が他社製レコーダーの場合：手順 8 へ

- 8 「設定する」を選び、決定 を押す
(→113「ダビングを実行する」へ)

番組ダビング時の便利な機能

番組お引越しダビング画面（上記手順 6）で

サブ
メニュー

- 1 番組を選び、S を押す

- 2 項目を選び、決定 を押す（→下記）

番組内容	番組の内容が確認できます。
一括ダビング*	すべての番組をダビングします。 （「はい」を選んで【決定】を押したあと → 上記手順 7 へ）
まとめ表示* 全番組表示* ※	表示を切り替えます。

※ 番組に が付いているときは機能の実行はできません。

ディーガやビエラなど他機器からダビングする (続き)

お知らせ

- 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD からはダビングできません。
- 1 回に複数選択できる番組は 99 個までです。
- 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、[サブメニュー] を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
- 以下の番組はダビングできません。
 - プロテクト設定 (→97) されている [1] の表示がある番組
 - ダビングする番組を選択したあと、ダビングが実行される前に「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」「録画モード変換」「チャプター消去」の編集や、番組の複製をした番組
 - XP, SP, LP, FR モードの番組
- [1] の表示がある番組は以下になります。
 - 112 ページ手順 7 の「残す」「残さない」の設定にかかわらず、ダビング元からは消去されます。
- [1] ~ [2] の表示がある番組は、ダビング先で「1 回だけダビング可能」の番組になります。
- ダビング元の番組データ容量や通信速度によっては、ダビング完了までに数日かかる場合があります。
- 他社製レコーダーの場合、「まとめ表示へ」や「全番組表示へ」の切り換えはできません。また、ダビングの残り回数 ([1] ~ [1]) は表示されません。

写真ダビングの設定をする

- HDD 内のすべての写真をダビングします。
- 写真を選んでダビングすることはできません。
- 接続する機器が写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット非対応機器の場合のみ操作できます。

112 ページ手順 2 のあと

3 「写真をダビングする」を選び、(決定) を押す

4 接続する機器を選び、(決定) を押す

5 「ダビングする」を選び、(決定) を押す (→ 右記「ダビングを実行する」)

お知らせ

- ダビング元の写真は削除されません。

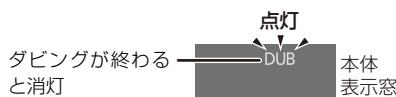
ダビングを実行する

本機と接続機器の電源を切る

- 写真をダビングする場合は、接続機器の電源を切る必要はありません。

電源「切」時にダビングが実行されます。予約録画の設定がされていない時間帯にダビングを行います。

- ダビング中に電源を入れると、ダビングを中断し、次に電源を切ると、ダビングを再開します。



「クイックスタートモード」(→146) が「省エネ (時計表示無し)」の場合、点灯しません。

④ ダビングの進行状況を表示するには

テレビ視聴中に「画面表示」を押す

- 写真のお引越ししダビングの進行状況は表示されません。

⑤ ダビングを中止するには

- [ホーム] を押す
- 「お引越ししダビング」を選び、[決定] を押す
- 「番組をダビングする」または「写真をダビングする」を選び、[決定] を押す
- [黄] を押す

ネットワークを使ってダビングする

HDD

ビエラ*

HDD 内蔵CATVデジタル
セットトップボックス



スカパー! プレミアムサービス
対応ユーザー

ビエラなどの機器とネットワーク接続すると、接続した機器から本機の HDD にダビングすることができます。
※USB-HDD 録画対応ビエラや HDD 内蔵ビエラからダビングできます。

- 対応機器については、当社ホームページ (→12) をご覧ください。
- ネットワーク接続と設定をする (→26, 27, 32)
- お部屋ジャンプリンクの設定を変更する場合 (→165)

ビエラなどの接続機器側でダビングの操作をする

- ダビングの操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

ビデオカメラから取り込む

撮影ビデオ(AVCHD、MP4)を取り込む

LISB

ディスク



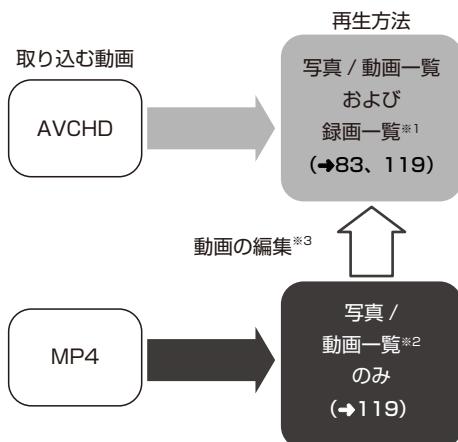
当社製デジタルハイビジョン
ビデオカメラ
AVCHD、MP4、
MP4(4K動画)

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を取り込むことができます。

- 対応機器については、当社ホームページ（[→12](#)）をご覧ください。
 - 「1080/60p」* や「AVCHD 3D」の表示がある番組は、**HDD** **BD-RE** **BD-R** にのみ取り込むことができます。
※ 1080/60p(1920×1080/60 プログレッシブ)記録の番組
 - MP4 の番組は **HDD** にのみ取り込むことができます。

お知らせ

- DVDに取り込んだAVCHD動画を他のAVCREC非対応機器で再生したい場合
 - ・一度HDDに取り込んだあと、DVD画質(XP、SP、LP、FRモード)でディスクにダビングしてください。
 - ファイル取り込みしたMP4を他の機器で再生するには
 - ①「動画の編集」(→121)で動画を変換する
 - ②ディスクにダビングする
 - ・「動画の編集」で選べる動画はビデオの圧縮方式がH.264のMP4動画のみです。



※1 録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。

- AVCHD : 「AVCHD」
 - AVCHD 3D : 「AVCHD 3D」
 - AVCHD (1080/60p) : 「AVCHD PRO」
 - 写真／動画一覧で編集
した MP4^{*3} : 「AVC VIDEO」

*2 取り込んだ MP4 が本機で再生できない場合もあります

※3 「動画の編集」で選べる動画は、ビデオの圧縮方式がH.264のMP4動画のみ

ビデオカメラから取り込む（続き）

かんたん取り込み

USB

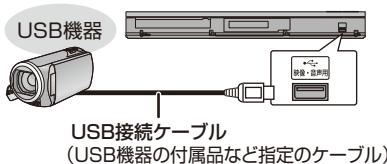
USB 機器に記録された写真や撮影ビデオを一括で取り込むことができます。

取り込み方向：

USB → **HDD**

USB 機器の説明書をよくご覧になったうえで操作してください。

1 USB 機器を接続する（→42）



2 USB 機器側で設定が必要な場合： USB 機器側で、本機と USB 接続するため の設定をする

例)



- USB 機器側の設定をすると、以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- ① [ホーム] を押す
- ② 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
- ③ 「USB 機器」を選び、[決定] を押す

3 「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選び、 **決定**を押す

4 「今すぐ取り込み開始」または「あとから取 り込みを設定する」を選び、**決定**を押す

お知らせ

- 取り込み中に予約録画が始まると、取り込みを中断します。
- **AVCHD** 取り込んだ撮影ビデオの履歴は、USB 機器は1台のみ保持し、それ以上になると、古い情報から削除します。
- **AVCHD** 取り込んだ撮影ビデオの履歴保持は、「HDD のフォーマット」（→149）を行うと、削除されます。
- **AVCHD** 同じ撮影ビデオを取り込みたい場合や撮影ビデオ単位で取り込みたい場合は、「選んで取り込み」（→116）を行ってください
- **MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。

ビデオカメラから取り込む（続き）



取り込み方向 :

- **USB** → **HDD BD-RE BD-R -R AVCREC**
 - AVCHD を記録したディスク → **HDD**
 - MP4を選んで取り込む場合は、「写真/動画一覧から取り込む」(→118) をご覧ください。

■ USB 機器から取り込む場合

USB 機器の説明書をよくご覧になったうえで操作してください。

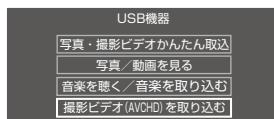
1 USB 機器を接続する (→42)

2 USB 機器側で設定が必要な場合

USB 機器側で、本機との設定をする



- USB 機器側の設定をすると、以下の画面が表示されます。



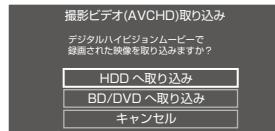
下記操作で表示することもできます。

- ① [ホーム] を押す
 - ② 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
 - ③ 「USB 機器」を選び、[決定] を押す

3 「撮影ビデオ（AVCHD）を取り込む」を選
び、**決定**を押す

4 HDDに取り込む場合：
「HDDへ取り込み」を選び、を押す

ディスクに取り込む場合：
「BD/DVDへ取り込み」を選び、を押す



5 動画を選び、青いボタンを押す

- ・☑ が表示されます。操作を繰り返します。

撮影ビデオ (AVCHD) 取り込み		HDD 残容量	87105 MB	
USB → HHD		選択状況	0 MB (0 %)	選択数 0
開始時間	18:00	No.	結果	チャプタリスト
録画時間	0:20:12	001	3/ 5 (木)	AVCHD 2015.3.5
録画容量	122 MB	002	3/ 6 (金)	AVCHD 2015.3.6
		003	3/ 7 (土)	AVCHD 2015.3.7
		004	3/ 8 (日)	AVCHD 2015.3.8
		005	3/ 9 (月)	AVCHD 2015.3.9
		006	3/10 (火)	AVCHD 2015.3.10
		007	3/11 (水)	AVCHD 2015.3.11

選択を取り消すには
動画を選び、「青」を押す

6 選び終わったあと、決定を押す

7 「取り込み開始」を選び、(決定)を押す

- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

ビデオカメラから取り込む（続き）

■ ディスクから取り込む場合

1 ディスクを入れる

- 以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- [ホーム]を押す
- 「メディアを使う」を選び、[決定]を押す
- 「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、[決定]を押す

2 「撮影ビデオ (AVCHD) を取り込む」を選び、**決定**を押す

3 動画を選び、**青**を押す

- が表示されます。操作を繰り返します。
- 選択を取り消すには
動画を選び、[青]を押す

4 選び終わったあと、**決定**を押す

5 「取り込み開始」を選び、**決定**を押す

お知らせ

- 1つの動画に99シーンを超えて記録されている場合、99シーンごとに分けて取り込みます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位で動画として表示されます（ただし99シーンを超えるときは分割します）。同じ日に撮影されたシーンが複数ある場合、まとめ番組となります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。
- ディスクから**HDD**への取り込み中は、予約録画は実行できません。

ネットワークを使って取り込む（コピー）

ネットワーク接続

HDD

当社製デジタルハイビジョン ビデオカメラ



AVCHD

本機では、「DIGA コピー」に対応した当社製デジタルビデオカメラとネットワーク接続すると、撮影ビデオ (AVCHD) と写真を本機の HDD に取り込むことができます。

- ネットワーク接続と設定をする（→26、27、32）
 - お部屋ジャンプリンクの設定を変更する場合（→165）

カメラ側でコピー操作を行う

- 「DIGA コピー」の機能については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 本機が以下の場合は取りません。
 - LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスやCATV）の番組を録画中
 - BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
 - ダビング中
 - お部屋ジャンプリンク機能など、ネットワークを利用する機能を使用中

など

写真や動画を取り込む

本機では、写真や動画（AVCHD、MP4）の取り込みや再生することができます。

写真について

- [HDD] [BD-RE] [BD-R] [RAM] [-R] [-RW] [CD] [USB]
- [USB-HDD]（写真・音楽用フォーマット、SeeQVault フォーマット）、+R、+R DL、+RW
- [CD] [USB] 写真を記録した CD-R、CD-RW や当社製デジタルカメラなどの USB 機器が再生できます。
- 本機では、4K 対応のテレビに接続している場合、再生する写真の画質にかかわらず 4K 画質で写真を再生します。
・「出力解像度」（→151）を「オート」に設定してください。

動画（AVCHD、MP4）について

デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

- ビデオカメラなどから HDD に取り込んだ動画（→114）
- ディスクや SeeQVault フォーマットの USB-HDD に記録された AVCHD
- BD-RE、BD-R、写真・音楽用フォーマットや SeeQVault フォーマットの USB-HDD に記録された MP4

再生できる MP4 動画については（→192「動画」）

写真や動画を取り込む

写真・撮影ビデオかんたん取込

USB → HDD

USB 機器を接続（→42）すると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録されている内容によって異なります）



下記の手順 4 に進みます。

1 ホーム を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [◀◀ スキップ]
[▶▶ スキップ] でページを切り換えてください。

3 「USB 機器」を選び、決定 を押す

4 「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選び、
決定 を押す

5 「今すぐ取り込み開始」または「あとから取り込みを設定する」を選び、決定 を押す

- 取り込み中に予約録画が始まると、取り込みを中断します。
- 既に取り込んだ写真や動画は、重複して取り込みません。（内蔵 HDD に記録された写真や動画のディレクトリ名／ファイル名／ファイル更新日／ファイルサイズがすべて一致するファイルは取り込みません）

写真 / 動画一覧から取り込む

[BD-RE] [BD-R] [RAM] [-R] [-RW] [CD] [USB]

[USB-HDD]（写真・音楽用フォーマット、SeeQVault フォーマット）、+R、+R DL、+RW → [HDD]

1 ホーム を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [◀◀ スキップ]
[▶▶ スキップ] でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ（BD）／DVD」、「USB 機器」または「USB-HDD」を選び、決定 を押す

4 「写真／動画を見る」を選び、決定 を押す

5 写真 / 動画一覧から写真や動画を選び、
青 を押す

- 選んだ写真や動画には ● が表示されます。
操作を繰り返します。

6 選び終わったあと、赤 を押す

7 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

写真や動画を再生する

1 **HDD** :

写真を押す (→手順 5へ)

ディスク・USB・USB-HDD :

ホームを押す

2 ディスク・USB・USB-HDD :

「メディアを使う」を選び、決定を押す

●表示がない場合は [◀◀スキップ]

[▶▶スキップ] でページを切り換えてください。

3 ディスク・USB・USB-HDD :

「ブルーレイ(BD)／DVD」、「USB機器」または「USB-HDD」を選び、決定を押す

4 「写真／動画を見る」または「撮影ビデオ(AVCHD)を見る」を選び、決定を押す

5 再生する写真または動画を選び、決定を押す
例) **HDD**



HDD 下記から表示したい項目を選んでください。

全て : すべて (日付順)

AI : おまかせアルバム (→120)

心 : お気に入り (→121)

写 : 被写体 (→120)

ア : 作成したアルバム (→122)

登 : 登録したスマートフォン (→125)

スマートフォンアプリ「どこでもディーガ」で本機を機器登録すると、自動で項目が追加されます。(スマートフォンから受信した写真や動画はこの項目に保存されます)「ニックネームの変更」(→121)でお好みの名称に変更することができます。

ネットワーク : ネットワークカメラ (→126)

保存用ディスク : 保存用ディスク (→123)

●メディアから画面を表示させた場合は、フォルダ表示の画面になります。

●**AVCHD** トップメニューもしくは撮影ビデオ(AVCHD)一覧が表示されます。

☞ 動画再生中の操作については (→91)

☞ おまかせアルバム、作成したアルバムのダイジェスト再生をするには

おまかせアルバム、作成したアルバムを選んで、
[▶再生] を押す

☞ 再生中の写真を回転させるには

①再生中に [サブメニュー] を押す

②「右 90° 回転」または「左 90° 回転」を選び、
[決定] を押す

☞ 再生を止めるには

●写真／動画一覧に戻るには、[■停止] を押す
●静止画にするには、[II一時停止] を押す

☞ 写真や動画の書き出しや取り込みをするには

[赤] を押す (→118、123)

☞ 写真や動画をお気に入り登録／解除するには

[緑] を押す

☞ 写真や動画を消去するには

消去したい写真や動画を選んで、[黄] を押す

お知らせ

●**MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。

●ビットレートが100 Mbpsを超えるMP4動画は正しく再生できない場合があります。

●メディアの状態や読み出し速度によって正しく再生できないときは、内蔵HDDに写真や動画を取り込むと安定して再生することができる場合があります。

●写真／動画一覧から「AVCHD 3D」を再生すると2Dで再生します。3Dで再生するには録画一覧から再生してください。

●本機では3D写真は2Dで表示します。

●本機では写真の編集はできません。

写真や動画を再生する（続き）

おまかせアルバムについて

HDD

おまかせアルバムとは、「京都へのおでかけ」や「10月10日のウェディング」など、写真や動画を1つのアルバムとして自動でまとめて表示する機能です。

おまかせアルバムは、HDDに取り込まれた写真／動画が以下の条件を同時に満たす場合に、自動作成されます。

- 日、月、季節、年単位のいずれかの撮影期間に18個以上の写真／動画がある場合
- スマートフォンなどで撮影したGPS情報が付加された写真を含む場合、または特定の被写体／イベントに自動分類される写真／動画を含む場合

おまかせアルバムは最大5個まで一時的に保存されます。さらに新しいおまかせアルバムが作成されると古いものから削除されます。おまかせアルバムを保存しておきたい場合は、アルバムとして残してください。
（→122）

自動分類について

HDD

HDDに取り込まれた写真や動画の撮影内容を分析し、被写体やイベントごとに自動分類します。

分類する被写体やイベントには、以下の種別があります。

(被写体)	(イベント)
人物	誕生日
動物	結婚式
犬	発表会
猫	入学式・卒業式
車	スポーツ
飛行機	運動会
電車	おでかけ
花	など
食べ物	

など

ダイジェスト再生について

ダイジェスト再生は、1つのおまかせアルバムの中から18個の写真／動画を自動選出してダイジェストで再生します。旅の思い出などを約1分間のダイジェストで振り返ることができます。

⑦ ダイジェスト再生をするには

- 写真／動画一覧で、おまかせアルバムを選択した状態で [▶ 再生] を押す

⑧ 再生を止めるには

- 写真／動画一覧に戻るには、[■ 停止] を押す
- 再生を一時停止にするには、[■■ 一時停止] を押す

お知らせ

- 自動分類およびおまかせアルバムの作成は、本機の電源が「切」のときに自動で実行されます。
- 写真／動画の自動分類の精度は100%を保証するものではありません。内容によって正しく分類されない場合があります。
- おまかせアルバムや被写体／イベントは、写真や動画を選んでアルバムへ追加したり、分類結果を削除変更することはできません。

写真や動画を再生する（続き）

写真／動画一覧のいろいろな機能

写真／動画一覧表示中に操作します。

- 1 写真、動画または日付などの項目を選び、**

ガ
ル
メ
ニ
ー
ン
S を押す

- 2 項目を選び、[決定] を押す**

内容確認	写真や動画の情報を表示します。
情報を更新	選択したフォルダ内に記録された写真／動画の表示内容を更新できます。
アルバムとして残す	おまかせアルバムをアルバムとして残します。
書き出し	写真や動画をディスクなどに書き出します。
取り込み	写真や動画をHDDに取り込みます。
消去	写真や動画、アルバムを消去します。
アルバムへの追加	選択した写真や動画をアルバムへ追加します。
アルバム名の変更	選択したアルバムの名前を変更します。
動画の編集	選択した動画を編集可能な形式に変換します。 • 録画一覧で編集ができるようになります。（→97）
ニックネームの変更	選択したスマートフォンの登録名を変更します。
スマホ登録の解除	選択したスマートフォンの登録を解除します。
パスワード入力	プライベートモードで送信された写真や動画を一時的に表示させることができます。 • どこでもディーガで設定したパスワードを入力してください。
連続再生の設定	写真や動画の連続再生に関する設定を変更します。 「写真の表示間隔」「表示効果」「リピート設定」「メッセージ表示」の設定ができます。
写真／動画切換	「写真と動画を表示」「写真のみ表示」「動画のみ表示」に切り換えることができます。
コンテンツ表示の設定	ネットワーク経由で取り込んだ写真や動画を「すべて（日付順）」に表示するかどうかを設定します。

保存設定	写真や動画を保存する設定を変更します。
保存待ちの状態にする	選択した写真や動画を再度ディスクへ保存することができます。
あとから取り込みの設定取り消し	あとから取り込みの設定を取り消します。
撮影時刻の表示設定	撮影時刻を表示するかどうかを設定します。
フォルダ表示へ	フォルダ表示に切り替えます。
日付順表示へ	日付順表示に切り替えます。

写真や動画をお気に入りに登録する

写真や動画をお気に入りに登録すると、「お気に入り」にまとめて表示することができます。

- お気に入りに登録すると、ネットワークカメラからの動画が自動消去される設定になっていても、登録した動画は自動消去されないようになります。

写真／動画一覧表示中に

写真や動画を選び、[緑] を押す

- 選んだ写真や動画には が表示されます。

お気に入りを解除するには

写真や動画を選び、[緑] を押す

- 選んだ写真や動画からは、 が消えます。

写真や動画を再生する（続き）

アルバムを作成する

写真／動画一覧ではお気に入りの写真や動画を集めてアルバムを作成することができます。

アルバムを新規に作成する

写真／動画一覧表示中に

- 1 「アルバムを作成する」を選び、**決定**を押す**



「アルバムを作成する」

- 2 アルバム名を入力する**

☞ 文字入力（→144）

写真や動画をアルバムに追加する

写真／動画一覧表示中に

- 1 写真や動画を選び、**青**を押す**

● **○** が表示されます。操作を繰り返します。

☞ 選択を取り消すには

写真や動画を選び、[青] を押す

- 2 サブメニューを押す**

- 3 「アルバムへの追加」を選び、**決定**を押す**

- 4 追加したいアルバムを選び、**決定**を押す**

おまかせアルバムをアルバムとして残す

おまかせアルバムは5個まで一時に保存されます。新しいおまかせアルバムが作成されると古いものから削除されます。おまかせアルバムを保存しておきたい場合は、アルバムとして残してください。

- 1 おまかせアルバムを選ぶ**

- 2 サブメニューを押す**

- 3 「アルバムとして残す」を選び、**決定**を押す**

アルバムの編集や消去、再生

作成したアルバムの削除や名前の変更することができます。

- 「消去」（→121）
- 「アルバム名の変更」（→121）
- ダイジェスト再生（→119）

写真や動画を書き出す

写真や動画を書き出す

写真を書き出す場合 :

HDD ➡ **BD-RE** **BD-R** **USB***

USB-HDD (写真・音楽用フォーマット、
SeeQVault フォーマット)

動画を書き出す場合 :

HDD ➡ **BD-RE** **BD-R** **USB***

USB-HDD (写真・音楽用フォーマット、
SeeQVault フォーマット)

* USB 機器は USB メモリーのみ

1 **写真** を押す

2 写真 / 動画一覧から写真または動画を選び、
青 を押す

- 選んだ写真や動画には **○** が表示されます。
操作を繰り返します。

3 選び終わったあと、**赤** を押す

4 書き出し先を選び、**決定** を押す

5 「書き出し開始」を選び、**決定** を押す



- 書き出し先にすでに同じ名称のディレクトリおよびファイルが存在する場合は、そのファイルは書き出されません。

写真や動画をディスクに保存する

BD-RE **BD-R** 写真／動画一覧にある写真や動画をディスクに保存することができます。

- 4K (MP4) を保存する場合は、**BD-R** の 4 倍速以上のディスクを使用してください。

写真／動画の保存用ディスクを作成する

1 新しいディスクを入れる

- 購入後、一度も使用していない末フォーマットのディスクを入れてください。
- BD 管理でフォーマットしたディスクは、保存用ディスクとして使用することはできません。

2 **写真** を押す

3 「保存用ディスク作成」を選び、**決定** を押す



「保存用ディスク作成」

4 画面に従って操作する

写真や動画を書き出す（続き）

保存する

電源「切」時に自動で保存します。（「保存待ち写真／動画」の中にある写真や動画を自動で保存します）

今すぐ保存するには

- ① [写真] を押す
- ② [サブメニュー] を押す
- ③ 「保存設定」を選び、[決定] を押す
- ④ 「保存機能」を選び、[決定] を押す
- ⑤ 「入」を選び、[決定] を押す
- ⑥ 「今すぐ保存」を選び、[決定] を押す
- ⑦ 「開始」を選び、[決定] を押す

保存済の写真や動画の確認や取り込みをするには

- ① [ホーム] を押す
- ② 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
- ③ 「ブルーレイ(BD)／DVD」を選び、[決定] を押す
- ④ 実行したい項目を選び、[決定] を押す

保存設定を変更するには

- ① [写真] を押す
- ② [サブメニュー] を押す
- ③ 「保存設定」を選ぶ
- ④ 設定する項目を選び [決定] を押す
 - 保存機能の入／切
 - 保存時間帯の設定
 など

お知らせ

- ディスクの紛失などで写真や動画をディスクに再度保存する場合は、「保存待ちの状態にする」で設定してください。
- 自動で保存する場合、「クイックスタート」（→146）を「入」に設定しておくことをお勧めします。
- 保存用ディスクでの録画やダビングはできません。
- 以下の場合、保存はできません。
 - ・他機器で作成した写真／動画の保存用ディスク
- 本機以外の機器（パソコンや本機以外のブルーレイディスクレコーダーなど）で保存用ディスクに書き込みや消去などの操作をした場合、ディスクの情報が失われて本機で保存用ディスクとして使えなくなる場合があります。
- 保存用のディスクは、高湿度、高温、直射日光などを避け、できるだけ外部からの力がかからない環境で保管してください。

スマートフォンの写真や動画を本機で受信する

本機をインターネットに接続すると、スマートフォンの写真や動画を本機で受信することができるようになります。

- 「スマホを登録する」を利用するには
 - ・ネットワークの接続と設定をする (→27、32)
 - ・ディモーラサービスで機器登録をする (→34)
 - ・「宅外リモート接続機能」(→154) を「入」にする

スマートフォンから写真や動画を送信するには、スマートフォンでスマートフォン用アプリ「どこでもディーガ」のインストールと本機の登録が必要です。「どこでもディーガ」の詳しい操作方法については下記ホームページをご覧ください。

https://panasonic.jp/support/av/d_diga/

4

画面の表示に従って、スマートフォンを登録する

スマートフォンで以下の操作を行ってください。

- ①スマートフォン用アプリ「どこでもディーガ」をインストールする
- ②アプリで登録番号を入力する
- 離れた場所に住む人のスマートフォンから写真や動画を受け取りたい場合は、送信する相手に上記の手順をお伝えください。
- 登録番号を誤って入力すると、スマートフォンから送信した写真や動画が意図しない相手へ送信されてしまう場合がありますので、登録番号入力の際はお気をつけください。

スマートフォンを登録する

- 1 [写真] を押す

- 2 「スマホを登録する」を選び、(決定) を押す



「スマホを登録する」

- 3 「はじめる」を選び、(決定) を押す

写真や動画を受信する

登録した離れた場所に住む人のスマートフォンから送信された写真や動画を本機が受信すると、本体表示窓の「」マークが点灯し、新着コンテンツをお知らせする画面を数秒間表示します。



受信した写真や動画は、写真／動画一覧で確認することができます。

プライベートモードの写真や動画を表示する

どこでもディーガのプライベートモードで送信された写真や動画は、写真／動画一覧画面や DIGA Drive 機能で表示されません。どこでもディーガで設定したパスワードを入力すると、一時的に表示制限が解除され、写真や動画が表示されるようになります。プライベートモードで送られてきた写真や動画は、「」マークが表示されます。

お知らせ

- プライベートモードで送信した写真や動画はお気に入り登録できません。
- 「機器パスワード初期化」(→154) を行うとスマートフォンからの写真や動画を本機で受信できません。その場合は一度ディモーラの機器登録の解除 (→155) を行ったあと、「スマホを登録する」を利用するには (→左記) をご確認ください。

ネットワークカメラの動画を本機で受信する

当社製の本機に対応したネットワークカメラの動画を本機で受信することができます。

- 対応機器の品番や設置方法については当社ホームページをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/av/diga702/>

- ネットワークカメラの機能を利用するには、ネットワークの接続と設定（→27、32）が必要です。

ネットワークカメラの設定をする

ネットワークカメラの動画を本機で受信するには、以下の設定をしてください。

「ネットワークカメラ連携機能」（→155）を「入」に設定する

受信した動画を自動的に消去するには

「自動消去設定」（→155）で消去する期日を指定してください。

- 自動消去の対象から外したい動画は、お気に入り登録をしてください。（→121）

動画を受信する

登録したネットワークカメラから動画が送信されると、本機側で動画を自動的に受信します。

- 受信した動画は、写真/動画一覧で確認することができます。

お知らせ

- ネットワークカメラで撮影後、本機の状態によっては受信するまでに時間がかかる場合があります。
- ネットワークカメラで撮影した映像は、合計で最大40000ファイルまで本機に記録することができます。上限を超えると、新たに撮影された映像は記録されません。新たに記録するためにはネットワークカメラの映像の中から不要な映像を消去するか、「ネットワークカメラ連携設定」の「自動消去設定」（→155）を有効にしてください。
- ネットワークカメラから受信した動画データは、本機と同じホームネットワークに接続された DLNA 対応機器から再生することができます。ネットワークカメラの設定、設置場所、および無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）などのホームネットワークのセキュリティー設定にお気をつけてください。
- ネットワークカメラ対応機器のペアリングを解除するには、「ネットワークカメラ連携設定」（→155）から行ってください。

音楽 CD を再生する /HDD に取り込む

CD

音楽 CD を再生する

1 音楽 CD を入れる

- 本機をネットワークに接続すると Gracenote® サーバーから最新のタイトル情報を自動で取得します。(ネットワークに接続していない場合は、本機内蔵の Gracenote データベースからタイトルを取得します)

2 「音楽を再生する」を選び、**決定**を押す

音楽CDの1曲目から自動的に再生が始まります。

表示マークについて (→129)



別のある曲を再生するには

数字ボタン (1 ~ 10) を押して曲を選ぶ

- 例 5曲目 : [5] → [決定]
- 10曲目 : [1] → [10]
- 12曲目 : [1] → [2]

音楽を停止するには

[■ 停止] を押す

テレビの電源を切って音楽の再生を続けるには

- [ビエラリンク対応のテレビ (ビエラ) とアンプ (スピーカー) を接続している場合のみ表示]
- [青] を押す

シャッフルの設定をするには

[赤] を押す

リピートの設定をするには

[緑] を押す

ハイレゾリマスターの設定をするには

[黄] を押す

音楽再生のいろいろな操作

- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



- 以下の「再生設定」を行うことができます。

音楽一覧表示中に、[サブメニュー] を押して、「再生設定」を選び、[決定] を押す

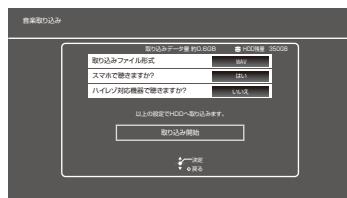
- ・「基本設定」(→94) の「リピート」「シャッフル」
- ・「音質設定」(→96) の「音質効果」「自動音量調整」

HDD に取り込む

1 音楽 CD を入れる

2 「HDD へ取り込む」を選び、**決定**を押す

3 項目を設定する



- ・ハイレゾで聴く場合は、「ハイレゾ対応機器で聴きますか?」を選び、[データ①] を押して「ハイレゾで聴くための詳細設定」を行ってください。

- ・取り込んだ曲をスマートフォンで再生する場合は、スマートフォンに「どこでもディーガ」をインストールしてください。(→4)

4 「取り込み開始」を選び、**決定**を押す

お知らせ

- HDD に取り込んだ曲は DIGA Drive 領域に保存されます。
タイトルの自動取得について
- ・タイトルが見つからなかったときは、「不明なアルバム」として表示されます。
- ・情報が似ているために間違ったタイトル情報を取得することができます。

録音について

- ・CD の全曲を録音します。曲単位で録音はできません。
- ・コピーコントロール CD など、CD 規格外ディスクの再生および録音は保証しておりません。
- ・CD から HDD へのデジタル録音には、SCMS (シリアル・コピー・マネージメント・システム) という制限があります。著作権保護のため、この制限がある CD から HDD へのデジタル録音はできません。

音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す

音楽ファイルを再生する

HDD

[USB-HDD] (写真・音楽用フォーマットまたは
SeeQVault フォーマット)

1 **HDD** :

音楽 を押す

(→手順 5 へ)

[USB-HDD] :

ホーム を押す

2 **[USB-HDD]** :

「メディアを使う」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [**◀◀ スキップ**]
[**▶▶ スキップ**]でページを切り換えてください。

3 **[USB-HDD]** :

「USB 機器」または「USB-HDD」を選び、

決定 を押す

4 **[USB-HDD]** :

「音楽を聞く／音楽を取り込む」を選び、

決定 を押す

5 **曲を音楽一覧から選び、決定 を押す**

- **HDD** [**▶**] (リモコンの右ボタン) を押すと「次の曲」の内容を表示することができます。

「次の曲」には「音楽一覧」から選んだ曲や再生した曲が登録されます。またこれから再生される曲の順番を確認することができます。

表示マークについて (→129)



☞ 別の曲を再生するには

再生したい曲を選び、[決定] を押す

☞ 音楽を停止するには

[■ 停止] を押す

☞ ギャップレス再生をするには

[データ①] を押す

- [データ①] を押すと、選択中の曲からギャップレス再生を開始します。ギャップレス再生中は、1曲リピートおよびシャッフルは無効です。

☞ テレビの電源を切って音楽の再生を続けるには

[青] を押す

(ビエラリンク対応のテレビ（ビエラ）とアンプ（スピーカー）を接続している場合のみ有効)

☞ シャッフルの設定をするには

[赤] を押す

☞ リピートの設定をするには

[緑] を押す

☞ ハイレゾリマスターの設定をするには

[黄] を押す

☞ 曲もしくはアルバムを「次の曲」のリストに追加するには

[ワンタッチ予約 録画 ●] を押す

お知らせ

• ギャップレス再生は、選択中のトラックの先頭から曲間を空けずに連続で再生します。ライブやコンサートの音源を収録したアルバムなど（曲間をつなげて収録している音楽ファイル）の再生時に有効です。

• データの状態によってはトラックの変わり目に小さなノイズが発生する場合があります。

• ファイルによってはアルバム、アーティスト、ジャンルなどの情報が登録できない場合があります。その場合は、フォルダから該当の曲を選んで再生してください。

音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す (続き)

いろいろな操作や設定

- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



- 以下の項目の設定を行うことができます。

① 曲やフォルダ、プレイリストなどを選び、

を押す

② 項目を選び、設定する

- 設定できる項目は、音楽CDや音楽ファイルによって異なります。

ギャップレス 再生	曲間を空けずに連続で再生します。
次に再生	選択した曲を「次の曲」で、現在再生している曲の後に再生するよう設定します。
あとで再生	選択した曲を「次の曲」のリストに追加します。
“次の曲”か ら除外	選択した曲を「次の曲」から除外します。
プレイリスト に追加	選択した曲やアルバムをプレイリストに追加します。
プレイリスト の名前を変更	プレイリストの名前を編集します。
曲の情報編集	曲の情報を編集します。
消去	選択したアルバム、曲、フォルダ、プレイリストを削除します。
情報を更新	アルバム、アーティスト、ジャンルなどの情報を更新します。
状態を更新	アルバム、曲、フォルダを消去した場合に、プレイリストの情報を更新します。
メディアへ書 き出す	曲をHDDからディスクや写真・音楽用フォーマットまたはSeeQVaultフォーマットのUSB-HDDに書き出します。
HDDに取り 込む	曲をHDDに取り込みます。 (→130)
スマホ再生用 ファイル (AAC)作成	選択したアルバム、曲をスマートフォンで再生できるようにします。 • 音楽CDから取り込んだ曲のみ可能

ハイレゾリマ スター/ファイ ル作成	選択したアルバム、曲をハイレゾ音源で再生できるようにします。 • 音楽CDから取り込んだ曲のみ可能
再生設定	再生設定を表示します。(→94)
テレビのみ電 源 [切]	ビエラリンク対応のテレビ(ビエラ)とアンプ(スピーカー)を接続している場合、テレビの電源を切った状態でアンプから音楽の再生を続けることができます。

表示マークについて

(グレー)	シャッフル [切]
(白)	シャッフル [入]
(グレー)	リピート [切]
(白)	リピート [1曲]
(白)	リピート [全曲]
※1 切	音質効果 [切]
ナイト <small>(サウンド)</small>	ナイトサウンド
※2 弱	ハイレゾリマスター [弱]
※2 中	ハイレゾリマスター [中]
※2 強	ハイレゾリマスター [強]

※1 ハイレゾ対応機器接続時にハイレゾ音源を出力した場合に表示

※2 ハイレゾ対応機器からの音声出力時に表示

お知らせ

- 再生可能なファイル形式 (→193)
- 音楽を再生して、再生停止または一時停止中に1時間以上操作を行わない場合は、自動的に本機の電源が切れます。

音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す (続き)

音楽ファイルを取り込む / 書き出す

- BD-RE BD-R USB^{*1} USB-HDD^{*2} → HDD
- HDD → BD-RE BD-R USB^{*1} USB-HDD^{*2}

*1 USB 機器は USB メモリーのみ

*2 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD

音楽ファイルを本機 HDD に取り込んだり、HDD からディスクなどに書き出したりすることができます。

● ディスクや USB-HDD に書き出す場合はバックアップ用としてお使いください。

● HDD に取り込んだ音楽ファイルは DIGA Drive 領域に保存されます。

音楽ファイルを取り込む

- 1 ホーム を押す

- 2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

● 表示がない場合は [◀◀ スキップ] [▶▶ スキップ] でページを切り換えてください。

- 3 BD-RE BD-R :
「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、決定 を押す
USB、USB-HDD (写真・音楽用フォーマット) :

「USB 機器」を選び、決定 を押す

USB-HDD (SeeQVault フォーマット) :

「USB-HDD」を選び、決定 を押す

- 4 「音楽を聞く／音楽を取り込む」を選び、
決定 を押す

- 5 フォルダや音楽一覧から曲を選び、
S を押す

- 6 「HDD に取り込む」を選び、決定 を押す

- 7 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

音楽ファイルを書き出す

- 1 音楽 を押す

- 2 「フォルダ」を選び、決定 を押す

- 3 曲を選び、S を押す

- 4 「メディアへ書き出す」を選び、決定 を押す

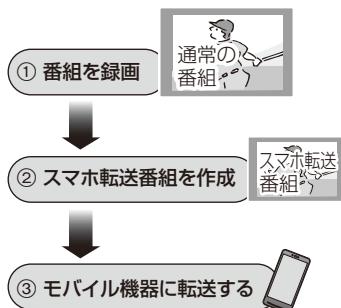
- 5 書き出し先を選び、決定 を押す



- 6 「書き出し開始」を選び、決定 を押す

録画した番組をモバイル機器に転送する

モバイル機器（スマートフォンなど）に転送するには、HDDに録画した番組からスマホ転送番組を作成する必要があります。



スマートフォンを使って外で番組視聴するには
外出先から、番組の視聴や録画予約などができます。
「どこでもディーガ」の詳しい操作方法については下記ホームページをご覧ください。

https://panasonic.jp/support/av/d_diga/

画質について

再生できる画質は転送する機器によって異なります。
詳しくは機器の説明書をご覧ください。

選択できる画質

- 4 Mbps(1080p)
- 2 Mbps(1080p)
- 3.5 Mbps(720p)
- 1.5 Mbps(720p)
- 650 kbps(360p)
- 400 kbps(180p)
- 150 kbps(180p)

お知らせ

●スマホ転送番組について

- 通常の番組の「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」を行うと、スマホ転送番組は消去されます。
 - 本機では、スマホ転送番組の再生・編集はできません。

•多重音声の記録について

多重音声の番組からスマホ転送番組を作成する場合、以下のようにになります。

- ・マルチ音声の番組
 - 「信号切換」の「音声」(→94)で設定した音声1つ
 - ・二重音声の番組
 - 「ハイビジョン画質 / スマホ転送番組の記録設定」(→148)の設定に従う

スマホ転送番組を作成する

番組の予約録画時に作成する

スマート転送番組の設定

番組の予約録画時にスマホ転送番組を作成する場合、以下の画面でスマホ転送番組の設定を行ってください。

- 番組予約 (→58手順5)
 - 詳細設定 (→59手順1)
 - 時間指定予約 (→67手順3)

お知らせ

- ・スマートフォン転送番組は、電源「切」時に録画した番組から変換して作成します。
 - ・作成されるスマートフォン転送番組のアスペクト比は 16:9 になります。

録画した番組をモバイル機器に転送する（続き）

録画した番組から作成する

スマホ転送番組の作成 **HDD**

作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

- ①  を押す
- ② 作成する番組を選び、 を押す
- ③ 「スマホ転送番組の作成」を選び、 を押す
- ④ 「画質」を選び、設定する
- ⑤ 「開始方法」を選び、設定する

● すぐに：

下記手順⑦の設定後すぐに、作成を開始します。
作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。

● 電源 [切] 後：

電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

- ⑥ 「作成する」を選び、 を押す

- ⑦ 「すぐに」作成を開始する場合：
「開始」を選び、 を押す

☞ 作成を実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」作成を開始する場合：

 を押す

☞ 作成の設定内容を変更・取り消しするには

手順 ③ のあと、「設定変更」または「作成取消」を選び、[決定] を押す

☞ 作成が終了しているか確認するには



スマホ転送番組一覧（→133）で「作成待ち」が表示されている場合、スマホ転送番組の作成は終了していません。

☞ お知らせ

- ダビングできない番組の場合、スマホ転送番組は作成できません。
- HDDの残量が少ない場合や、HDDの番組数がいっぱいの場合、スマホ転送番組は作成できません。
- スマホ転送番組は以下の設定に従い作成されます。
 - ・二重音声：「ハイビジョン画質／スマホ転送番組の記録設定」（→148）
 - ・マルチ音声：「信号切換」の「音声」（→94）
 - ・チャプター：作成元になる番組のチャプター情報
 - ・字幕：「信号切換」の「字幕」（→94）
(「電源 [切] 後」作成する場合、電源「切」時の「信号切換」の設定に従い作成されます)

録画した番組をモバイル機器に転送する（続き）

ネットワーク経由で転送する

スマートフォン用アプリ「どこでもディーガ」で持ち出して視聴する場合は、以下の設定を行ってください。

- ネットワーク接続と設定をする（**→27、32**）
 - お部屋ジャンプリンクの設定を変更する場合（**→165**）

転送操作はモバイル機器側で行います。操作方法は、ご使用になるモバイル機器のアプリなどをご確認ください。

スマホ転送番組の確認と消去

- ① ホーム を押す
- ② 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す
 - 表示がない場合は[◀◀ スキップ][▶▶ スキップ]でページを切り換えてください。
- ③ 「残す」を選び、決定 を押す
- ④ 「スマホ転送番組一覧」を選び、決定 を押す

サブ
メニュー

- ⑤ 番組を選び、S を押す



- ⑥ 項目を選び、決定 を押す（**→ 下記**）

スマホ転送番組 消去	スマホ転送番組を消去します。
番組内容	番組の情報を確認します。
視聴制限一時 解除	「HDD 番組の視聴制限」 (→149)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

転送（ダビング）の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているので、転送（ダビング）できる回数に限りがあります。

- 通常の番組をダビングした場合やスマホ転送番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は1回減ります。
- ①表示のある番組をダビング（転送）すると、通常の番組・スマホ転送番組はHDDから消去されます。



ダビングの残り可能回数は同じです。

お知らせ

- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送するスマホ転送番組の合計より少し大きくなります。
- 通常の番組を再生中は、転送できません。
- 録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置（**→91「継ぎ再生メモリー機能」**）とチャプターマーク（**→101**）を通常の番組から引き継ぎます。
 - ・作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
 - ・位置は多少ずれる場合があります。
- 通常の番組がプロテクト設定（**→97**）されている「1回だけ録画可能」のスマホ転送番組は、転送できません。

ビエラリンク (HDMI) を使う

ビエラリンク (HDMI) (HDAVI Control™) とは
本機と HDMI ケーブル (別売) を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン一つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

- すべての操作を保証するものではありません。
- ビエラリンク (HDMI) を使うには、HDMI ケーブルを HDMI 映像・音声出力端子に接続してください。
(→29)

■ 設定

- ①「ビエラリンク制御」(→151) を「入」にする
(お買い上げ時の設定は「入」)
- ②「ビエラリンク録画待機」(→151) を「入」にする
・「クイックスタート」(→146) は自動的に「入」になります。(待機時消費電力は増えます)
- ③接続した機器側 (テレビなど) で、ビエラリンク (HDMI) が働くように設定する
- ④すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切／入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する
(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

○ お知らせ

- ビエラリンク (HDMI) は、HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したもので。他社製 HDMI CEC 対応機器とのすべての動作を保証するものではありません。
- 本機はビエラリンク (HDMI) Ver.5 に対応しています。ビエラリンク (HDMI) Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。
- 「ビエラリンク録画待機」(→151) が「入」の場合は、本機の電源を切ってもテレビの無信号自動オフ機能は働きません。

テレビ (ビエラ) 側から録画や録画予約、番組キープをしたときの本機の動作

■ 録画モード・録画先

- 録画 (「見ている番組を録画」など) :
 - ・本機であらかじめ設定された録画モードで HDD に録画
- 録画予約 / 番組キープ :
 - ・DR モードで HDD に録画

■ 録画予約の登録の確認

- 本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に“ACCEPT”が表示されます。
- 本機の予約一覧画面で予約内容を確認できます。
予約が登録されていない場合、テレビ側で予約の録画先 (ディーガなど) が正しいか確認してください。

■ 探して毎回予約の取り消し

- 「探して毎回予約」で予約した場合は、テレビ側の予約も取り消してください。

■ 録画ができない場合

- 「見ている番組を録画」では同時録画はできません。

詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をご覧ください

表示マークについて

〔本機のリモコン〕 : 本機のリモコンで操作できます。

〔テレビのリモコン〕 : テレビのリモコンで操作できます。

〔Ver.○以降〕 : 接続している機器が表示のバージョン以降のビエラリンク (HDMI) に対応している場合に操作できます。
(テレビによっては、対応していない機能もあります)

ビエラリンク (HDMI) を使う (続き)

入力自動切り換え / 電源オン連動

- ・テレビの電源が待機状態のときのみ

(本機のリモコン)

Ver.1以降

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現れます。

[▶ 再生]	[予約確認]	[検索]*
[録画一覧]	[ホーム]	[新番組]
[番組表]	[写真]	[音楽]

* 本機の電源「切」時は働きません。

電源オフ連動

(本機のリモコン) (テレビのリモコン)

Ver.1以降

リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

お知らせ

- ・ダビング、ファイナライズ、消去、書き出し、取り込み、[ワンタッチ予約 録画 ●]を押して録画などの実行中は本機の電源は切れません。

テレビのリモコンでディーガを操作

(テレビのリモコン)

Ver.1以降

テレビのリモコンで、本機を操作することができます。

- ・本機の再生中に、テレビのリモコンの [サブメニュー] を押すと、右記の画面で本機を操作できます。
(接続したテレビによっては、画面の表示が一部異なる場合があります。)



テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

(本機のリモコン) (テレビのリモコン)

Ver.2以降

テレビとアンプと接続した場合、テレビの電源を切った状態で音楽再生を続けることができます。

音楽再生中に、 を押す

- ・テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。

番組ぴったりサウンド (オートサウンド連携)

(本機のリモコン) (テレビのリモコン)

Ver.3以降

テレビとアンプと接続している場合、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。

- ・VR方式のディスクや他の機器で記録したディスクでは働きません。

設定を有効にするには

- ・「オートサウンド連携」(→151) を「入」にする

番組キープ

(テレビのリモコン)

Ver.3以降

視聴中の番組を HDD に一時的に記録して、あとから続きを視聴することができます。

(番組キープ終了後は削除されます)

お知らせ

- ・チャンネルや入力の切り替え、または電源を切った場合、番組キープは終了し、一時的に記録した番組も削除されます。
- ・以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできます。
 - ・番組キープと 2 番組録画の同時実行中に、別の番組の予約録画開始時刻になったとき
 - ・番組キープが 8 時間を超えたとき、または HDD の容量がなくなったとき
- ・本機が番組を録画できない状態のときは、番組キープを実行することはできません。
- ・ビエラリンク (HDMI) Ver.5 のテレビでも、番組キープに対応していない場合があります。

ECO スタンバイ

(テレビのリモコン)

Ver.4以降

リモコンを使ってテレビの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

- ・電源「切」時に時計表示されなくなります。

設定を有効にするには

- ・「ECO スタンバイ」(→151) を「入」にする

お部屋ジャンプリンクを使う

お部屋ジャンプリンク機能

DLNA 対応機器に記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した機器から行う機能です。

コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- 本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。

- サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツや再生できる操作などは異なります。

- 当社製 DLNA 対応機器および再生できるコンテンツについては、当社ホームページをご覧ください。

https://panasonic.jp/support/r_jump/

- 他社製 DLNA 対応機器では使用できない場合があります。

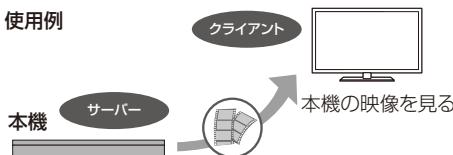
別室のテレビなどで見る (本機をサーバーとして使用する)

HDD **[USB-HDD]** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

DLNA 対応機器から、本機の HDD に録画した番組・写真・音楽の再生や、USB-HDD に録画した番組の再生ができます。また、本機が受信する放送の視聴もできます。

- ネットワーク接続と設定をする (→26、27、32)
- お部屋ジャンプリンクの設定を変更する場合 (→165)
- 「お部屋ジャンプリンク／スカパー！ Link（録画）設定」(→154) の「サーバーモード」設定によって、クライアント側で再生できるコンテンツは異なります。

使用例



録画番組や AVCHD の再生、放送中の番組を見る

- 「サーバーモード」(→154)を「モード 1」に設定する
- テレビなどのクライアント機器側で操作する

録画番組・AVCHD・動画・写真や音楽を再生、放送中の番組を見る

- 「サーバーモード」(→154)を「モード 2」に設定する
- テレビなどのクライアント機器側で操作する

お知らせ

- 本機に接続して同時に操作できるのは 2 台までです。
- 4K 放送の番組は大量のデータを転送するため、無線 LAN では安定して再生できない場合があります。有線 LAN で接続することをお勧めします。

「ビデオを見る」のとき

- 編集はできません。(当社製機器の場合、番組の消去のみできます)
- 取り込んだ MP4 は再生できません。
- 4K 放送の番組を再生しているときは、他の機器から再生できません。

「放送を見る」のとき

- 本機のチャンネル設定 (→161) で登録しているチャンネルのみ視聴できます。
- 4K 放送の放送中の番組を見ることはできません。
- 本機が 2 番組録画中の場合、本機側で放送やチャンネルの切り替えはできません。
- 視聴する番組は、実際の放送よりも数秒遅れます。
- 他社製機器によっては、放送番組を視聴することができない場合があります。

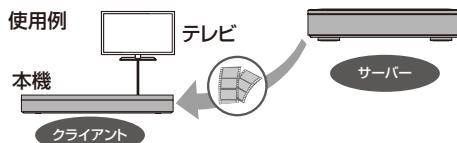
映像が途切れたり、停止する場合

- ネットワーク通信速度が低い可能性があります。「お部屋ジャンプリンク／スカパー！ Link（録画）設定」の「通信／映像品質の設定」(→165) を「オート」または「モード 2」～「モード 5」に設定すると、番組の画質を調整し、改善される場合があります。ただし、画質を調整すると、以下の制限があります。
 - 早送り・早戻しができない
 - XP、SP、LP、FR モードの番組は設定にかかわらず画質調整を行いません。
- 無線 LAN 使用時に映像の途切れなどが起こる場合、本機や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかをお確かめください。それでも改善できない場合は、有線 LAN で接続してください。
- 無線 LAN はすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかつたり接続できない場合があります。
- 本機で BD-Live などを利用しているときは、映像が途切れたり、停止する場合があります。

お部屋ジャンプリンクを使う（続き）

別室の機器の映像を見る (本機をクライアントとして使用する)

本機からお部屋ジャンプリンク対応ディーガなどのHDDにある番組などを再生することができます。



- ネットワーク接続と設定をする（→26、27、32）
- 接続した機器側で、本機を登録する（当社製機器の場合は「お部屋ジャンプリンク」または「ピエラリンク（LAN）」で登録する）
(本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順1～3の操作を行ってください)

1 ホームを押す

2 「お部屋ジャンプリンク」を選び、(決定)を押す

- 表示がない場合は【◀◀スキップ】
【▶▶スキップ】でページを切り換えてください。

3 接続する機器を選び、(決定)を押す

例)



- 選んだ機器の画面が表示されます。
画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- お部屋ジャンプリンク対応ディーガの番組を再生する場合、【音声】または【字幕】を押すと、「音声切換」「字幕切替」や「電波状態表示」（無線接続時のみ）を行うことができます。
- 接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことがあり、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- 本機の録画一覧の「家じゅう」ラベルを選択すると、お部屋ジャンプリンクで接続されたすべての機器の録画番組をまとめて表示できます。（→82）
- 再生機器によっては、早送りなど再生中の操作が正しく働かない場合があります。

よくあるご質問

お部屋ジャンプリンクがつながらない

- お部屋ジャンプリンクを使うためにはネットワーク接続が必要です。ネットワーク設定を行い、画面の案内に従って操作してください。（→32）

パソコンや他社機器とお部屋ジャンプリンクはできますか

- DLNAに対応した他社のテレビやレコーダーは番組の再生が可能です。パソコンはデジタル放送番組を再生するための専用ソフトが必要です。ただし、接続する機器やコンテンツによって再生できない場合があります。

録画中でもお部屋ジャンプリンクはできますか

- 同時動作の制限によりお部屋ジャンプリンクができない場合があります。（→174）

お部屋ジャンプリンク再生画面が途中で止まったり、動いたりする

- 無線LANをお使いの場合は、電波状態によっては安定した再生ができない場合があります。LANケーブル（有線）での接続をお勧めします。（→27）

DIGA Drive 機能を使う

[HDD]

DIGA Drive 機能を利用すると、お使いのパソコンのブラウザで以下の操作ができます。

- パソコンから本機に写真／動画、音楽をアップロードする。
- 本機に取り込んだ写真／動画、音楽をパソコンにダウンロードする。
- DIGA Drive 機能に関する情報は、下記サポートサイトをご覧ください。

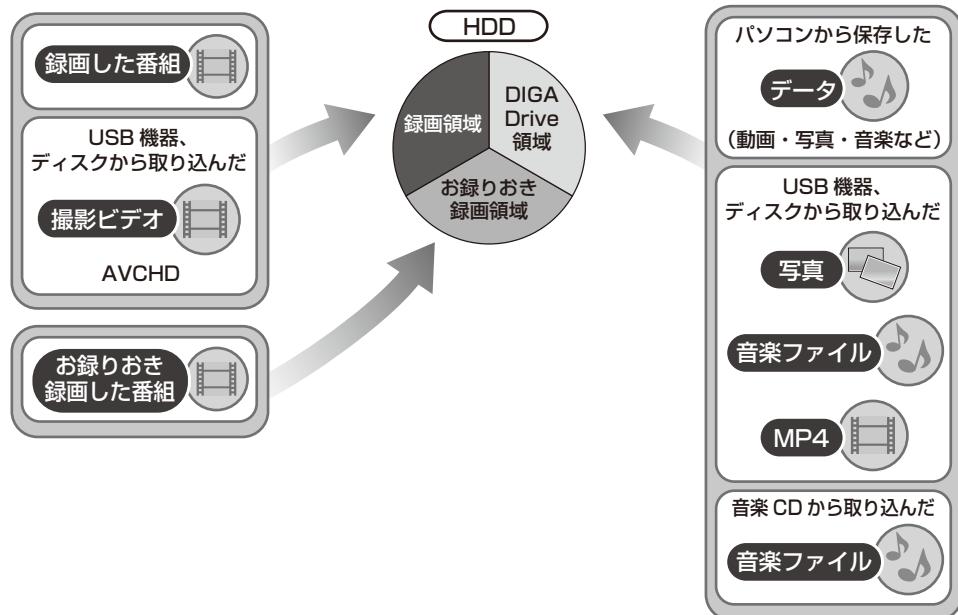
<https://panasonic.jp/support/av/diga132/>

DIGA Drive 機能を利用するには

- ネットワーク接続と設定をする (→26, 27, 32)
- 「DIGA Drive 機能」(→155)を「入」にする
「入」に設定時には、ユーザー ID とパスワードが表示されます。
ユーザー ID とパスワードはあとから変更することができます。 (→155)

HDD の領域について

本機の HDD には 3 つの領域があり、保存する領域ごとに動画や写真の再生方法などが異なります。



DIGA Drive 機能を使う (続き)

各領域の特徴について

	録画領域	お録りおき録画領域	DIGA Drive 領域
記録できるコンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> •録画番組 •撮影ビデオ (AVCHD) 	<ul style="list-style-type: none"> •お録りおき番組 	<ul style="list-style-type: none"> •写真 •MP4 •データ (動画・写真・音楽など)
記録方法	<ul style="list-style-type: none"> •録画 •ダビング •動画の取り込み (\Rightarrow114) 	<ul style="list-style-type: none"> •お録りおき録画 (\Rightarrow73) 	<ul style="list-style-type: none"> •パソコンから保存 •動画の取り込み (\Rightarrow118) •音楽ファイルの取り込み (\Rightarrow130) •音楽 CD の取り込み (\Rightarrow127) •写真の取り込み (\Rightarrow118) •スマートフォンで撮影した写真・動画を受信 (\Rightarrow125)
本機での再生方法	<ul style="list-style-type: none"> •「録画一覧」(\Rightarrow83) 	<ul style="list-style-type: none"> •「録画一覧」(\Rightarrow87) 	<ul style="list-style-type: none"> •「写真／動画を見る」 (\Rightarrow119) •「音楽を聴く／音楽を取り込む」(\Rightarrow128)
パソコンからの表示	×	×	○
ディスクへの書き出し	○ (\Rightarrow 104、107)	○ (\Rightarrow 87)	○ (\Rightarrow 123、130)
USB-HDD への書き出し	○ * ¹ (\Rightarrow 107)	○ (\Rightarrow 87)	○ * ² (\Rightarrow 123、130)
他のDIGA Drive機能対応機器での再生	×	×	×
お部屋ジャンプリンク (「サーバーモード」 (\Rightarrow 154) が「モード1」 のとき)	○	○	×
お部屋ジャンプリンク (「サーバーモード」 (\Rightarrow 154) が「モード2」 のとき)	○	○	○

*1 撮影ビデオ (AVCHD) は SeeQVault フォーマットの USB-HDD のみ

*2 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD のみ

DIGA Drive 機能を使う（続き）

パソコンから本機にデータを保存する

本機と宅内ネットワーク接続したパソコンからデータを保存します。

1 ブラウザを起動する

2 アドレスを入力する

- アクセス用のアドレスは、「アクセス用 URL 表示／ユーザー ID 表示」（→155）で確認してください。

3 ユーザー名とパスワードを入力する



- ユーザー名とパスワードは以下のように入力してください。

ユーザー名：

「アクセス用 URL 表示／ユーザー ID 表示」（→155）に表示されるユーザー ID

パスワード：

「DIGA Drive 機能」（→155）を「入」設定時に表示されるパスワード

パスワードを忘れた場合は、「パスワード変更」（→155）で再設定してください。

4 本機にパソコンのデータを保存する

ブラウザ上での操作方法は、ブラウザ右上にあるメニューの「ヘルプ」をご確認ください。



お問い合わせ

お知らせ

- DIGA Drive 領域に保存できるフォルダとファイルの合計は、60000 までです。
- 本機が自動的に作成したフォルダ内のデータを編集すると正しく表示されない場合や本機で再生できない場合があります。

保存した動画ファイル（MP4）や写真を本機で再生する

パソコンから保存した動画ファイル（MP4）や写真を本機で再生します。

- ファイルによっては再生できないものもあります。
- 「写真や動画を再生する」（→119）をご覧ください。

保存した音楽ファイルを本機で再生する

「音楽ファイルを再生する」（→128）をご覧ください。

ミュージックサーバー機能を利用する

ミュージックサーバー機能は、本機の HDD の DIGA Drive 領域に保存した音楽ファイルを、本機と宅内ネットワーク接続した DLNA 対応のオーディオ機器で再生できる機能です。

- ネットワーク接続したパソコンから本機の HDD の DIGA Drive 領域に音楽ファイルをコピーしてください。（→左記）
- オーディオ機器の再生方法は、再生する機器の説明書をご覧ください。

本機で記録できるようにする（フォーマット）

[BD-RE] [BD-R] [-R] [-RW]

新品または他の機器で使っていたディスク



そのままでは本機で記録できない場合があります。

フォーマット
すると



本機で記録できる
ようになります。



フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。

（番組や写真、ディスクにプロジェクトを設定しても消去されます）

■ ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。

記録方式によって、他の機器で再生する場合の互換性が異なります。（→36）

1 **ホーム** を押す

2 「メディアを使う」を選び、 **決定** を押す

- 表示がない場合は [**◀◀ スキップ**] [**▶▶ スキップ**] でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ（BD）／DVD」を選び、 **決定** を押す

4

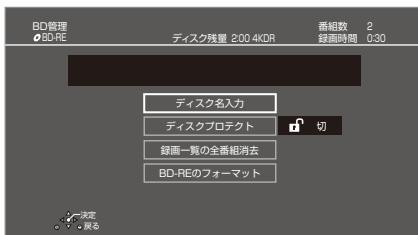
「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、 **決定** を押す

- 未使用的 [-R] を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。（→手順 6 へ）

5

フォーマットの項目を選んで、 **決定** を押す

例) **[BD-RE]**

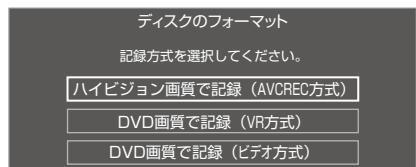


6

画面の指示に従って、フォーマットする

- DVD の場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例) **[-R]**



お知らせ

- フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。
- [-R] 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」（→142）を行うと記録方式を変更できません。
- [-RW] 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- [HDD] フォーマットは「HDDのフォーマット」（→149）で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 録画一覧の全番組消去

[BD-RE] [BD-R] [-R] [-RW]

(ファイナライズしたディスクではできません)

1 ホームを押す

2 「メディアを使う」を選び、決定を押す

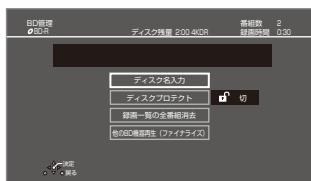
- 表示がない場合は [**◀◀ スキップ**] [**▶▶ スキップ**] でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、決定を押す

4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、決定を押す

5 操作したい項目を選んで、決定を押す
(→下記)

例) **[BD-R]**



ディスク名入力

[BD-RE] [BD-R] [-R] [-RW]

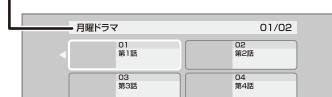
☞ 文字入力については (→144)

入力したディスク名は、「BD管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。



-R V [-RW V]

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。



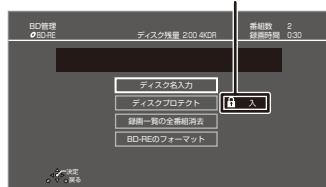
ディスクプロテクト

[BD-RE] [BD-R] [-R AVCREC] [-R VR] [-RW VR]

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

⑥ 「プロジェクト設定」または「プロジェクト解除」を選び、決定を押す

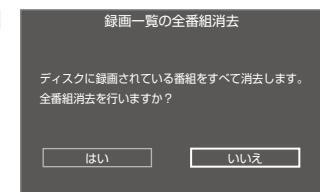
プロジェクト設定すると「**🔒 入**」が表示



録画一覧の全番組消去

[BD-RE] [BD-R] [-R AVCREC] [-R VR] [-RW VR]

例) **[BD-RE]**



⑥ 「はい」を選び、決定を押す

⑦ 「実行」を選び、決定を押す

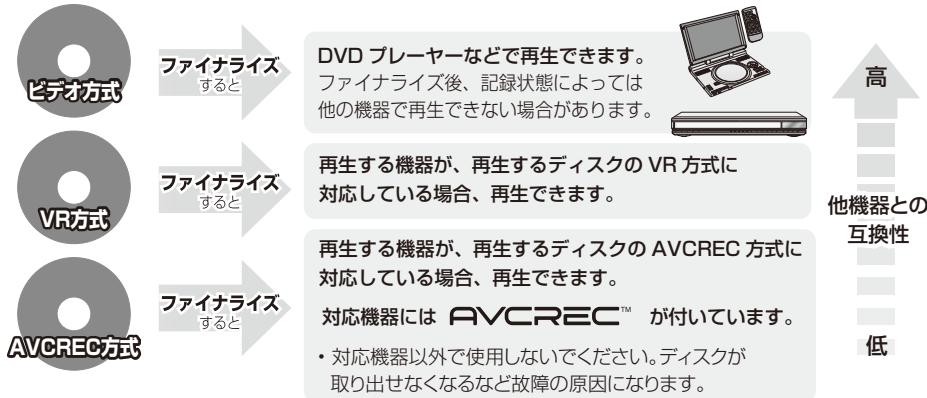
お知らせ

- **[BD-RE] [BD-R]** 写真は消去されません。

- **[BD-R] [-R AVREC] [-R VR]** 消去しても残量は増えません。

ファイナライズ

[BD-RE] ファイナライズは不要です。



142 ページ手順 1 ~ 5 のあとに操作します。

トップメニュー

[R] [RW]

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

- ⑥ お好みの背景を選び、**(決定)** を押す



- トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。（→99「サムネイル変更」）

ファーストプレイ選択

[R] [RW]

ファイナライズ後のディスク再生の始め方を設定できます。

- ⑥ 「トップメニュー」または「タイトル 1」を選び、**(決定)** を押す

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生（ファイナライズ）
他の BD 機器再生（ファイナライズ）

[R] [RW] [BD-R]

- ⑥ 「はい」を選び、**(決定)** を押す
⑦ 「実行」を選び、**(決定)** を押す

お願ひ

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。
ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできませんことがあります。
- ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- **[RW V]** フォーマット（→141）すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- **[RW VR]** 「ファイナライズ解除」（→下記）を行うと、記録や編集ができます。
- **[BD-R]** ファイナライズすると、HDD へのコピー制限のある番組の移動はできません。

ファイナライズ解除

[RW VR]

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

- ⑥ 「はい」を選び、**(決定)** を押す
⑦ 「実行」を選び、**(決定)** を押す

お知らせ

- 本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

文字入力

本機では、表示された画面によって文字入力方法が異なります。

文字パネルから文字入力する

(番組名、ディスク名、アルバム名、マイラベル名、フリーワード検索などを入力するとき)



入力できる文字の種類

- 1 青 赤 緑 黄** で文字の種類を選ぶ
 •漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

- 2 入力する文字を選び、(決定)を押す**
 •この手順を繰り返し、文字を入力します。
 •ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(→右記)
 •文字入力時に、変換候補に予測変換候補が表示されます。変換候補から選んで【決定】を押すと、その文字が入力されます。

- 3 入力が終わったら、■停止 を押す**

- 4 「はい」を選び、(決定)を押す**

数字ボタン [1] ~ [9]、[11] でも文字を入力できます。
 例：ひらがな「す」を選ぶ場合

- ① [3] を押す
 - 「さ」行に移動します。
- ② [3] を 2 回押し、[決定] を押す
 - 「す」が入力文字表示欄に表示されます。

お知らせ

- ビエラリンクで操作した場合は、[▶再生]などのアイコンが表示されないことがあります。その場合は [▲][▼][◀][▶] ボタンで機能を選択してください。

ひらがなを確定する

[▶▶早送り] を押す

ひらがなを漢字変換する

[▶再生] を押したあと、変換候補を選び、[決定] を押す
 •[戻る] を押すと、入力画面に戻ります。
 •JIS 第1水準、JIS 第2水準の漢字コードを入力可能

文字を消す

[■一時停止] を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

- ①語句を入力したあと、「語句登録」を選び、[決定] を押す
- ②「登録」を選び、[決定] を押す

語句を呼び出す

- ①「語句一覧」を選び、[決定] を押す
- ②語句を選び、[決定] を押す

語句の消去

- ①「語句一覧」を選び、[決定] を押す
- ②語句を選び、[黄] を押す
- ③「消去」を選び、[決定] を押す

リモコンボタン方式で文字入力する

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。

(番組名やディスク名はこの方法では入力できません)



1 ~ 12 で文字を入力する

- ボタンを押すたびに、文字が変わります。
 (例：「い」を入力するときは [1] を 2 回押す)
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて[10]を押してください。

設定を変える

1 ホーム を押す

2 「設定」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は【◀◀ スキップ】
【▶▶ スキップ】でページを切り換えてください。

3 変更したい項目を選び、決定 を押す



4 設定項目を選び、決定 を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

機器設定

〔〕はお買い上げ時の設定です

自動電源オフ

【6 時間】

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本機の操作が終了してから 2 時間後または 6 時間後に電源が切れます。(電源は、録画など本機が動作中は切れません)

リモコン設定 (→ 162)

リモコンモード 【リモコン 1】

リモコンのテレビ操作設定

リモコンモード不一致お知らせ 【入】

日時設定

本機はデジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に日時を修正しますので、通常は日時設定の必要はありません。

本体表示窓に右記の表示が出ている場合は、アンテナケーブルの接続を確認してください。



音声ガイドの設定

番組表や録画一覧の内容、選局時の番組名、エラーメッセージなどを音声や操作音でお知らせします。

● 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

●「音声ガイド機能」を「入」に設定すると、「HDMI 出力」(→ 150) は自動的に「PCM」になります。(「切」に戻しても「PCM」のままで)

音声ガイド機能 【切】

読み上げ音量 【標準】

読み上げ速度 【標準】

設定を変える (続き)

クイックスタート設定・本体時計表示

- クイックスタート** 【切 (時計表示無し)]
 「入」にすると、電源「切」状態からの起動を高速化します。(テレビの種類によっては、表示が遅れることがあります)
- 待機時消費電力は増えます。
 - 本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ(1週間に1回程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません)
 - 「クイックスタート」を「切」に設定すると、以下の設定は自動的に「切」になります。
 - 「ピエラリンク録画待機」(→151) :「切」
 - 「宅外リモート接続機能」(→154) :「切」
 - 「お部屋ジャンプリンク機能」(→154) :「切」
 - 「DIGA Drive 機能」(→155) :「切」
 - 「ネットワークカメラ連携機能」(→155) :「切」
 - 「家電の便利なお知らせ設定」(→右記) :「切」
 - 「切 (時計表示無し)」にすると、電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

クイックスタートモード

- クイックスタート(→上記)が「入」時の設定をします。
- 「標準」の場合
 - テレビの無信号自動オフ機能が働かない場合があります。
 - 電源「切」時に本体表示窓が点灯します。
 - 「省エネ (時計表示無し)」の場合
 - 「標準」より起動が遅くなりますが、待機時の消費電力は少なくなります。
 - 電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

節電待機モード

【モード 1】

「節電待機」(→43)で電源を「切」にしたときの待機モードを設定します。

画面表示動作 [オート]

【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能

【入】

- 通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。
 「入」に設定すると、以下のような動作を行います。
- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り替えます。

お知らせ設定

「入」にすると、電源「入」時に便利なお知らせを表示することができます。

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→左記)は自動的に「入」になります。

家電の便利なお知らせ設定

【切】

「入」にすると、家電の便利なお知らせを受けることができます。

ディーガの便利なお知らせ設定

【入】

録画一覧や番組表を表示するときにお知らせを受けることができます。

お録りおき予約重複通知設定

【入】

お録りおき予約(→73)で予約重複のお知らせを受けることができます。

本体表示窓の明るさ

【常時 明】

本体表示窓の明るさを調節します。

- 電源「切」時の時刻表示は、「クイックスタート」、「クイックスタートモード」の設定に従って点灯・消灯します。(→左記)

認証 IDについて

ソフトウェア更新 (ネットワーク)

本機をインターネット接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかを確認して、ソフトウェアの更新を行います。

- 更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。

- 本機の電源を切る
- 電源プラグをコンセントから抜く

ソフトウェア自動更新

【入】

自動でソフトウェアの更新や確認を行います。
 (更新は電源「切」時に行います)

ソフトウェア更新の実行

手動でソフトウェアの更新をします。

診断コード (→183)

設定を変える (続き)

HDD・USB-HDD・再生記録設定

【】はお買い上げ時の設定です

再生設定

DVD-Video の視聴制限^{*1} 【8 すべて視聴可】
DVD ビデオの視聴制限のレベルを設定できます。
この設定したレベルによって制限対象となる DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。
設定変更や解除のためには暗証番号の入力が必要です。

BD-Video の視聴可能年齢^{*1} 【無制限】
年齢制限がある BD ビデオ（Ultra HD ブルーレイも含む）の視聴可能な年齢を設定できます。
この設定した年齢によって制限対象となる BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。
●「年齢入力」を選んで【決定】を押すと、【1】～【10】で年齢を入力できます。
設定変更や解除のためには暗証番号の入力が必要です。

BD-Live インターネット接続^{*1} 【有効（制限付き）】
BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

MASTER GRADE VIDEO CODING 【入】
(MGVC 対応の **BD-V**)
スタジオマスターと同等の滑らかで質感豊かな高画質映像で再生します。（→90）

3D ディスクの再生方法 【3D 再生】
3D ディスクの再生方法を選びます。

音声言語^{*2} 【日本語】
再生時の音声を選びます。
●「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語^{*2}

【オート】

再生時の字幕言語を選びます。

- 「オート」は、「音声言語」の言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語^{*2}

【日本語】

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード

【切】

BD-RE **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC**

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。

- 「入」はハイビジョン動画（AVCHD）を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

次エピソード自動再生

【入】

（録画一覧のまとめ番組内から番組の再生を開始したときのみ）

「入」にすると、毎週放送されるシリーズ番組の再生が終了すると、自動で次回放送話の番組が引き続き再生されます。

※1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って【1】～【10】で暗証番号を入力してください。

暗証番号は忘れないでください。

※2 「その他＊＊＊＊」の場合、＊には【1】～【10】で言語番号（→167）を入力してください。

選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ言語を切り換えるものもあります。

設定を変える (続き)

記録・ダビング設定

ハイビジョン画質・スマホ転送番組の記録設定

二重音声記録時の音声選択 【主音声 (L/R)】

二重音声（二ヵ国語）番組を録画やダビングする場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

480i の映像をハイビジョン画質で記録する場合のアスペクトを設定します。

DVD-Video 記録の設定 **[R V] [RW V]**

二重音声記録時の音声選択 【主音声 (L/R)】

二重音声（二ヵ国語）番組を記録する場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

記録時のアスペクトを設定します。

4KDR のダビング方式 【ダビング方式 1】

4KDR で録画した番組をブルーレイディスクに高速ダビングするときのダビング方式を設定します。他機器で再生できないときは、設定を変更してダビングすると再生できる場合があります。

4K 画質の音声 ch 数優先 【切】

「切」の場合、記録される音声は AAC 5.1ch または AAC 2ch のいずれか一方のみです。

「入」の場合、AAC 22.2ch または AAC 7.1ch の音声も記録できますが、実際に録画できる時間は残量表示よりも短くなることがあります。

1080p 画質の HDR モード

【自動】

スマホ転送番組 (1080p) をお使いのスマートフォン端末で再生すると映像が白浮きする場合があります。「HDR 切」に設定すると改善される場合があります。

高速ダビング速度

【最高速モード】

高速モードでのダビング速度を設定します。
(高速記録対応ディスクの場合など)

ムーブバックエラー制御

【中断】

ムーブバック中にディスクの汚れや劣化によるエラーを検出したときの制御を設定します。

自動チャプター

【入】

デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。

- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

動画編集時の変換画質

【高画質モード】

動画の編集 (→121) を行うときの画質を設定します。

再放送の録画

【録画しない】

「おまかせ録画」(→69) や「カテゴリーまとめて予約」(→71)、「お録りおき予約」(→73) で一度録画した番組の再放送を録画するかどうかを設定します。

設定を変える（続き）

HDD 番組の視聴制限*

【無制限】

年齢制限がある番組の視聴可能な年齢を設定できます。この設定した年齢によって制限対象となる番組は録画一覧で表示されなくなります。表示するためには視聴制限一時解除（→84）で暗証番号の入力が必要です。

HDD 設定

HDD 管理

録画一覧の全番組消去

番組をすべて消去します。

ユーチューブ共有フォルダの全消去

DIGA Drive 機能（→138）でパソコンから本機に保存したファイル、取り込んだ写真、取り込んだMP4 動画ファイル、音楽 CD から取り込んだ曲をすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

以下の手順で HDD のフォーマットを実行することもできます。

- ① [決定] と [青] と [黄] を同時に 5 秒以上押す
 - ・本体表示窓に “00 RET” が表示されます。
- ② 本体表示窓に “16 NO1” が表示されるまで [▶]（リモコンの右ボタン）を数回押す
- ③ [■ 停止] を 3 秒以上押す
- ④ 本体表示窓に “17 FMT” が表示されたら、[決定] を 3 秒以上押す
 - ・フォーマットが完了すると “END” が表示されます。

USB-HDD 設定

USB-HDD の登録（→40）

USB-HDD を登録します。

USB-HDD の取り外し（→41）

USB-HDD を本機から取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずに USB-HDD を取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB-HDD 管理

録画用 USB-HDD のフォーマット

写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット

SeeQVault 対応のフォーマット（→41）

USB-HDD の初期化を行います。

USB-HDD 登録の取り消し（→40）

USB-HDD の登録を取り消します。

すべての USB-HDD 登録の取り消し（→40）

登録されているすべての USB-HDD の登録を取り消します。

- ※ 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [1] ～ [10] で暗証番号を入力してください。
暗証番号は忘れないでください。

設定を変える (続き)

映像・音声設定

【】はお買い上げ時の設定です

スチルモード

【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生

【入】

部分消去した箇所などを滑らかに再生します。

- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

音声のダイナミックレンジ圧縮

【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくなります。

音声が Dolby Audio™ (Dolby® Digital, Dolby Digital Plus™、Dolby® TrueHD) のときに有効です。

- 「オート」は、Dolby® TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

HDMI 出力

Dolby Audio	【オート】
DTS/DTS-HD	【オート】
AAC	【オート】
AAC (4K 放送)	【オート】

音声の出力方法を選びます。

- 出力される音声については、「デジタル出力される音声と接続・設定の関係」(→202) をご覧ください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音 (副音声を含む BD-V)

【自動切換】

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

• Dolby Atmos® や DTS:X®、AURO-3D® に対応した BD ビデオを楽しむには

上記音声出力に対応した AV アンプなどに HDMI ケーブルで接続し、以下のように設定してください。

- Dolby Audio :「オート」
- DTS/DTS-HD :「オート」
- BD ビデオ副音声・操作音 :「切」

ダウンミックス

【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 「HDMI 出力」(→上記) が「オート」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
- 以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
 - AVCHD 再生時
 - BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時

シアターモード

【切】

市販の BD ビデオや DVD ビデオ、音楽 CD、お部屋ジャンプリンクの再生時に HDD や USB-HDD の回転を止めて、より視聴に適した環境で映画や音楽を楽しむことができます。

音声ディレイ

【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

設定を変える (続き)

HDMI 接続・ビエラリンク設定

【】はお買い上げ時の設定です

3D 設定

3D 番組の出力方法

【3D】

3D 番組を 2D 再生します。

3D 再生時の注意表示

【入】

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

ビエラリンク設定

ビエラリンク制御

【入】

ビエラリンク (HDMI) に対応した機器と HDMI 端子で接続時、連動操作の設定をします。

ビエラリンク録画待機

【切】

ビエラの電源が「入」のときに、本機がすぐに録画できる状態に設定します。

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→146) は自動的に「入」になります。

オートサウンド連携

【入】

ビエラリンク (HDMI) Ver. 3 以降に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り替えます。

ECO スタンバイ

【入】

ビエラリンク (HDMI) Ver. 4 以降に対応したビエラと接続時、ビエラの電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

- 「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に、「クイックスタート」(→146) が「切 (時計表示無し)」のときと同じように動作します。

ビエラの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。

HDMI 接続設定

出力解像度

【オート (※)】

接続した機器が対応している項目に「*」が表示されます。「*」の付いていない項目を選択すると、映像が乱れることがあります。

- 4K 対応テレビと接続する場合、通常は「オート(※)」を選択してください。

- ※ 最高解像度を表示します。

HDMI 4K/60p 伝送モード

【出力なし】

4K/60p 対応テレビに接続し、「出力解像度」(→上記) を「オート」に設定したときに、自動で 4K/60p 出力します。

接続するテレビに合わせて設定します。

- 「高速 (18Gbps)」:
 - 4K/60p (4:4:4/8 bit) または (4:2:2/12 bit) 対応テレビと接続時
 - ・ HDMI ケーブルが 18 Gbps に対応していない場合は、映像が正常に出力されません。
- 「通常 (10.2Gbps)」:
 - 4K/60p (4:2:0/8 bit) 対応テレビと接続時

24p 出力 [BD-V] [AVCHD]

【オート】

映画など 24p で記録された素材を再生時に、自動で 24p 出力します。

- 4K/24p 対応テレビと接続している場合
 - 「出力解像度」(→上記) を「オート」に設定時に 4K/24p で出力されます。
- 1080/24p 対応のテレビと接続している場合
 - 「出力解像度」(→上記) を「オート」または「1080i 固定」、「1080p 固定」に設定時に 1080/24p で出力されます。

24p 以外で記録された素材は 60i または 60p で出力されます。

設定を変える (続き)

HDR10 + 【入】
シーンごとにテレビ側で最適なトーンマッピングを自動的に調整します。

HDMI 詳細設定

カラースペース 【YCbCr (オート)】

HDMI 端子で接続時、映像信号のカラースペース変換方法を選びます。

Deep Color 出力 【オート (12bit 優先)】

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

ハイダイナミックレンジ出力 【オート】

素材や接続機器に従って HDR(ハイダイナミックレンジ) 映像で出力します。

HLG / PQ 変換設定 【切】

接続機器が HDR (HLG) 方式に対応していない場合の HDR(HLG) 方式の信号の出力方法を設定します。

25p/50p 出力 [BD-V] 【切】

25p/50p 出力対応テレビの接続時に、Ultra HD Blu-ray/BD-Video の 25p/50p/50i の素材を 25p/50p で出力します。

HDCP 出力設定 【オート】

アンプ (スピーカー) 経由で HDCP2.2 非対応のテレビと接続すると、一部の映像が黒画面になる場合があります。その場合は、「HDCP1.4 制限出力」に設定してください。

7.1ch 音声リマッピング [BD-V] 【オート】
接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、6.1 チャンネル以下の LPCM サラウンド音声を自動的に 7.1 チャンネルに拡張して再生します。
•「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。(6.1 チャンネルの場合は 5.1 チャンネルで再生します)

コンテンツタイプフラグ 【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

設定を変える (続き)

ネットワーク設定

かんたんネットワーク設定 (→32)

LAN 接続形態

【有線】

ネットワーク接続の方法を選びます。

無線設定

無線接続時の設定をします。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

- 「LAN 接続形態」(→上記) が「無線」時のみ有効

無線ネットワーク検索

WPS (プッシュボタン) 方式

WPS (PIN コード) 方式

手動設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続を行います。

- 「LAN 接続形態」(→上記) が「無線」時のみ有効

IP アドレス／DNS／プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス／DNS／プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得

【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス

サブネットマスク

ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP* サーバー機能がない場合、または、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていない場合に設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」(→左記) を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

* サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得

【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS

セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」(→上記) を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

- プロキシサーバーを設定すると、インターネットサービスが利用できなくなります。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号

【0】

接続テスト

設定を変える (続き)

宅外リモート接続設定 (→166)

宅外リモート接続機能

【切】

- ・「入」にすると、「クイックスタート」(→146) と「お部屋ジャンプリンク機能」(→下記) は自動的に「入」になります。
- ・「切」にすると、「DIGA Drive 機能」(→155) は自動的に「切」になります。

機器パスワード初期化

機器 ID 確認

お部屋ジャンプリンク／ スカパー！Link（録画）設定 (→165)

お部屋ジャンプリンク機能

【切】

- ・「入」にすると、「クイックスタート」(→146) は自動的に「入」になります。
- ・「切」にすると、「宅外リモート接続機能」(→上記) と「DIGA Drive 機能」(→155) は自動的に「切」になります。

本機の名称

サーバーモード

【モード2】

アクセス許可方法

【自動】

通信／映像品質の設定

【オート】

詳細設定

- ・画質を優先する場合は「モード1（画質優先）」を、通信安定性を優先する場合は「モード5（通信優先）」を選んでください。

機器一覧

家じゅう録画一覧設定

家じゅうラベルの表示

【切】

- ・「入」にすると、録画一覧に「家じゅう」ラベルを表示し、接続機器の録画番組の情報をHDDに書き込みます。(通常録画用HDDが容量不足の場合、「入」にはできません)

自動更新

【入】

- ・「入」にすると、録画一覧の「家じゅう」ラベルの情報を自動で更新します。
(更新は1日に1回程度、電源「切」時に行います)

接続する機器一覧

- ・「家じゅう」ラベルで番組情報を表示する機器を設定します。

録画番組の情報を消去

- ・「家じゅう」ラベルに表示されている録画番組の情報や接続する機器一覧の情報を消去します。

設定を変える (続き)

ディモーラ／使用情報の送信設定

ディモーラの機器登録を解除します。

DIGA Drive 設定

DIGA Drive 機能

【切】

- ・「入」にすると、ネットワーク接続したパソコンを操作して、写真や動画（MP4）、音楽などのファイルを本機のHDDに保存することができます。
- ・「入」にすると、「クイックスタート」（→146）と「宅外リモート接続機能」（→154）と「お部屋ジャンプリンク機能」（→154）は自動的に「入」になります。

アクセス用 URL 表示／ユーザー ID 表示

- ・本機の DIGA Drive にアクセスするための URL とユーザー ID を確認することができます。

ユーザー ID 変更

- ・ネットワーク接続したパソコンなどから本機にアクセスするときのユーザー ID を変更します。

パスワード変更

- ・ネットワーク接続したパソコンなどから本機にアクセスするときのパスワードを変更します。

DIGA Drive の HDD 使用量確認

- ・DIGA Drive領域で使用しているHDDの容量を確認します。

ネットワークカメラ連携設定

ネットワークカメラ対応機器から動画を受信する設定をします。

ネットワークカメラ連携機能

【切】

- ・「入」にすると、「クイックスタート」（→146）は自動的に「入」になります。

自動消去設定

【自動消去しない】

接続機器一覧

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

表示される番号は、「LAN 接続形態」（→153）の設定によって、以下のようになります。

- ・「有線」：背面の LAN 端子に割り当てられた番号
- ・「無線」：内蔵の無線 LAN に割り当てられた番号

放送設定

【】はお買い上げ時の設定です

かんたん設置設定

チャンネル設定などの設置設定をやり直すことができます。（→31）

放送受信設定

受信対象設定

放送視聴時や番組表で使わない放送を操作できないようにします。

- ・地上デジタルは設定できません。

BS/CS4K

BS

CS

チャンネル設定（→161）

BS/CS4K / 地上デジタル / BS / CS

設定を変える (続き)

番組表設定

G ガイド地域設定

「かんたん設置設定」(→31)を行うと、自動的に設定されます。

G ガイド受信確認

G ガイドの受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信

【切】

「入」に設定すると、インターネットを利用して1か月の番組表や注目番組を取得することができます。

- ネットワークの接続と設定(→27、32)が必要です。
- 「入」にすると、常時接続状態になります。
- 2025年9月現在、番組情報を取得できる放送局は NHK、スター・チャンネル、WOWOW のみです。

地域設定

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

県域設定

郵便番号

地域設定削除

- お買い上げ時の状態に戻ります。

受信アンテナ設定 (→159)

地上デジタル

【切】

アッテネーター

【切】

物理チャンネル選択

物理チャンネル(→160)を指定してアンテナレベル(信号品質)を確認します。

衛星

アンテナ電源

アンテナ出力

【入】

本機の BS・110 度 CS アンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択

衛星周波数

(放送局からの案内がないかぎり、変更しないでください)

ACAS チップテスト

NG の場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

デジタル放送 視聴・再生設定

字幕設定

ディスクに録画した場合、デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど(文字スーパー)を表示させるための設定です。

設定しても番組によって無効になる場合があります。

字幕

【切】

字幕言語

【日本語】

文字スーパー

【切】

文字スーパー言語

【日本語】

制限項目設定

暗証番号登録

視聴制限を利用するには暗証番号登録が必要です。
暗証番号を入力してください。



画面の指示に従って[1]～[10]を押し、暗証番号を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢

【無制限】

年齢制限がある番組の視聴可能な年齢を設定できます。この設定した年齢によって制限対象となる番組は、番組表などで「・・・」と表示され、視聴するためには暗証番号の入力が必要です。

プラウザ制限

【しない】

プラウザを利用するととき、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

暗証番号変更

暗証番号削除

選局対象

【すべて】

デジタル放送で【チャンネルへ、▽】を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されている P01～36までのチャンネルを選局します。

設定を変える (続き)

ソフトウェア更新設定

ダウンロード予約

【自動】

デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。
(→168)

- ・「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- ・「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。(→下記「放送メール」)

ボード

110度CSデジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

お録りおき設定

ドラマやアニメ番組を探して、自動で録画することができます。(→73)

メール・情報

放送メール

放送局からのお知らせ(最大31通まで保存)や、本機の機能向上のためのダウンロード情報(最新の1通のみ保存)を確認することができます。

確認したいメールを選び、を押す

お知らせ

- ・ほとんどのメールは、お客様自身で消去できません。
- ・メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。

ソフトウェア更新情報(ネットワーク)

ネットワークからダウンロードした日付を確認できます。

ACASチップ

CASモジュール識別

ACAS番号

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、ACAS番号が必要な場合に使用します。

ID表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

その他の情報を見るには

- ・[青]：本機のソフト情報を表示
- ・[赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

設定を変える（続き）

設定リセット

すべての設定リセット

日時設定以外の設定をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合や、「故障かな!?」（→183）に記載された対応以外には、実行しないでください。

以下の手順ですべての設定リセットを実行することもできます。

- ① 【決定】と【青】と【黄】を同時に5秒以上押す
 - ・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
- ② 本体表示窓に“18 NO2”が表示されるまで
 - ▶】（リモコンの右ボタン）を数回押す
- ③ ■停止】を3秒以上押す
- ④ 本体表示窓に“19 PIR”が表示されたら、【決定】を3秒以上押す
 - ・リセットが完了すると“END”が表示されます。

すべての設定リセットをすると本機のリモコンモードもリセットされます。リモコンモードを変更していた場合は、以下の方法でリモコン側のリモコンモードを変更してください。

- リモコンの【決定】と【1】を同時に3秒以上押す

部分リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ただし、以下の設定は戻りません。

- ・日時
- ・DVD-Video の視聴制限
- ・BD-Video の視聴可能年齢
- ・HDD 番組の視聴制限
- ・USB-HDD の登録
- ・HDMI 4K/60p 伝送モード
- ・LAN 接続形態
- ・無線設定
- ・IP アドレス／DNS／プロキシサーバー設定
- ・お部屋ジャンプリンク／スカパー! Link(録画) 設定の本機の名称
- ・家じゅう録画一覧設定の接続する機器一覧
- ・ネットワークカメラ連携設定の接続機器一覧
- 本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定（リモコン1）に戻ります。リモコンが動かなくなった場合（本体表示窓に“U30”と表示）、リモコンモードを変更してください。（→176）

お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報は設定リセットでは消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDD や USB-HDD の番組などは、設定リセットでは消去されません。消去するには、「HDD 設定」や「USB-HDD 設定」でフォーマットを行ってください。（→149）

利用規約／プライバシーポリシー

本機の利用規約／プライバシーポリシーを確認することができます。

設定を変える（続き）

アンテナレベル（信号品質）を確認する

アンテナレベル（信号品質）について

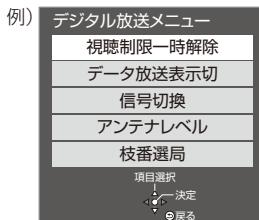
アンテナレベル（信号品質）は、アンテナの設置方向の最適値を確認するための目安であり、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表します。天候、季節、地域やアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、十分な余裕をとることをお勧めします。

1 視聴中に

 を押す

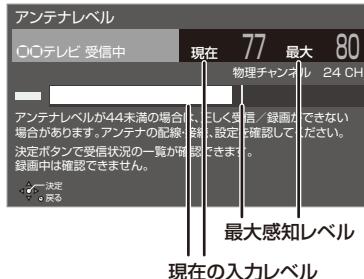
2 「デジタル放送メニュー」を選び、 を押す

3 「アンテナレベル」を選び、 を押す



4 アンテナレベル（信号品質）を確認する

例) 地上デジタル



受信アンテナ設定をする

マンションなどの共同アンテナや CATV をご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

- アンテナの説明書もご覧ください。

1 を押す

2 「設定」を選び、 を押す

- 表示がない場合は【◀◀ スキップ】
【▶▶ スキップ】でページを切り換えてください。

3 「放送設定」を選び、 を押す

4 「放送受信設定」を選び、 を押す

5 「受信アンテナ設定」を選び、 を押す

6 修正したい放送を選び、 を押す (→160 ページへ)

設定を変える (続き)

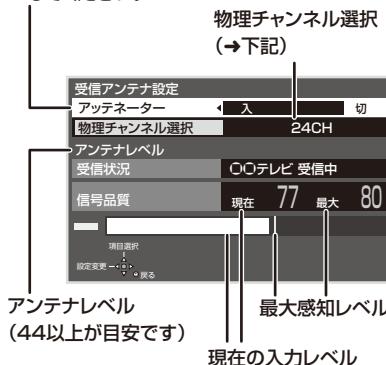
地上デジタル

「受信アンテナ設定をする」(→159)手順 1 ~ 6 のあと

7 アンテナレベル (信号品質) が最大になるように、アンテナの向きを調整する

アッテネーター

- アンテナレベルが大きくなるほうを選択してください。



物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており (13 CH ~ 62 CH)、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

- 上記画面で「物理チャンネル選択」を選び、[決定] を押し、[1] ~ [10] で物理チャンネルを入力し、[決定] を押すと、そのチャンネルのアンテナレベル (信号品質) を確認することができます。

お知らせ

- 映像が不安定になったり、「! アンテナレベルが不足しています。詳しくは [ホーム] を押してください。」の表示が出る場合は、以下をお試しいただいたあと、「チャンネル設定」の「再スキャン」を行ってください。(→161)

- アッテネーターを切り換える
- ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す状態が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

衛星

「受信アンテナ設定をする」(→159)手順 1 ~ 6 のあと

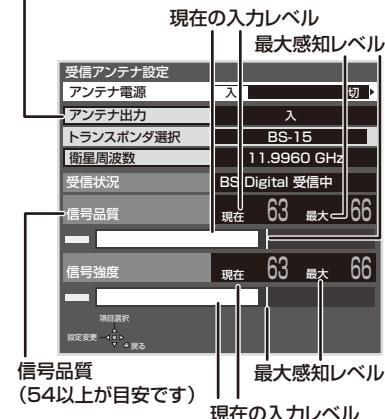
7 「アンテナ電源」を選び、「入」を選ぶ

- 衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
- テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側のアンテナ電源の設定も「入 (オン)」にしてください。

8 アンテナレベル (信号品質) が最大になるように、アンテナの向きを調整する

アンテナ出力

- 通常は「入」のまま使用してください。「切」にすると電源「切」時に、テレビなどでBS4K/110度CS4K放送、BS・110度CSデジタル放送の番組を視聴できなくなります。



「他の衛星受信中」の表示が出たとき

BS・110度CSデジタル以外の衛星放送を受信しています。再度アンテナの向きを調整してください。

お知らせ

- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がないかぎり、変更しないでください。

設定を変える (続き)

受信チャンネルを修正する

1 ホーム を押す

2 「設定」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [<◀◀ スキップ] [▶▶ スキップ] でページを切り換えてください。

3 「放送設定」を選び、決定 を押す

4 「放送受信設定」を選び、決定 を押す

5 「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

6 修正したい放送を選び、決定 を押す
(BS、CS、BS/CS4K の場合 → 右記)

7 (地上デジタルのみ)
修正する方法を選び、決定 を押す
(→ 下記または右記)

地上デジタル 初期スキャン

引っ越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

上記手順 1 ~ 7 のあと

8 お住まいの地域を選び、決定 を押す

9 受信帯域を選び、決定 を押す

10 正しく設定されていることを確認したあと、
戻る
決定 を押す

地上デジタル 再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

上記手順 1 ~ 7 のあと

8

正しく設定されていることを確認したあと、

戻る

決定 を押す

**地上デジタル マニュアル
BS、CS、BS/CS4K**

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

地上デジタルチャンネル設定			
Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	---	---	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po : 「1」～「12」の表示はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)

• 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

CH: テレビ画面や本体表示窓に表示される番号です。「——」の場合、チャンネル設定されていません。

地上デジタルの場合、左記手順 1 ~ 7 のあと

BS、CS、BS/CS4K の場合、左記手順 1 ~ 6 のあと

8

修正したい行 (Po) を選び、決定 を押す

9

表示チャンネル (CH) を修正し、

戻る

決定 を押す

10

修正が終わったら、決定 を押す

☞ チャンネルの順番を入れ換えるには

- [緑] を押す
- 入れ替えをしたい行 (Po) を選び、[決定] を押す
- 入れ替え先の行 (Po) を選び、[決定] を押す
- 入れ替えが終わったら [戻る] を押す

☞ 放送局名が表示されない場合は

再度「かんたん設置設定」を行ってください。(→155)

お知らせ

- 地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、サポートサイトの品番別サポート情報でご覧いただけます。
<https://panasonic.jp/diga/support.html>

設定を変える (続き)

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

1 ホーム を押す

2 「設定」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [<◀◀ スキップ] [▶▶ スキップ] でページを切り換えてください。

3 「機器設定」を選び、決定 を押す

4 「リモコン設定」を選び、決定 を押す

5 「リモコンモード」を選び、決定 を押す

6 「リモコン 1」～「リモコン 6」のいずれかを選び、決定 を押す

リモコン側のモードを設定する

7

1 ～ 6 のいずれかを押しながら、決定 を 3 秒以上押したままにする

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

- リモコンの数字ボタン  と決定ボタンを同時に3秒以上押し続けてください。
リモコン側の設定が完了します。

8

リモコンを本体に向けて、画面の指示に従って操作する

- 本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

設定を変える (続き)

本機のリモコンでテレビを操作する

リモコンのテレビ操作設定

テレビに合った番号を設定すると、リモコンの[テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[音量+,-]、[消音]でテレビを操作できます。また、[テレビ操作]を押してボタンを点灯させると、他のボタンでもテレビを操作できるようになります。(→164)



1 ホームを押す

2 「設定」を選び、決定を押す

- 表示がない場合は[◀◀スキップ][▶▶スキップ]でページを切り替えてください。

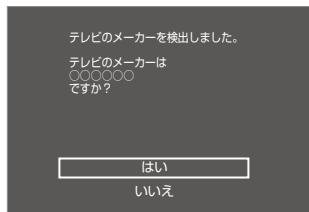
3 「機器設定」を選び、決定を押す

4 「リモコン設定」を選び、決定を押す

5 「リモコンのテレビ操作設定」を選び、決定を押す

6 テレビのメーカー確認画面が表示された場合：「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す

例)



- お使いのテレビメーカーと異なるメーカー名が表示される場合、「いいえ」を選び、メーカー選択画面で正しいメーカー名を選んでください。

テレビのメーカー選択画面が表示された場合：
メーカー名を選び、決定を押す

7 リモコンを本機に向け、

サブメニュー

メニュー

(S) を押しながら、1 ~ 12

のいずれかを 3 秒以上押したままにする

例)

リモコンを本機に向けて、画面が切り換わるまで
サブメニューボタンと数字ボタン(1)を
同時に押し続けてください。

同時に押してから約3秒後に切り替ります。

ここに表示されている数字のボタンを
押してください。

- 画面が切り換わったら、リモコンをテレビに向け、音量ボタンを使って、テレビ操作ができるか確認してください。

正しく動作しない場合「メーカー番号を入力して設定する場合」(→下記)をお試しください。

8 決定を押す

■ メーカー番号を入力して設定する場合

「リモコンのテレビ操作設定」(→左記)を行っても正しく動作しない場合、以下の操作で設定してみてください。

[戻る]を押しながら、[1] ~ [10]を使って、2桁のメーカー番号(→下記)を入力してください。

- 例) 01 の場合 … [10] → [1] 10 の場合 … [1] → [10]
11 の場合 … [1] → [1] 12 の場合 … [1] → [2]

メーカー名	メーカー番号
パナソニック	01, 10, 22, 24, 30, 31
アイワ	18
NEC	06, 15
三洋	07, 16
JVC/ビクター	14
シャープ	02, 11, 21, 33
ソニー	03
TVS REGZA/東芝	04, 27, 32
パイオニア	13, 28
日立	05, 20, 38
富士通ゼネラル	09
フナイ	19, 29
三菱	08, 12, 25, 35, 36, 37
LG	26
ハイセンス	34
TCL	39

番号を複数持つメーカーの場合は、番号を順に入力して、テレビ操作できる番号に合わせてください。

設定が完了すると、[テレビ操作]が 2 回点滅します。

- 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。

- テレビ側でリモコンモードを変更している場合、本機のリモコンでは操作できないことがあります。

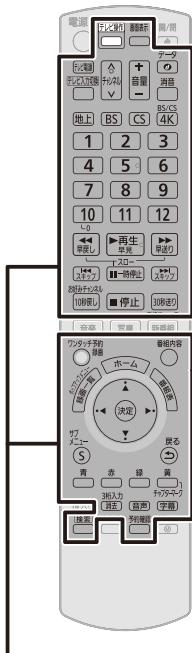
設定を変える (続き)

テレビ操作モードにする

1 リモコンの を押す

- ボタンが点灯し、テレビ操作モードになります。

2 下記のボタンでテレビを操作する



テレビの操作に使用できるボタン

[テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[音量 +,-]、
[消音]は、[テレビ操作]を押さなくてもテレビを操作
できます。

お知らせ

- 再度 [テレビ操作] を押すか、約30秒間何も操作しなかった場合、[テレビ操作] は消灯し、テレビ操作モードは終了します。
- メーカー・機種によっては、操作できないボタンもあります。
- 登録したテレビのリモコンにないボタンは動作しません。また、機種によってはボタンの名称が異なる場合があります。
- 三洋、JVC/ビクター、NEC、富士通ゼネラル、アイワ製のテレビは [テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[チャンネル ▲, ▼]、[音量 +,-] 以外は対応していません。

設定を変える (続き)

ネットワーク連携する機器の設定をする

DLNA 対応の機器 /CATV セットトップボックス / スカパー! プレミアムサービス対応チューナー / ビエラなどと接続する

お部屋ジャンプリンク／
スカパー! Link（録画）設定

1 ホーム を押す

2 「設定」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [<◀◀ スキップ] [▶▶ スキップ] でページを切り換えてください。

3 「ネットワーク設定」を選び、決定 を押す

4 「お部屋ジャンプリンク／
スカパー! Link（録画）設定」を選び、
決定 を押す

5 「お部屋ジャンプリンク機能」を選び、
決定 を押す

6 「入」を選び、決定 を押す

- 「クイックスタート」(→146) が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 無線接続で無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）との通信が暗号化されていない場合、「入」に設定できません。

7 「アクセス許可方法」を選び、決定 を押す

8 「手動」または「自動」を選び、決定 を押す

- 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
- 「手動」の場合 (→右記手順 9 へ)

左記手順 8 で「手動」を選んだ場合

9 「機器一覧」を選び、決定 を押す

10 アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、決定 を押す

11 「アクセス許可」を選び、決定 を押す

- 最大 16 台まで登録できます。

☞ 再生するコンテンツを変更するには〔当社製テレビ（ビエラ）やディーガと組み合わせの場合のみ〕

- 手順 4 のあと「サーバーモード」を選び、[決定] を押す
- 項目を選び、[決定] を押す

☞ 登録している機器のアクセス許可を取り消すには〔アクセス許可方法〕が「手動」の場合のみ〕

- 手順 10 で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、[決定] を押す
- 「アクセス許可取消」を選び、[決定] を押す

☞ 「通信／映像品質の設定」を変更するには

映像が途切れたり停止するのを改善するには、「オート」または「モード 2」～「モード 5」に設定してください。

- 手順 4 のあと「通信／映像品質の設定」を選び、[決定] を押す
- 項目を選び、[決定] を押す

☞ 接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには

- 手順 4 のあと「本機の名称」を選び、[決定] を押す
- 項目を選び、[決定] を押す
 - 一覧から選んで変更
 - 文字入力して変更 (→144)

☞ お部屋ジャンプリンク機能を使用しないときは手順 6 で「切」を選ぶ

お知らせ

・スカパー! プレミアムサービス対応チューナーや CATV セットトップボックスから録画または予約録画をする場合や、ビエラなどからダビングまたは他のディーガからお引越しダビングをする場合、その機器をアクセス許可の状態にしてください。

機器側の設定は、各機器の説明書をご覧になって行ってください。

設定を変える（続き）

スマートフォン、携帯電話、パソコンと接続する

宅外リモート接続設定

外出先から、スマートフォンやタブレットで番組を視聴したり、パソコンなどで録画予約などの操作をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

当社ホームページ どこでもディーガ（[→4](#)）

ディモーラ：<https://dimora.jp/>

宅外リモート接続の動作確認情報は当社ホームページをご確認ください。（[→12](#)）

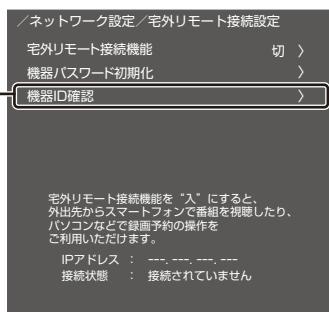
1 ホームを押す

2 「設定」を選び、決定を押す

- 表示がない場合は [<◀◀◀ スキップ] [▶▶▶ スキップ] でページを切り換えてください。

3 「ネットワーク設定」を選び、決定を押す

4 「宅外リモート接続設定」を選び、決定を押す



機器 ID :

パソコンや携帯電話から操作するとき、機器を特定するための番号です。

- 「すべての設定リセット」（[→158](#)）や「部分リセット」（[→158](#)）をすると機器パスワードは自動で変更されます。

5 「宅外リモート接続機能」を選び、決定を押す

6 「入」を選び、決定を押す

④ 「接続されていません」が表示されているときは、ネットワークの接続（[→26、27](#)）、「IPアドレス／DNS／プロキシサーバー設定」（[→153](#)）を確認してください。

⑤ 機器パスワードを初期化するには

- 手順4のあと「機器パスワード初期化」を選び、[決定] を押す
- 「する」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 外出先から番組を視聴する場合、本機が3番組を録画中は放送番組の視聴はできません。
- 外出先から番組を視聴する場合、2台の機器から同時に視聴することはできません。
- 一部のチャンネルでは、放送局の制限により外出先から視聴することができません。

設定を変える (続き)

言語番号一覧

「再生設定」の言語選択時に使用します。(→147)

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド:	7383	韓国(朝鮮)語:	7579	タイ:	8472	フェロー:	7079
アイマラ:	6589	カナダ:	7578	タガログ:	8476	フランス:	7082
アイルランド:	7165	カンボジア:	7577	タジク:	8471	フリジア:	7089
アゼルバイジャン:	6590	キルギス:	7589	タタール:	8484	ブータン:	6890
アッサム:	6583	ギリシャ:	6976	タミル:	8465	ブルガリア:	6671
アファル:	6565	クルド:	7585	チエコ:	6783	ブルターニュ:	6682
アフリカーンス:	6570	クロアチア:	7282	チベット:	6679	ヘブライ:	7387
アブハジア:	6566	グアラニー:	7178	中国語:	9072	ベトナム:	8673
アムハラ:	6577	グジャラト:	7185	ティグリニア:	8473	ペロルシア(白ロシア):	6669
アラビア:	6582	グリーンランド:	7576	トルグ:	8469	ベンガル(バングラ):	6678
アルバニア:	8381	グルジア:	7565	デンマーク:	6865	ペルシャ:	7065
アルメニア:	7289	ケチュア:	8185	トワイ:	8487	ポーランド:	8076
イタリア:	7384	ガール(スコットランド):	7168	トルクメン:	8475	ポルトガル:	8084
イディッシュ:	7473	コーサ:	8872	トルコ:	8482	マオリ:	7773
インターリングア:	7365	コルシカ:	6779	トンガ:	8479	マケドニア:	7775
インドネシア:	7378	サモア:	8377	ドイツ:	6869	マダガスカル:	7771
ウェールズ:	6789	サンスクリット:	8365	ナウル:	7865	マライ(マレー):	7783
ウォロフ:	8779	ショナ:	8378	日本語:	7465	マラッタ:	7782
ウクライナ:	8575	シンド:	8368	ネパール:	7869	マラヤーラム:	7776
ウズベク:	8590	シンハラ:	8373	ノルウェー:	7879	マルタ:	7784
ウルドゥー:	8582	ジャワ:	7487	ハウサ:	7265	モルダビア:	7779
ウォラピュック:	8679	スウェーデン:	8386	ハンガリー:	7285	モンゴル:	7778
英語:	6978	スペイン:	6983	バシキール:	6665	ヨルバ:	8979
エストニア:	6984	スロバキア:	8375	バスク:	6985	ラオ:	7679
エスペラント:	6979	スロベニア:	8376	パシュト:	8083	ラテン:	7665
オーリヤ:	7982	スワヒリ:	8387	パンジャブ:	8065	ラトビア(レット):	7686
オランダ:	7876	スンダ:	8385	ヒンディー:	7273	リトアニア:	7684
カザフ:	7575	ズールー:	9085	ビハール:	6672	リンガラ:	7678
カシミール:	7583	セルビア:	8382	ビルマ:	7789	ルーマニア:	8279
カタロニア:	6765	セルボクロアチア:	8372	フィジー:	7074	レトロマンス:	8277
ガリチア:	7176	ソマリ:	8379	フィンランド:	7073	ロシア:	8285

ソフトウェアの更新について

本機は以下の方法でソフトウェアの更新ができます。

オンエアーダウンロード

電源「切」の状態で、デジタル放送から送られてくる情報を本機に取り込むことにより、自動的に本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。

- お買い上げ時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。（→157「ソフトウェア更新設定」）

ネットワークからのダウンロード

本機をネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

- （→146「ソフトウェア更新（ネットワーク）」）

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体表示窓が以下のように表示されます。

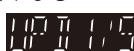
- 例) オンエアーダウンロードによる

更新の実行中



- 例) ネットワークからのダウンロードによる

更新の実行中



- “1/5”などは進行状況です。
- “5/5”まで表示したあと表示が消えるまで、本機を操作できません。

お知らせ

- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
- オンエアーダウンロードには、地上デジタル放送またはBSデジタル放送の受信環境が必要です。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動などで電源プラグを抜くとき

- ① 電源を切る
(本体表示窓から "BYE" が消えるまで待つ)
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ HDD の回転が完全に止まってから（3 分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす
(電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しています)

お手入れ

本体およびリモコン

- 本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
 - ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはがれるおそれがありますので使用しないでください。
 - 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

- 長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
- 使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー（当社販売/RP-CL720Aは販売店でお求めいただけます）でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。当社販売以外のレンズクリーナーをご使用になる場合は、本機で使用可能かを事前に各レンズクリーナーの販売メーカーにご確認ください。
- 当社販売のレンズクリーナーでのクリーニング中に音がすることがあります、故障ではありません。

本機の温度上昇について

本機通電中は温度が高くなります、性能・品質には問題ありません。

底面などを触るときは、温度が高くなっている場合がありますのでお気をつけください。

本機の移動やお手入れなどをするとときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

個人情報について

- 本機にはお客様が撮影した写真や動画、ネットワーク機能で使用する機器 ID や機器パスワードなどの個人情報が記録されます。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、お客様が撮影した写真や動画などが記録されている場合があります。

廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「ネットワーク設定」の「ディモーラ／使用情報の送信設定」（→155）で機器登録を解除してから、「HDD・USB-HDD・再生記録設定」の「HDD 設定」（→149）から HDD をフォーマットし、「設定リセット」の「すべての設定リセット」（→158）を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。
- 本機を譲渡または廃棄される場合には、ご契約先のNHK や有料放送に解除または更新の連絡をしてください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によっては HDD の初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。

HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

USB-HDDに関するお願い

USB-HDD を録画用フォーマットでお使いになっていた場合、本機の修理過程において USB-HDD の登録が取り消される場合があります。登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。



取り扱いについて（続き）

HDD（ハードディスク）・USB-HDD

振動・衝撃・磁気やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。

特に動作中は振動や衝撃を与える、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

録画した内容や写真・動画・音楽の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

異常を感じたらすぐにダビング（バックアップ）を…

不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。

このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

- HDD や USB-HDD が故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

ディスク

持ち方



信号面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

- ディスククリーナーなどをご使用ください。
- ディスクが汚れている場合や傷が付いている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- ディスク
 - ・シールやラベルを貼らない。（ディスクに反りが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
 - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
 - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
 - ・以下のディスクを使わない。
 - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
 - 反っていたり、割れたりひびが入っているディスク
 - ハート型など、特殊な形のディスク



保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湿氣や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

取り扱いについて（続き）

無線 LAN 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

無線 LAN は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯を使用します。

他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

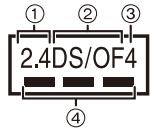
■ 使用上の注意事項

この機器の使用周波数域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、DIGA(ディーガ)・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口（➡裏表紙）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、DIGA(ディーガ)・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口（➡裏表紙）へお問い合わせください。

■ 周波数表示の見かた

周波数表示は、本体背面に記載しています。



- ① 2.4 GHz 帯を使用
- ② 变调方式が DS-SS と OFDM 方式
- ③ 電波与干渉距離 40 m 以下
- ④ 2.4 GHz の帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

■ 無線認証 ID 表示について

本機の無線装置の認証 ID は、以下の操作で画面に表示することができます。

「ホーム」→「設定」→「機器設定」→「認証 ID について」

■ 機器設定

本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた無線装置を搭載していますので、無線局の免許は不要です。ただし、以下の行為を行うと無線装置上の証明表示が無効となり、法律で罰せられることがあります。

- 無線装置を分解／改造する
- 無線装置に貼ってある証明ラベルをはがす

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- 法令により、登録局と通信する場合を除き、本機の 5 GHz 帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。
- すべての使用環境で無線 LAN 接続、性能を保証するものではありません。
- 無線通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

同時操作について

以下の表では、できる操作を「○」、できない操作を「×」で記載しています。

録画 / 予約録画中の同時操作

録画状態			再生				HDDの編集 ^{*1}	かんたんダビング	
放送 / 入力	録画先	録画モード	HDD・USB-HDDの番組	録画ディスク	BDビデオ・AVCHD	DVDビデオ		ファイナライズ切	ファイナライズ入
BS4K CS4K	HDD(1番組録画)	4KDR 4K画質モード	○	○	○	○	○	○	×
	USB3.0対応のUSB-HDD ^{*2}		○ ^{*3}	○	○	○	○ ^{*3}	×	×
地上D BS CS	HDD(1番組録画)	DR 1.5～15倍録	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*5}	○	○ ^{*4}	○	×
	HDD(2番組録画)		○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*5*6}	○	○ ^{*4}	○ ^{*6}	×
	HDD(3番組録画)		○ ^{*4*6}	○ ^{*4*6}	○ ^{*5*6}	○ ^{*6}	○ ^{*4*6}	○ ^{*6}	×
	BD	DR	○	×	×	×	○	×	×
	USB-HDD ^{*2}	DR 1.5～15倍録	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*5}	○	○ ^{*4}	×	×
スカパー! プレミアム サービス CATV (LAN録画)	HDD	—	○	○	×	○	○ ^{*7}	○ ^{*8}	×

●HDDの残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

※1 実行できる編集(→97～100)(スマホ転送番組の作成はできません)

※2 録画用フォーマットのUSB-HDD使用時ののみ予約録画できます。

※3 USB3.0対応のUSB-HDDに3番組を録画中(そのうち4K放送を1番組録画)は、USB-HDDの4KDRモード、4K画質モードの番組の再生や編集はできません。

※4 4KDRモード、4K画質モードの番組を再生すると、1.5倍録～15倍録で録画中の番組はDRモードに切り換えて録画を続けます。

※5 Ultra HDブルーレイを再生すると、1.5倍録～15倍録で録画中の番組はDRモードに切り換えて録画を続けます。

※6 1.5～15倍録で録画中の番組は、DRモードに切り換えて録画を続けます。

※7 録画モード変換はできません。

※8 画質変更ダビングはできません。

同時操作について（続き）

ダビング中の同時操作

4K 放送の番組をダビング中の場合

ダビングの種類	視聴 放送中の 番組	予約録画 の実行	再生					HDD の 編集 ^{*1}
			HDD の 番組	録画 ディスク	BD ビデオ・ AVCHD	DVD ビデオ	USB- HDD	
4K 画質モードの番組をディスクへ高速ダビング中（ファイナライズ切）	○	○	○	×	×	×	×	○
4KDR モードの番組をディスクへ高速ダビング中（ファイナライズ切）	○	○	○	×	×	×	×	○
「4 KDR のダビング方式」が「ダビング方式 1」時	×	○ ^{*2}	×	×	×	×	×	×
「4 KDR のダビング方式」が「ダビング方式 2」時	×	○ ^{*2}	×	×	×	×	×	×
ディスクへ画質変更ダビング中（ファイナライズ切）	×	○ ^{*2}	×	×	×	×	×	×
ディスクへファイナライズ入でダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×

●HDD 番組を複製中は、視聴や再生、編集ができます。

※1 実行できる編集（→97～99）（録画モード変換、スマホ転送番組の作成はできません）

※2 スカパー！プレミアムサービスやCATV の番組の予約録画は実行できません。

デジタル放送の番組をダビング中の場合

ダビングの種類	視聴 放送中の 番組	予約録画 の実行	再生					HDD の 編集 ^{*1}
			HDD の 番組	録画 ディスク	BD ビデオ・ AVCHD	DVD ビデオ	USB- HDD	
ディスクへ高速ダビング中（ファイナライズ切）	○	○	○	× ^{*2}	× ^{*2}	× ^{*2}	× ^{*2}	○
ディスクへ画質変更ダビング中（ファイナライズ切）	○ ^{*3}	○ ^{*4}	○ ^{*5}	×	×	×	×	○ ^{*5}
ディスクへファイナライズ入でダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×
AVCHD 取り込み中	×	×	×	×	×	×	×	×
ネットワークを使ってダビング中	○	○	○	○	×	○	○	○

※1 実行できる編集（→97～99）（録画モード変換、スマホ転送番組の作成はできません）

※2 HDD 番組を複製中は、再生できます。

※3 4K 放送番組の視聴はできません。

※4 スカパー！プレミアムサービスやCATV の番組の予約録画は実行できません。

※5 「4K」や「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D 再生できません。

同時操作について（続き）

本機を操作中のお部屋ジャンプリンクの同時操作

		クライアント側の操作（ビデオを見る / 放送を見る）				
1台目		ビデオ	放送	ビデオ	ビデオ	放送
2台目		—	—	ビデオ	放送	放送
HDD・録画ディスク再生中		○ ^{*1}	○ ^{*1*2}	○ ^{*1}	○ ^{*1*2}	○ ^{*1*2}
4KDR モード、4K 画質モードの番組を再生中		○ ^{*3}	×	○ ^{*3}	×	×
4K 放送を視聴中		○ ^{*3}	×	○ ^{*3}	×	×
DVD ビデオ再生中		○	○	○ ^{*3}	×	×
BD ビデオ・AVCHD 再生中		○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	×	×
HDDへ放送番組を1番組録画中		○	○	○	○	○ ^{*4}
HDDへ放送番組を複数番組録画中		○ ^{*5}	○ ^{*5*6}	○ ^{*5}	○ ^{*5*6}	×
LAN 経由で録画中		×	×	×	×	×
4KDR モード以外の番組をディスクに高速ダビング中		○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}
4KDR モードの番組をディスクに高速ダビング中	「4KDR のダビング方式」が「ダビング方式1」時	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}
	「4KDR のダビング方式」が「ダビング方式2」時	○ ^{*3*5}	×	○ ^{*3*5}	×	×
番組をディスクに画質変更ダビング中		○ ^{*3*5}	×	○ ^{*3*5}	×	×
ネットワーク使用中		×	×	×	×	×

●本機の状態によってはお部屋ジャンプリンクができない場合があります。

●4K 放送の放送中の番組を見ることはできません。

※1 MP4 (4K) を再生中はお部屋ジャンプリンクはできません。

※2 本機側で「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組を再生中は、放送を見ることはできません。

※3 「お部屋ジャンプリンク／スカパー！Link（録画）設定」（→154）の「通信／映像品質の設定」が「オート」または「モード2」～「モード5」の場合、お部屋ジャンプリンクができない場合があります。また、VGA 変換が必要な機器（ビエラワンセグなど）がクライアントの場合、お部屋ジャンプリンクはできない場合があります。

※4 本機側が4K放送を録画中は2台目の機器で放送を見ることはできません。

※5 本機側で番組の再生が始まると、お部屋ジャンプリンクはできない場合があります。

※6 本機側が3番組録画中は放送を見ることはできません。

こんな表示が出たら

表示文字	調べるところ・原因・対策
	<ul style="list-style-type: none"> 停電や電源コードをコンセントから抜き差ししたあと、点滅します。時刻を合わせてください。 デジタル放送が受信できる場合、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。
	<ul style="list-style-type: none"> ダビング中やファイナライズ中などの進行状況です。左の表示が回転します。(例: 61 パーセント)
	<ul style="list-style-type: none"> 現在選んでいる BS デジタル放送のチャンネルです。(例: 101 チャンネル)
	<ul style="list-style-type: none"> 録画モード変換の開始時と終了時に表示します。(電源「入」時のみ) USB-HDD の番組の録画モード変換を実行中です。(電源「切」時のみ)
	<ul style="list-style-type: none"> オンラインアーダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5などはダウンロードの進行状況です)
	<ul style="list-style-type: none"> かんたんダビングや詳細ダビング画面などを表示中です。
	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> HDMI 認証中です。 表示が切り換わらない場合、本機やテレビ、アンプ(スピーカー)など HDMI で接続している機器の電源を切/入してください。 それでも切り換わらない場合は、HDMI ケーブルを抜き差ししてください。
本体表示窓	<ul style="list-style-type: none"> ホーム画面などを表示中です。
	<ul style="list-style-type: none"> 音楽一覧画面を表示中です。
	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク機能が動作中です。
	<ul style="list-style-type: none"> HDD の録画中などに、本体の【▲】を押したとき、未ファイナライズの [-R AVCREC] [-R V] [-RW V] が入っている場合に表示されます。 ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。
	<ul style="list-style-type: none"> ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。 レンズクリーナー(別売)の作業が終了したときに、表示されることがあります。本体の【▲】を押してクリーナーを取り出してください。
	<ul style="list-style-type: none"> 以下の場合、[ワンタッチ予約 録画 ●] を押しても、録画はできません。 ・データ放送やラジオ放送、または録画中の番組を視聴中
	<ul style="list-style-type: none"> 写真 / 動画一覧画面を表示中です。
	<ul style="list-style-type: none"> 終了処理中です。“BYE”が表示されたあと、電源が切れます。 停電または動作中に電源コードが抜けたことによる復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。
	<ul style="list-style-type: none"> 「お録りおき録画」「おまかせ録画」「ニュース録画」「カテゴリーまとめて予約」以外の予約が 128 件登録されています。不要な予約を消してください。

こんな表示が出たら（続き）

表示文字	調べるところ・原因・対策
	<ul style="list-style-type: none"> フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。
	<ul style="list-style-type: none"> 本機で記録や再生できないディスクが入っています。本機に対応したディスクをお使いください。
	<ul style="list-style-type: none"> 録画一覧表示中です。
	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークからのダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5などは更新の進行状況です)
 1~6のいずれかを表示	<ul style="list-style-type: none"> 本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 <p> 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、 [決定] を3秒以上押したままにしてください。</p>
 * 1~6のいずれかを表示	<ul style="list-style-type: none"> 4~6の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。(リモコン下部に "IR6" の表示があるリモコンで操作できます)
 * 1~6のいずれかを表示	<ul style="list-style-type: none"> アンテナ電源の異常です。アンテナケーブル内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか確認してください。
 * 1~6のいずれかを表示	<ul style="list-style-type: none"> 本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置してください。 背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔の周りを空けてください。
 * 1~6のいずれかを表示	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 * 1~6のいずれかを表示	<ul style="list-style-type: none"> 映像出力のエラーが発生しています。(→30) HDMIケーブルが認識されていない場合があります。電源が「切」の状態で、HDMIケーブルを抜き、本機およびテレビ側のHDMI端子、HDMIケーブルのほこりを取り除き、しっかり奥まで接続し直したあと、もう一度電源を入れてください。 改善しない場合はHDMIケーブルを交換してください。
 * 1~6のいずれかを表示	<ul style="list-style-type: none"> 本機で使用できないUSB機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。 USB機器接続時に異常が発生しました。接続したUSB機器をいったん本機から外して、接続し直してください。
 * 1~6のいずれかを表示	<ul style="list-style-type: none"> 再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 * 1~6のいずれかを表示	<ul style="list-style-type: none"> 本機が正常に動作しません。本体の[↓/I]を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 * 1~6のいずれかを表示	<ul style="list-style-type: none"> 異常が発生しました。("F" または "H" 以降の数字は、本機の状態によって変わります) <p>本体の [↓/I] を3秒以上押して電源を切ったあと、再び電源を入れてください。</p>

※ 上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

上記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店または「修理に関するご相談窓口」(→裏表紙)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などとお知らせください。

表示マーク一覧

●本機は表示マーク(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。

●放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組表



録画予約している番組



「お録りおき録画」「おまかせ録画」や、「カテゴリーまとめて予約」などの自動で予約された番組

予約の実行が「切」になっている場合や重複している「お録りおき録画」は、上記マークの色はグレーに変わります。

番組内容画面



テレビ放送（映像+音声）の番組



二重音声信号で、「主+副」の音声の番組



データ放送の番組



字幕（日本語/英語）の情報が含まれている番組



番組とは別のデータ放送を行っている番組



有料放送の番組
(放送会社との契約が必要です)



番組内容に関連したデータ放送を行っている番組



視聴年齢制限がある番組
(表示される年齢は4~20才まであります)



「ダビング10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限のある番組



3D映像の番組
(番組によっては、表示されない場合もあります)



複数の映像または音声（マルチ音声）を含んだ番組



著作権が保護されているため「録画禁止」の番組



モノラル音声の番組



番組の映像信号情報
上：画面の横縦比（16:9、4:3）



ステレオ放送の番組



下：信号方式
(デジタルハイビジョン放送 - 1080i、
720p)



5.1chなどのサラウンド放送の番組



(デジタル標準テレビ放送 - 480p、
480i)
(4K放送 - 2160p)
(8K放送 - 4320p)



表示マーク一覧 (続き)

保存一覧画面



保存先の残量不足などで、**HDD** や
USB-HDD に代替で保存された番組



保存先の番組数がいっぱいです、保存が実行できない番組



ディスクが未挿入などで、保存が実行できない場合があるときに表示されます。
【決定】を押して、内容を確認してください。



保存先の残量不足で、保存が実行できない番組



保存前に番組が消去されたなどで、保存が実行できなかった番組

表示マーク一覧 (続き)

予約一覧画面

録画可能	全編の録画が可能な番組	録画済	番組表を使って毎日・毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに、予約を実行した場合にも表示されます。
変更可	予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組	 4K放送対応	HDDの残量不足や予約の重複などで録画できない場合があるときなどに表示。[決定]を押して、予約内容を確認してください。
番組予約	番組表を使って予約した番組	 4K放送対応	(4K 対応チューナーを使って予約する番組には①の下に「4K 放送対応」が表示されます)
検索中	時間変更追従を実行中（時間確認中）	4K放送対応	4K 放送対応チューナーで予約した番組
時間指定	時間指定予約で予約した番組	重複	予約時間が重なっている番組
曜日指定	曜日指定した毎日・毎週予約のときに表示	シリーズ終了	毎日・毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをお勧めします。
毎日		警告	引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組
毎週	毎日・毎週予約の番組	お録りおき	「お録りおき録画」で自動的に予約された番組
月~金		優先お録りおき	「お録りおき録画」で優先お録りおきに設定した番組
月~土		カテゴリ	「カテゴリーまとめて予約」で自動的に予約された番組
ニュース予約	「ニュース録画」で自動的に予約された番組	注目番組	注目番組一覧から予約した番組
おまかせ予約	「おまかせ録画」で自動的に予約された番組	まとめ予約	「注目まとめ予約」で予約した番組
		自動予約	宅外リモート接続機能を使って自動予約された番組

表示マーク一覧 (続き)

予約一覧画面 (続き)

毎日更新	LAN予約	LAN 接続したスカパー! プレミアムサービス対応チューナーや CATV から録画予約した番組
毎週更新	DR切換	1.5~15倍録モードで録画中に DR モードに切り換えて録画している番組
月~金更新	探して毎回★	テレビ (ビエラ) 側から「探して毎回予約」で予約した番組
月~土更新	番組数FULL	HDD の番組数がいっぱい録画できない番組
予約実行切	COPY X中断	録画禁止信号により録画が中断された番組
未実行	代替	ディスクが未挿入などで、HDD に代替録画された番組
一部未実行	お知らせ	1か月より先の番組予約です。 1か月以内になったときに録画可能かどうかが表示されます。
FULL中断		録画中の番組
残量不足		

表示マーク一覧 (続き)

録画一覧・ダビング画面



3D 映像の番組（番組によっては、表示されない場合もあります）

- 2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
- 「お録りおき録画」で録画された番組がまとめられた、まとめ番組



ニュース録画で録画された番組がまとめられた、まとめ番組



録画したコピー制限のある番組
(数字は 10~2)
数字はダビングできる残り回数です。ダビングするたびに数字は少なくなります。



1080/60p (1920×1080/60 プログレッシブ) 記録の番組



「新番組おまかせ録画」で録画された番組



録画したコピー制限のある番組
ダビングするとダビング元の番組は消去されます。



「おまかせ録画」で録画された番組がまとめられた、まとめ番組



書き込み禁止（プロテクト）の設定をした番組



ダビングできない番組



4K 放送を 4KDR モード、4K 画質モードで録画した番組

表示マーク一覧 (続き)

録画一覧・ダビング画面 (続き)

以下は録画一覧画面でのみ表示されます。

録画してまだ見ていない番組

- 番組の先頭から 30 秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生を停止した番組は「未視聴」から除外されます。



宅外リモート接続機能を使って自動で録画された番組



録画禁止信号により録画できなかった番組



HDD にダビング中の番組や、データが壊れているなど再生できない番組



録画中の番組



HDD に代替録画された番組



「おまかせ録画」で録画された番組



「ニュース録画」で録画された番組



HDD に録画中の番組



HDD にダビング中の番組



HDD に録画・ダビングが終了した番組
(番組の画像は電源「切」時に作成されます)



- 保存の予約をした番組
- 保存した番組

以下はダビング画面でのみ表示されます。

ダビングすると移動する番組
(詳細ダビング時)



ダビング登録した番組 (かんたんダビング時)。数字の小さい番組から順にダビングします。



静止画を含むもの
(HDD に静止画部分はダビングされません)

スマホ転送番組一覧画面

録画したコピー制限のある番組



転送すると HDD の番組は消去されます。

スマホ転送番組の画質情報

1.5Mbps
(720p)

上：情報量（ビットレート）

下：解像度

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

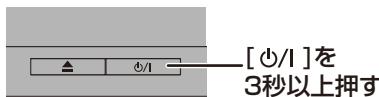
「故障かな!?」の内容は、当社ホームページ（➡12）も併せてご覧ください。

以下の動作音は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- 以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
 - 電源切／入時
 - 番組表データを受信中
 - ソフトウェア更新中
 - 録画中
 - 録画モード変換時、スマート転送番組作成時
 - 写真や動画を自動で保存中
 - スマートフォンの写真や動画を受信中
 - 「ビエラリンク録画待機」（➡151）の「入」時
 - 「家じゅう録画一覧設定」（➡154）の「自動更新」の「入」時
 - 「宅外リモート接続機能」（➡154）の「入」時
 - 「お部屋ジャンプリンク機能」（➡154）の「入」時
 - インターネット接続時
 - 予約録画終了時または午前4時ごろ（1週間に1回程度）の、本機全体の自動再起動時
(本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています)

本機の操作ができなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。
- ① 本体の【**↓/I**】を押し、電源を切る
 - 切れない場合は、約3秒間押したままにする
強制的に切れます。



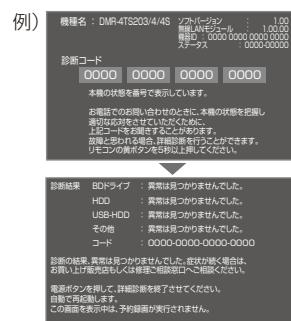
（それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む）

- ② 本体の【**↓/I**】を押し、電源を入れる
(起動に時間がかかる場合があります)
上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- リモコンが正しく働いていないことがあります。（➡185）

診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、機器の状態を診断することができます。

- [ホーム] ボタンを押し、「設定」→「機器設定」→「診断コード」→[黄]ボタンを5秒以上押して詳細診断を行ってください。



- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

録画できない / 録画に失敗する / 再生できない / 操作できない / フリーズする

- 以下の場合、録画できません。本体表示窓の「録画」の「1」～「3」が点滅します。
 - アンテナが抜けている、またはアンテナレベルが低い
 - HDDの残量がない
- ディスクやUSB-HDDには[ワンタッチ予約 録画 ●]を押しても、録画できません。予約録画のみ可能です。
- スピーカーなどの磁気を発生する機器を本機の上に載せている場合、録画できないことがあります。
- 本体機器を設定リセット（➡158）にて初期化することで改善する場合があります。
ただし、設定リセットを行うことで、お客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や録画・予約内容も消去されますので、ご注意ください。

故障かな!? (続き)

電源

電源が入らない

- 予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
- 電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
- 停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の【H/I】を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

- どこでもディーガから本機の設定を行うと、設定完了時に本機の電源が切れます。
- 「自動電源オフ」(→145) やビエラリンク (HDMI) の電源オフ連動 (→135)、ビエラの「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。
- 音楽を再生して、再生停止または一時停止中に1時間以上操作を行わない場合は、自動的に電源が切れます。

自動的に電源が入る

- どこでもディーガから本機の設定の変更を行うと、自動的に電源が入ります。
- ビエラリンク (HDMI) をお使いのときは、テレビから電源を入れたり予約をすると、本機の電源が自動的に入ります。

時刻表示が出ない

- 電源「切」時に本体表示窓に時刻を表示するには、以下①～③の設定してください。
 - 「クイックスタート」(→146) を「入」に設定
 - 「クイックスタートモード」(→146) を「標準」に設定
 - 「ECO スタンバイ」(→151) を「切」に設定
ただし、「節電待機」(→43) で電源を切ると、時刻は表示されません。

USB-HDD の電源が切れない

- 番組表データを受信中や録画モード変換時など本機が内部で動作しているときは、電源を「切」にしてもUSB-HDDの電源が切れない場合があります。

ビエラリンクが働かなくなった

- 本体の【H/I】を約3秒間押して電源を切り、テレビの主電源を切ったあと、HDMIケーブルを抜き差してください。

本体

本機が熱い

- 本機通電中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の左右および上部と背面にスペースを空けてください。
本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。
電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
 - 本体の【H/I】を3秒以上押す
・本体の電源が切れます。
 - 【決定】と【青】と【黄】を同時に5秒以上押す
・本体表示窓に“OO RET”が表示されます。
 - 本体表示窓に“06 FTO”が表示されるまで【▶】(リモコンの右ボタン)を押す
 - 【決定】を押す
ディスクトレイが開くまでに時間がかかる場合があります。(約30秒)
(ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)
ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

USB 機器が認識されない

- USB機器が正しく認識されない(USB機器画面が表示されない)場合は、USB機器を抜き差してください。それでも認識されない場合は、本機の電源を入れ直してください。

故障かな!? (続き)

画面表示

残量表示が使用した量と違う

- ・残量表示は実際より増減することがあります。
- ・[R] 記録や編集を約 200 回以上繰り返すと、残量が減ります。

残量表示が画面によって異なる

- ・DR モード選択時の残量は、予約確認画面などでは、放送に合わせて 17 Mbps または 24 Mbps の転送レートで残量計算しますが、録画一覧などでは、24 Mbps の転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。
- ・選択している録画モードによって、残量表示が異なります。

ボタン操作

リモコンが動かない

- ・本体とリモコンのリモコンモード (→162) が異なっていないませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がでてくる場合があります。



表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、**[決定]** を 3 秒以上押したままにしてください。

- ・リモコンモードを「4」～「6」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。(リモコン下部に "IRG" の表示があるリモコンで操作できます)
- ・本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
- ・リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色付きガラスも含む)などがありますか。
- ・リモコンでテレビ操作をできない場合は、以下のことを確認してください。
 - ・[テレビ操作] が点灯していますか。
 - ・テレビのメーカー番号が異なっていますか。電池を交換すると、合わせ直す必要がでてくる場合があります。(→163)

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

- ・本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコンモードを変更してください。(→162)

テレビ画面や映像

本機からの映像が映らない テレビに「信号がありません。」が表示される

- ・本体の [U/I] を押し、電源を入れてください。
- ・HDMI ケーブルが認識されていない場合があります。電源が「切」の状態で、HDMI ケーブルを抜き差ししたあと、もう一度電源を入れてください。

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなったり、または映らなくなったり

- ・アンテナケーブルの接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・「放送受信設定」(→155) の「受信アンテナ設定」を「入」にしているときはテレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。
- ・「放送受信設定」(→155) の「受信アンテナ設定」にある「アンテナ出力」を「入」にしてください。「切」の場合、本機の電源「切」時に BS・110 度 CS アンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどで BS・110 度 CS デジタル放送を視聴できません。
- ・一度「アンテナーター」(→160) の設定を切り換えてみてください。
- ・「テレビ放送が映らない／映りが悪い」(→30) をご覧ください。

本機を新 4K 8K 衛星放送チューナー内蔵テレビに接続したら、4K 8K 放送の映像がテレビに映らなくなった

- ・アンテナケーブルの接続を確認してください。(→22)

アンテナレベル(信号品質)が改善して、テレビの映りが良くなあっても、アンテナレベル(信号品質)不足の表示が消えない

- ・「かんたん設置設定」(→155) をやり直してください。

表示していた画面が消える

- ・「テレビ画面の焼き付き低減機能」(→146) が「入」の場合、10 分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り替えます。

再生時の映像に残像が多い

- ・「ノイズ低減」(→95) の各項目を「0」にしてください。

HDR で出力されない

- ・HDR 対応のテレビと接続していてもダイナミックレンジ変換される場合は、テレビの HDR の設定を確認してください。接続するテレビによってはソフトウェアの更新が必要な場合があります。

故障かな!? (続き)

映像が映らない 映像が乱れる

- 接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。
(→17~30)
- 以下の場合、故障ではありません。
 - ・気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
 - ・BS/CS放送の一時的な休止による受信障害
 - ・3Dディスク入れ替え時の画面の乱れ
 - ・BS4K/110度CS4K放送の番組を再生時、HDMI認証が起り黒画面になる場合があります。その場合、設定を以下のように変更すれば HDMI 認証が起りません。
 - 「HDMI 4K/60p 伝送モード」(→151) を「出力なし」にする
 - 「ハイダイナミックレンジ出力」(→152) を「切」にする
 - ・HDCP(不正コピー防止技術)非対応機器に接続した場合は映像が映りません。HDCP 対応機器でも接続した機器(パソコンのディスプレイなど)によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。(音声は出力されません)
 - ・以下の場合、HDMI認証が起り、黒画面になります。
 - 「24p 出力」(→151) が「オート」の場合、24p素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
 - 2D映像と3D映像を切り換えたとき
 - ・**BD-V**「カラースペース」(→152) が「YCbCr(オート)」のときに、4K出力で MGVC 再生時(→90)
 - ・「Deep Color 出力」(→152) もしくは「コンテンツタイプフラグ」(→152) を「切」にしてください。
 - テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
接続するテレビの HDMI 端子を他の HDMI 端子に変更すると改善される場合があります。
 - 4K出力時、HDMIケーブルによっては映像が乱れる場合があります。4K出力対応のHDMIケーブルをお使いください。
 - 「HDMI 4K/60p 伝送モード」(→151) を「高速(18 Gbps)」にすると、以下の場合に映像が正常に出力されません。
 - ・HDMIケーブルが 18 Gbpsに対応していない

●本機が4K/60p出力する設定になっている場合に、接続するテレビなどを変更すると、映像が乱れる場合があります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

- ① **【決定】**と**【青】**と**【黄】**を同時に5秒以上押す
 - ・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
- ② 本体表示窓に“13 L4K”が表示されるまで **[▶]**(リモコンの右ボタン)を数回押す
- ③ **【決定】**を3秒以上押す
 - ・「HDMI 4K/60p 伝送モード」(→151)が「出力なし」に設定されます。再度正しく設定してください。
- 「テレビに本機の映像が映らない」(→30)をご覧ください。

故障かな!? (続き)

デジタル放送

地上デジタル放送が受信できない

- 「受信アンテナ設定」(→160)でアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。映像が不安定になったり、アンテナレベルが不足している場合は、以下をお試しください。
 - ・「アッテネーター」(→160)の設定を切り換える。
 - ・ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す。
- 集合住宅の共聴システムやCATVの場合は、地上デジタル放送対応の有無を共聴システムの管理者やご契約のCATV会社にお問い合わせください。
- 受信環境に問題がある可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- チャンネル設定を行っていますか。「かんたん設置設定」(→155)もしくは「チャンネル設定」(→161)を行ってください。

**BS・110度 CS デジタル放送、
BS4K/110度 CS4K 放送が受信できない
映像や音声が出ない、または映りが悪くなつた**

- BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナやアンテナケーブル、分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。従来のBSアンテナでは受信できない場合があります。
- BS4K/110度CS4K放送は「SHマーク」が表示された機器など、4K放送に対応した機器が必要です。
- あとから対応アンテナを設置した場合は、再度「かんたん設置設定」を行ってください。(→155)
- 「受信アンテナ設定」(→160)でアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。
- BS・110度CSデジタル放送、BS4K/110度CS4K放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、画質、音質が少し悪くなる場合があります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。
- 放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。
- アンテナへの電源供給が必要です。
 - ・「アンテナ電源」(→160)を「入」にしてください。
 - ・分配器は全端子電流通過型をご使用ください。

「このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。(* * * *)」の表示が出て番組を視聴できない

- (* * * *)の表示が(A103)または(8901)の場合は、ご視聴の放送事業者にお問い合わせください。
- (* * * *)の表示が(A103)または(8901)以外の場合、本体の【**U/I**】を3秒以上押して、一度リセットしてください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

音声

音声が切り換えられない

- 接続機器の設定を確認してください。
- 以下の場合、音声の切り換えはできません。
 - ・マルチ音声の番組を**[R VR] [RW VR]**にXP、SP、LP、FRモードで予約録画する
 - ・テレビやアンプの音声ボタンでは、二力国語音声などの音声の切り換えができない場合があります。その場合は、本機の音声ボタンで切り換えてください。
 - ・**[MP4]**音声の切り換えはできません。
 - ・ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。

故障かな!? (続き)

ディスク

記録できない

- ディスクをフォーマットしていますか。
- ファイナライズ後のディスクは記録できません。
- 誤消去防止（プロテクト）の設定がされていませんか。
- ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください。
- [R] 記録後、ディスクの出し入れや電源の切／入を30回程度繰り返すと、そのディスクは記録や編集ができなくなることがあります。
- 本機以外のレコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。
- ディスクに汚れや傷があると、再生、記録、フォーマットなどができるない場合があります。
- 録画／再生用レンズが汚れている場合があります。
レンズクリーナー（別売）でレンズをクリーニングしてください。（→169）

記録したディスクが他機器で再生できない

- 再生機器がディスクの再生に対応している必要があります。（→35）
- ディスクによってはファイナライズが必要です。（→36、143）
- 4KDR モード、4K 画質モードの番組を記録した BD-RE、BD-R は、他機器では再生できない場合があります。
他機器での再生については、当社ホームページをご覧ください。（→12）

録画

予約録画ができなかった

- HDDの残量が不足していたり、番組の予約が重なっていたりしませんか。予約内容を確認してください。（→68）

ディスクに予約録画ができない

- ディスクに予約録画する場合、予約時の詳細設定で録画先を「BD」にしてください。
- 以下の場合、ディスクに予約録画できません。
 - 4K 放送
 - [BD-RE] [BD-R] に DR モード以外で予約
 - DVD ディスク
 - ・未フォーマットのディスク
 - ・誤消去防止（プロテクト）の設定がされたディスク

番組追従機能が働かない

- 時間指定予約では働きません。
- 放送開始時刻または終了時刻に3時間以上の変更があった番組には働きません。
- 毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。
- LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）で録画した場合、チューナーによっては、正しく働かない場合があります。また、「節電待機」（→43）で電源を「切」にしているときも、正しく働かない場合があります。

予約をしていない番組が録画される

- 「おまかせ録画」（→69）や「お録りおき録画」（→73）の設定をしていると、本機は自動的に番組の録画をします。

「契約期限が切れています。予約できません。(8902)」の表示が出て予約録画ができない

- 有料放送の契約は ACAS 番号で行ってください。ACAS 番号を確認してください。（→19）
- 契約にかかるらず期間限定でお試し視聴できる有料放送局があります。そういう放送局の場合、一度その放送局を視聴するとメッセージが消えて予約録画ができることがあります。

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーや CATV から LAN 接続で予約録画ができない

- ネットワークの接続や設定を確認し、接続されていない場合はネットワーク設定を行ってください。（→32）
- 「お部屋ジャンプリンク機能」（→154）が「入」になっていますか。
- 接続機器の設定が正しいか確認してください。

故障かな!? (続き)

再生

再生できない

- スピーカーなどの磁気を発生する機器を本機の上に載せている場合、再生できないことがあります。

Ultra HD ブルーレイが再生できない

- ディスクによっては本機をインターネットに接続していないと再生できない場合があります。(→26)

ディスクが再生できない

- ディスクに汚れや傷、反りがある場合、再生できないことがあります。
- [BD-V]** 画面に「バージョンアップしてください。」が表示されている場合、ディスクが認識されていない可能性があります。
- 録画／再生用レンズが汚れている場合があります。
レンズクリーナー（別売）でレンズをクリーニングしてください。(→169)

BDビデオ (Ultra HD ブルーレイも含む) や DVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい

- 視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。
- 【決定】と【青】と【黄】を同時に5秒以上押す
(本体表示窓に“00 RET”が表示されます)
 - 本体表示窓に“03 VL”が表示されるまで【▶】
(リモコンの右ボタン) を数回押す
 - 【決定】を押す

撮影動画の映像が乱れたり、正しく再生されない

- [MP4]** 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。
- 2倍速対応以下のDVDに記録された高画質(転送レート約18Mbps以上)の動画は正しく再生されません。

ダビング

ディスクにダビングできない

- チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。

- [RV] [RWV]** へのダビング時、HDDの残量が少ないと
きはダビングできません。HDDの不要な番組を消去して
ください。

(使用するディスクによっては、HDDの残量が5倍
録モードで最大4時間必要な場合があります)

- 高画質(転送レート約18Mbps以上)の動画を、2倍速対応以下のDVDに取り込むことはできません。
- 4時間以上の番組をDVDにダビングする場合、4時間未満に番組分割(→99)してダビングしてください。

HDDにダビングできない

- [BD-RE] [BD-R]** ディスクの汚れや劣化によって、ダビングを中断する場合があります。「ムーブバックエラー制御」(→148)を「継続」にすると、ダビングを実行することができます。ただし、ダビング後の番組が再生できない、または映像や音声が乱れる場合があります。
- 以下の番組は、**[BD-RE] [BD-R]**からHDDにダビングできません。
 - ディスク内で番組分割した番組
 - 当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集した番組
 - ファイナライズしたディスクの番組
 - 録画時間が8時間を超える番組
 - 市販やレンタルのDVDなどコピー禁止処理された映像はダビングできません。

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーやCATV、ビエラ、他のディーガから LAN接続でダビングができない

- ネットワークの接続や設定を確認してください。
- 「お部屋ジャンプリンク機能」(→154)が「入」になっていますか。
- 接続機器の設定が正しいか確認してください。

お引越しダビングができる

- お引越しダビング対応機器については、当社ホームページ(→12)をご確認ください。
- お引越しダビングを使うためには、お引越し元の機器と、お引越し先の機器と同じネットワークに接続する必要があります。ネットワークに接続する方法および設定方法は、お使いの機器の説明書をご覧ください。

どこでもディーガ

設定ができない

- どこでもディーガの設定方法やよくあるご質問は当社ホームページをご確認ください。(→4)

故障かな!? (続き)

ビデオカメラ

撮影した動画がUSB接続でダビングできない

- ビデオカメラが、本機で対応している機器か確認してください。対応機器については、当社ホームページ（[→12](#)）をご覧ください。
- 本機とビデオカメラの接続を確認してください。USB接続が正しく認識されない（USB機器画面が表示されない）場合は、USB接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識されない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などにUSB接続した場合、認識されないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、ビデオカメラ側で正しく設定されているか確認してください。
- [MP4] 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 本機では当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG-2動画はダビングできません。

ネットワーク

接続機器との通信ができなくなった

- 通信が混み合っている場合があるため、しばらく待って再度実行してください。
- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）のリセットを行ってみてください。
- ネットワークに関しては、当社ホームページ（[→12](#)）をご覧ください。

お部屋ジャンプリンク・インターネット接続が不安定になる

- 無線LANをご使用の場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、2.4GHz帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。
- USB-HDDの設置については「USB-HDDの録画について」（[→39](#)）のお知らせをご覧ください。

お部屋ジャンプリンク

再生できない

- 別室のテレビなどで見る（本機をサーバーとして使用する）場合：
・接続や設定を確認してください。
・「機器一覧」（[→165](#)）で、再生する機器が「許可」になっていますか。
・再生する機器によっては、録画中の番組や1.5～15倍録モードの番組、スカパー！プレミアムサービスの番組、ハイビジョン動画は再生できません。
・「節電待機」（[→43](#)）で電源を「切」にしているときは、再生できません。
- 別室の機器の映像を見る（本機をクライアントとして使用する）場合：
・接続した機器側で本機が登録されていますか。
・すべての映像を再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。
- 他社製DLNA対応機器では使用できない場合があります。

再生できない、映像が途切れる（無線接続時）

- 802.11acまたは802.11n(2.4GHz/5GHz同時使用可)の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5GHzでのご使用をお勧めします。2.4GHzで電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 無線設定（[→153](#)）の画面で「電波状態」のインジケーターが4つ以上（受信レベル30以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかをお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定を再度行ってください。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源 : AC 100 V、50/60 Hz

消費電力 :

動作時：約 26 W

待機時(クリックスタート「切」／節電待機「モード2」)：

時計表示消灯時・約 0.15 W^{*1*2}

待機時(クリックスタート「入」省エネ)：

時計表示消灯時・約 9.0 W^{*1}

待機時(クリックスタート「入」標準)：

時計表示点灯時・約 11.0 W^{*1*3}

*1 地上デジタルアンテナーター：「入」

・BS・110度CSデジタル放送アンテナ電源：「切」

・BS・110度CSデジタル放送アンテナ出力：「切」

・外部接続端子(LAN、USB)：未接続

・無線LAN：未接続

*2 地上デジタル「モード1」の数値は、お客様の設定により変わります。

*3 HDMI出力解像度：1080i

待機時(電源「切」時)でも、番組表データの受信など本機が動作している場合の消費電力は増えます。

年間消費電力量

(表示値はJEITA基準による算出式を基に算出した参考値です)

23.6 kWh/ 年

HDD容量

- 2 TB

本体

寸法:

幅 430 mm × 高さ 49 mm × 奥行き 179 mm
(突起部含まず)

幅 430 mm × 高さ 49 mm × 奥行き 189 mm
(突起部含む)

質量:

約 2.2 kg

許容周囲温度: 5 °C ~ 40 °C

許容相対湿度: 10 % ~ 80 % RH (結露なきこと)

予約可能番組数

128 (予約可能期間: 1年間)

■ テレビジョン方式

放送方式:

地上デジタル放送方式(日本)

衛星デジタル放送方式(日本)

高度衛星デジタル放送方式(日本)

アンテナ受信入力:

地上デジタル入力:

90 MHz ~ 770 MHz 75 Ω (VHF: 1~12 CH,

UHF: 13~62 CH, CATV: C13~C63 CH)

BS・110度CSデジタル-IF入力:

1032 MHz ~ 2071 MHz (IF入力周波数)

右旋 75 Ω

2224 MHz ~ 3224 MHz (IF入力周波数)

左旋 75 Ω

電源供給: DC 15 V、最大4 W

アンテナ出力:

地上デジタル、BS・110度CSデジタル-IF各1系統

■ 入出力端子(映像・音声を除く)

LAN端子: 1系統

(10BASE-T/100BASE-TX)

USB端子【ハイスピードUSB(USB2.0)対応】:

前面1系統(DC 5 V 最大 500 mA)

USB端子(USBハードディスク録画用)

【スーパースピードUSB(USB3.0)対応】:

背面1系統、HDD対応(DC 5 V 最大 900 mA)

■ 映像

映像圧縮方式^{*4}:

HEVC/H.265、MPEG-4 AVC/H.264、

MPEG-2(Hybrid VBR)

※4 放送画質(DR/4KDRモード)記録時は、放送フォーマットで記録します。

HDMI映像・音声出力

映像出力端子(映像・音声):

1系統(19ピン type A端子)

映像: 4K/60pまで

映像出力:

HDMIビエラリンクVer.5

480/60p、1080/60i・60p・24p

4K/60p・30p・24p

(4Kの解像度は3840×2160まで)

仕様（続き）

■ 音声

記録方式：

MPEG-4 AAC (最大 22.2ch^{*1})

MPEG-2 AAC (最大 5.1ch^{*1})

Dolby Digital (2ch)

※1 放送フォーマットで記録します。

音声出力：

HDMI デジタル音声出力：

- PCM (最大 7.1ch)

以下は、対応アンプに接続し、bitstream で出力した場合のみ

- Dolby Digital, Dolby Digital EX,
Dolby Digital Plus, Dolby TrueHD,
Dolby Atmos
- DTS® Digital Surround™,
DTS® Digital Surround™ | ES, DTS® 96/24,
DTS-HD® High Resolution Audio,
DTS-HD® Master Audio, DTS:X®
- MPEG-2 AAC
- MPEG-4 AAC (最大 22.2ch)

■ USB 部

USB 機器：

対応フォーマット：FAT12、FAT16、FAT32

USB-HDD (録画用フォーマット)：

USB3.0/USB2.0 (160 GB 以上 8 TB 以下)

- 登録可能台数：最大8台まで(同時接続台数は1台のみ)

USB-HDD (SeeQVault フォーマット、写真・音楽用

フォーマット)：

USB3.0/USB2.0 (160 GB 以上 8 TB 以下)

- 同時接続台数は 1 台のみ

■ 写真

画素数：

34×34 ~ 16384×16384

サブサンプリング：4:2:2、4:2:0

記録 / 再生可能メディア：

HDD、BD-RE、BD-R、USB-HDD (SeeQVault フォーマット、写真・音楽用フォーマット)、USB 機器

再生のみ可能メディア：

DVD-R^{*2}、DVD-R DL^{*2}、DVD-RW^{*2}、DVD-RAM、
+R^{*2}、+R DL^{*2}、+RW^{*2}、CD-R、CD-RW

※2 JPEG のみ記録されたディスク

記録された機器でファイナライズ必要

最大枚数：

- HDD : 40000 枚 [写真、動画 (MP4)、音楽の合計の数]
- USB-HDD (SeeQVault フォーマット、写真・音楽用フォーマット) : 40000 枚 [写真、動画 (MP4)、音楽の合計の数]
- BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R、CD-RW、USB 機器 : 10000 枚

CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW :

対応フォーマット : ISO9660 level1 と 2 (拡張フォーマットは除く)、Joliet 対応

マルチセッション : 対応

パケットライト方式 : 非対応

再生画像：

- JPEG : ベースライン方式 (DCF [Design rule for Camera File system] 準拠)
 - Motion JPEG は非対応
- MPO : マルチピクチャーフォーマット (MPF [Multi Picture Format] 準拠)

■ 動画

録画番組

映像圧縮方式：

放送画質 (DR/4KDR モード) 記録時は放送フォーマットで記録します。

- HEVC/H.265
- MPEG-4 AVC/H.264
- MPEG-2 (Hybrid VBR)

音声記録方式：

• MPEG-4 AAC (最大 22.2ch)^{*3}

• MPEG-2 AAC (最大 5.1ch)^{*3}

※3 放送フォーマットで記録します。

• Dolby Digital (2ch)

ハイビジョンムービー (AVCHD) 動画：

ファイル形式 : AVCHD 規格準拠

圧縮方式 : MPEG-4 AVC/H.264

ハイビジョンムービー (MP4) 動画：

ファイル形式 : MP4 ファイルフォーマット (.MP4)

圧縮方式

ビデオ

MPEG-4 AVC/H.264 High profile 5.2 以下
ビットレート : 100 Mbps 以下

解像度 / フレームレート :

- 1920×1080/120p まで

- 3840×2160/60p まで

- 4096×2160/60p まで

MPEG-H HEVC/H.265 Main Profile Level

5.1 High Tier/Main 10 Profile Level 5.1

High Tier 以下

ビットレート : 100 Mbps 以下

解像度 / フレームレート :

- 1920×1080/120p まで

- 3840×2160/60p まで

- 4096×2160/60p まで

音声

MPEG-4 AAC-LC

サンプリング周波数 : 8 kHz ~ 48 kHz

チャンネル数 : 1 または 2

- ファイルの内容によっては、再生 / ダビングができない場合があります。

- 音声の内容によっては、映像のみ再生し、音声が不出力できない場合があります。

仕様（続き）

対応メディア

- 記録／再生^{*}／取り込み対応メディア：BD-RE、BD-R、USB-HDD (SeeQVault フォーマット、写真・音楽用フォーマット)
- 取り込みのみ対応メディア：USB 機器
※ メディアの状態や読み出し速度によって正しく再生できないときは、内蔵 HDD にダビングすると安定して再生することができる場合があります。

スマホ転送番組

圧縮方式：

MPEG-4 AVC/H.264、HEVC/H.265

記録画質：

150 kbps (180p)、400 kbps (180p)、
650 kbps (360p)、1.5 Mbps (720p)、
3.5 Mbps (720p)、2 Mbps (1080p)、
4 Mbps (1080p)

■ 音楽

音楽 CD

再生対応メディア：CD-Audio、CD-R、CD-RW

再生可能なファイル形式：CD-DA

音楽ファイル

対応メディア：

- 取り込み・バックアップ対応メディア：BD-RE、BD-R、USB-HDD (SeeQVault フォーマット、写真・音楽用フォーマット)、USB 機器
- 取り込みのみ対応メディア：
CD-Audio、CD-R、CD-RW

再生可能なファイル形式：

対応しているデータ形式や周波数であっても、データによっては再生できないことがあります。

- ・ WAV (.wav) : 最大 384 kHz、32 bit、2ch
- ・ FLAC (.flac) : 最大 192 kHz、24 bit、2ch/5.1ch
- ・ AAC (.m4a) : 最大 48 kHz、320 kbps、2ch
- ・ MP3 (.mp3) : 最大 48 kHz、320 kbps、2ch
- ・ DSD (.dsf/.dff) : 2.8 MHz (2ch/5.1ch)、5.6 MHz (2ch/5.1ch)、11.2 MHz (2chのみ)
- ・ AIFF (.aif/.aiff) : 最大 384 kHz、32 bit、2ch
- ・ ALAC (.m4a) : 最大 192 kHz、32 bit、2ch/5.1ch

音楽 CD 取り込みファイル形式：

WAV (44.1 kHz、16 bit、1.4 Mbps)
FLAC (44.1 kHz、16 bit、1.1 Mbps)

- ・スマホ持ち出し用変換ファイル
 - AAC(44.1 kHz, 128 kbps)
- ・ハイレゾ転送用変換ファイル
 - アップサンプリング 2 倍設定時
 - WAV(88.2 kHz, 24 bit, 4.2 Mbps)
 - FLAC(88.2 kHz, 24 bit, 3.2 Mbps)
 - アップサンプリング 4 倍設定時
 - WAV(176.4 kHz, 24 bit, 8.5 Mbps)
 - FLAC(176.4 kHz, 24 bit, 6.4 Mbps)

■ 無線 LAN

規格：

IEEE802.11a/n/ac : 5 GHz 帯

IEEE802.11b/g/n : 2.4 GHz 帯

ARIB STD-T71 (5 GHz 帯)、ARIB STD-T66 (2.4 GHz 帯)

・従来の 11a (J52) のみの対応機器とは接続できません。

(5 GHz 帯は屋内使用限定)

セキュリティー：

- WPA3-SAE (AES)
- WPA2-PSK (TKIP/AES)
- WPA-PSK (TKIP/AES)
- WEP (64bit/128bit)

■ クイックスタート時間

約 1 秒（テレビの状態によっては、表示時間が多少のびる場合があります）

- クイックスタート設定「入」の場合

電源 OFF 状態から番組表出画までの時間

電源 OFF 状態から録画一覧出画までの時間

電源 OFF 状態からトレイオープンするまでの時間

仕様（続き）

■ 録画モードと記録時間の目安（内蔵 HDD）

内蔵 HDD			2 TB
録画モード			
放送 画質 4K 4K DR ※1 ※2	BS/CS 4K	4K放送 (≤33 Mbps)	約 130 時間
	4K 1.3 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 168 時間
	4K 1.5 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 195 時間
	4K 1.6 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 210 時間
	4K 1.8 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 235 時間
	4K 2 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 260 時間
	4K 2.3 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 300 時間
	4K 2.5 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 325 時間
	4K 2.7 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 355 時間
	4K 3 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 390 時間
	4K 3.5 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 455 時間
	4K 4 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 520 時間
	4K 4.5 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 585 時間
	4K 5 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 650 時間
	4K 5.5 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 715 時間
	4K 6 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 780 時間
	4K 7 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 910 時間
	4K 8 倍録 ^{※3 ※4 ※5}		約 1040 時間
	4K 8~12 倍録 ^{※3 ※4 ※5 ※6}		約 1040 時間～ 約 1560 時間

※1 録画時間は放送（転送レート）により異なります。
※2 転送レートは現在運用されている数値を基準にしています。

※3 複数の音声信号を含む番組を録画する場合、4K 長時間録画モードで記録できる音声は最大 2 つまでです。

※4 設定「4K 画質の音声 ch 数優先」が「切」（初期値）の場合、記録音声は AAC 5.1ch または AAC 2ch のいずれか一方のみです。設定「4K 画質の音声 ch 数優先」が「入」の場合、AAC 22.2ch または AAC 7.1ch の音声も記録できます。

※5 記録時間は、記録音声が AAC 2ch 1 本の場合です。
記録音声が AAC のマルチ ch、または 2 本以上の場合は、記録時間が短くなる場合があります。

※6 番組の内容に応じて録画の倍率を 8 倍から 12 倍まで自動調整して録画します。スポーツや音楽など動きの激しい映像では、録画倍率が 8 倍録相当になります。

仕様 (続き)

内蔵 HDD			2 TB
録画モード			
放送 画質 ※1 ※2	BS デジタル	HD放送 (≤24 Mbps)	約 180 時間
	110 度 CS デジタル	SD放送 (≤12 Mbps)	約 360 時間
	地上 デジタル	HD放送 (≤17 Mbps)	約 254 時間
1.5 倍録			約 270 時間
1.6 倍録			約 288 時間
1.8 倍録			約 324 時間
2 倍録			約 360 時間
2.3 倍録			約 414 時間
2.5 倍録			約 450 時間
2.7 倍録			約 486 時間
3 倍録			約 540 時間
3.5 倍録			約 630 時間
4 倍録			約 720 時間
4.5 倍録			約 810 時間
5 倍録			約 900 時間
5.5 倍録			約 990 時間
6 倍録			約 1080 時間
7 倍録			約 1260 時間
8 倍録			約 1440 時間
9 倍録			約 1620 時間
10 倍録			約 1800 時間
11 倍録			約 1980 時間
12 倍録			約 2160 時間
15 倍録 ^{※3}			約 2700 時間

●本機では、内蔵 HDD に DVD 画質(XP、SP、LP)で録画できません。

※1 録画時間は放送（転送レート）により異なります。

※2 転送レートは現在運用されている数値を基準にしています。

※3 記録時間は、記録音声が AAC 2ch 1 本の場合です。
記録音声が AAC のマルチ ch、または 2 本以上の場合は、記録時間が短くなる場合があります。

仕様 (続き)

■ 録画モードと記録時間の目安 (ディスク)

録画モード		BD-RE、BD-R	128 GB	100 GB	50 GB	25 GB	
放送 画質	4KDR ※1※2	BS/CS 4K	4K放送 (≤33 Mbps)	約 8 時間	約 6 時間 10 分	約 3 時間	約 1 時間 30 分
4K 画質	4K 1.3 倍録 ^{※3※4※5}		約 10 時間 15 分	約 8 時間	約 3 時間 45 分	約 1 時間 45 分	
	4K 1.5 倍録 ^{※3※4※5}		約 12 時間	約 9 時間 15 分	約 4 時間 30 分	約 2 時間 15 分	
	4K 1.6 倍録 ^{※3※4※5}		約 12 時間 50 分	約 10 時間	約 4 時間 50 分	約 2 時間 25 分	
	4K 1.8 倍録 ^{※3※4※5}		約 14 時間 30 分	約 11 時間 10 分	約 5 時間 30 分	約 2 時間 45 分	
	4K 2 倍録 ^{※3※4※5}		約 16 時間	約 12 時間 20 分	約 6 時間	約 3 時間	
	4K 2.3 倍録 ^{※3※4※5}		約 18 時間 30 分	約 14 時間 20 分	約 7 時間	約 3 時間 30 分	
	4K 2.5 倍録 ^{※3※4※5}		約 20 時間	約 15 時間 30 分	約 7 時間 30 分	約 3 時間 45 分	
	4K 2.7 倍録 ^{※3※4※5}		約 21 時間 40 分	約 16 時間 40 分	約 8 時間 20 分	約 4 時間 10 分	
	4K 3 倍録 ^{※3※4※5}		約 24 時間	約 18 時間 30 分	約 9 時間	約 4 時間 30 分	
	4K 3.5 倍録 ^{※3※4※5}		約 28 時間	約 21 時間 35 分	約 10 時間 30 分	約 5 時間 15 分	
	4K 4 倍録 ^{※3※4※5}		約 32 時間	約 24 時間 40 分	約 12 時間	約 6 時間	
	4K 4.5 倍録 ^{※3※4※5}		約 36 時間	約 27 時間 45 分	約 13 時間 30 分	約 6 時間 45 分	
	4K 5 倍録 ^{※3※4※5}		約 40 時間	約 30 時間 50 分	約 15 時間	約 7 時間 30 分	
	4K 5.5 倍録 ^{※3※4※5}		約 44 時間	約 33 時間 55 分	約 16 時間 30 分	約 8 時間 15 分	
	4K 6 倍録 ^{※3※4※5}		約 48 時間	約 37 時間	約 18 時間	約 9 時間	
	4K 7 倍録 ^{※3※4※5}		約 56 時間	約 43 時間 10 分	約 21 時間	約 10 時間 30 分	
	4K 8 倍録 ^{※3※4※5}		約 64 時間	約 49 時間 20 分	約 24 時間	約 12 時間	
	4K 8~12 倍録 ^{※3※4※5※6}		約 64 時間～ 約 96 時間	約 49 時間 20 分～ 約 74 時間	約 24 時間～ 約 36 時間	約 12 時間～ 約 18 時間	

- 128 GB は BD-R のみ。

※1 録画時間は放送（転送レート）により異なります。

※2 転送レートは現在運用されている数値を基準にしています。

※3 複数の音声信号を含む番組を録画する場合、4K 長時間録画モードで記録できる音声は最大 2 つまでです。

※4 設定「4K 画質の音声 ch 数優先」が「切」(初期値) の場合、記録音声は AAC 5.1 ch または AAC 2 ch のいずれか一方のみです。設定「4K 画質の音声 ch 数優先」が「入」の場合、AAC 22.2ch または AAC 7.1ch の音声も記録できます。

※5 記録時間は、記録音声が AAC 2ch 1 本の場合です。記録音声が AAC のマルチ ch、または 2 本以上の場合は、記録時間が短くなる場合があります。

※6 番組の内容に応じて録画の倍率を 8 倍から 12 倍まで自動調整して録画します。スポーツや音楽など動きの激しい映像では、録画倍率が 8 倍録相当になります。



戻る

仕様 (続き)

録画モード			128 GB	100 GB	50 GB	25 GB	
放送 画質	DR ※1※2	BS デジタル 110 度 CS デジタル 地上 デジタル	HD放送 (≤24 Mbps) SD放送 (≤12 Mbps) HD放送 (≤17 Mbps)	約 11 時間 10 分 約 22 時間 20 分 約 15 時間 30 分	約 8 時間 40 分 約 17 時間 20 分 約 12 時間	約 4 時間 20 分 約 8 時間 40 分 約 6 時間	約 2 時間 10 分 約 4 時間 20 分 約 3 時間
1.5 倍録			約 16 時間 45 分	約 13 時間	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分	
1.6 倍録			約 17 時間 55 分	約 14 時間	約 7 時間	約 3 時間 30 分	
1.8 倍録			約 20 時間 10 分	約 16 時間	約 8 時間	約 4 時間	
2 倍録			約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	
2.3 倍録			約 25 時間 45 分	約 20 時間	約 10 時間	約 5 時間	
2.5 倍録			約 27 時間 55 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	約 5 時間 25 分	
2.7 倍録			約 30 時間 10 分	約 24 時間	約 12 時間	約 6 時間	
3 倍録			約 33 時間 30 分	約 26 時間	約 13 時間	約 6 時間 30 分	
3.5 倍録			約 39 時間 5 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分	約 7 時間 35 分	
4 倍録			約 44 時間 40 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	
4.5 倍録			約 50 時間 15 分	約 39 時間	約 19 時間 30 分	約 9 時間 45 分	
5 倍録			約 55 時間 50 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	
5.5 倍録			約 61 時間 25 分	約 48 時間	約 24 時間	約 12 時間	
6 倍録			約 67 時間	約 52 時間	約 26 時間	約 13 時間	
7 倍録			約 78 時間 10 分	約 60 時間 40 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分	
8 倍録			約 89 時間 20 分	約 69 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	
9 倍録			約 100 時間 30 分	約 78 時間	約 39 時間	約 19 時間 30 分	
10 倍録			約 111 時間 40 分	約 86 時間 40 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	
11 倍録			約 122 時間 50 分	約 95 時間 20 分	約 47 時間 40 分	約 23 時間 50 分	
12 倍録			約 134 時間	約 104 時間	約 52 時間	約 26 時間	
15 倍録 ^{※3}			約 167 時間 30 分	約 130 時間	約 65 時間	約 32 時間 30 分	

- 128 GB は BD-R のみ。
 - 本機では、BD-RE、BD-R に DVD 画質(XP、SP、LP)で録画できません。
- ※1 録画時間は放送（転送レート）により異なります。
- ※2 転送レートは現在運用されている数値を基準にしています。
- ※3 記録時間は、記録音声が AAC 2ch 1 本の場合です。記録音声が AAC のマルチ ch、または 2 本以上の場合は、記録時間が短くなる場合があります。

仕様 (続き)

録画モード	ディスク	DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (8.5 GB) (片面2層)	DVD-RW (4.7 GB)
ハイビジョン画質	1.5倍録	約36分	約1時間7分	本機では 録画できません
	1.6倍録	約39分	約1時間12分	
	1.8倍録	約44分	約1時間21分	
	2倍録	約48分	約1時間30分	
	2.3倍録	約56分	約1時間43分	
	2.5倍録	約1時間	約1時間52分	
	2.7倍録	約1時間5分	約2時間1分	
	3倍録	約1時間12分	約2時間15分	
	3.5倍録	約1時間24分	約2時間37分	
	4倍録	約1時間36分	約3時間	
	4.5倍録	約1時間48分	約3時間22分	
	5倍録	約2時間	約3時間45分	
	5.5倍録	約2時間12分	約4時間7分	
	6倍録	約2時間24分	約4時間30分	
	7倍録	約2時間48分	約5時間15分	
	8倍録	約3時間12分	約6時間	
	9倍録	約3時間36分	約6時間45分	
	10倍録	約4時間	約7時間30分	
	11倍録	約4時間24分	約8時間15分	
	12倍録	約4時間48分	約9時間	
	15倍録*	約6時間	約11時間15分	
DVD画質	XP	約1時間	約1時間45分	約1時間
	SP	約2時間	約3時間35分	約2時間
	LP	約4時間	約7時間10分	約4時間

● 本機では DVD-RAM には記録できません。

※ 記録時間は、記録音声が AAC 2ch 1 本の場合です。記録音声が AAC のマルチ ch、または 2 本以上 の場合は、記録時間が短くなる場合があります。

仕様（続き）

お知らせ

- 4K 画質モードの記録時間は、記録する音声が AAC 2ch 1つの場合です。
- 4K 画質モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、記録できる音声は最大2つです。「4K 画質の音声 ch 数優先」(→148) が「切」(お買い上げ時) の場合、記録音声は AAC 5.1ch または AAC 2ch のいずれか一方のみです。「4K 画質の音声 ch 数優先」(→148) が「入」の場合、AAC 22.2ch または AAC 7.1ch の音声も記録できますが、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。
- DR モードの録画時間は放送（転送レート）によって異なります。本機の残量表示は、4KDR モードは 4K 放送を 33 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- **[HDD]** スマホ転送番組や写真を記録している場合は、記録できる時間は少なくなります。
- 15 倍録モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態（録画される時間の 1.3 倍以上の残量がある状態）で録画することをお勧めします。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DR モード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。
(**[HDD] [BD-RE] [BD-R] [-R AVCREC]** では、特にその差が著しくなります)
- DR モードの録画時間は放送（転送レート）によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を 17 Mbps、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない（ビットレートの低い）番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいに記録することができない場合があります。

仕様（続き）

■ 記録できる最大番組数（使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります）

- **HDD**：10000（スマホ転送番組を含む。長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）
 - **BD-RE**^{*1} **BD-R**^{*1} **-R AVCREC**：200
 - **-R VR** **-R V** **-RW VR** **-RW V**：99
 - **USB-HDD**（録画用フォーマット）：10000（撮影ビデオは記録できません）
 - **USB-HDD**（SeeQVault フォーマット）：10000
- ※1 25 GB、50 GB、100 GB、128 GB 共通

■ 最大チャプターマーク数（記録状態により少なくなる場合があります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）

- **HDD** **USB-HDD**（録画用フォーマット）：1番組当たり約 999 個
 - **BD-RE**^{*2} **BD-R**^{*2} **-R AVCREC**：1 ディスク当たり約 1000 個
 - **-R VR** **-RW VR**：1 ディスク当たり約 999 個
 - **BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC** **USB-HDD**（SeeQVault フォーマット）：1 番組当たり約 100 個
- ※2 BDXL 以外のディスクのみ

■ スマホ転送番組の記録可能時間の目安

容量\画質	150 kbps (180p)	400 kbps (180p)	650 kbps (360p)	1.5 Mbps (720p)	3.5 Mbps (720p)	2 Mbps (1080p)	4 Mbps (1080p)
8 GB	約 106 時間	約 40 時間	約 24 時間	約 10 時間	約 4 時間	約 8 時間	約 4 時間
16 GB	約 213 時間	約 80 時間	約 49 時間	約 21 時間	約 9 時間	約 16 時間	約 8 時間
32 GB	約 426 時間	約 160 時間	約 98 時間	約 42 時間	約 18 時間	約 32 時間	約 16 時間
64 GB	約 853 時間	約 320 時間	約 196 時間	約 85 時間	約 36 時間	約 64 時間	約 32 時間

本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

■ 記録方式

BD-RE :

Blu-ray Disc Rewritable Format 準拠

BD-R :

Blu-ray Disc Recordable Format 準拠

DVD-R、DVD-R DL（片面2層）：

DVD ビデオ規格準拠、DVD ビデオレコーディング規格準拠、AVCREC 規格準拠

DVD-RW :

DVD ビデオ規格準拠、DVD ビデオレコーディング規格準拠

仕様 (続き)

■ 記録／再生可能なディスク

(◎：記録／再生 ○：再生のみ ×：記録／再生不可)

ディスクの種類		コンテンツ				
		番組	BD ビデオ	AVCHD 規格準拠	写真／動画 (MP4)	音楽
BD-RE	片面 1 層 (25GB) 片面 2 層 (50GB) 片面 3 層 (100GB)	◎	×	×	◎	◎
BD-R	片面 1 层 (25GB) 片面 2 層 (50GB) 片面 3 層 (100GB) 片面 4 層 (128GB)	◎	×	×	◎	◎

ディスクの種類		コンテンツ					
		番組		DVD ビデオ 規格準拠	AVCREC 規格準拠	写真	音楽
DVD-R	片面 1 層	◎ *3	◎ *1	◎ *1	○ *1*3	○ *2	×
	片面 2 層						
DVD-RW	Ver.1.1/1.2 に準拠の 6X SPEED まで	◎	×	◎ *1	○ *1*3	○ *2	×

※1 他機で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズ必要

※2 JPEG のみ記録されたディスク。記録された機器でファイナライズ必要

※3 他機で記録されたディスクは、再生のみ可能

■ 再生のみ可能なディスク

ディスクの種類		コンテンツ				
		番組	BD ビデオ *5	AVCHD 規格準拠	写真	音楽 (CDDA)
DVD-RAM *4		○	×	○	○	×
BD ビデオ		×	○	×	×	×

※4 カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出して再生可能

※5 Ultra HD Blu-ray、Blu-ray 3D、BD-LIVE、マスタークレードビデオコーディングに準拠

☞ Ultra HD ブルーレイの 4K/HDR 再生については (→89)

ディスクの種類		コンテンツ				
		番組	DVD ビデオ 規格準拠	AVCHD 規格準拠	写真	音楽 (CDDA)
DVD ビデオ		×	○	×	×	×
+R/+R DL/+RW		○ *6	○	○	○	×
CD-Audio		×	×	×	×	○
CD-R/CD-RW		×	×	×	○	○

※6 他機で記録した番組

仕様 (続き)

■ デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch(チャンネル数)は最大チャンネル数を表示]

接続端子		HDMI 端子						
「HDMI 出力」の設定		オート ^{*1}		PCM				
再生 コン テン ツの 種 類	「BD ビデオ副音声・操作音」の設定 ^{*2}	入 ^{*3}	切	入	切			
	Dolby Digital Dolby Digital EX	Dolby Digital	オリジナルの 音声で出力	ダウンミックス 2ch PCM				
	Dolby Digital Plus Dolby TrueHD							
	DTS® Digital Surround™ DTS® Digital Surround™ ES	DTS® Digital Surround™						
	DTS-HD® High Resolution Audio							
	DTS-HD® Master Audio	7.1ch PCM ^{*4}						
7.1ch LPCM				7.1ch PCM ^{*4}				

*1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS® Digital Surround™ の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM (例: テレビなど) で出力します。

*2 「BD ビデオ副音声・操作音」(→150) を「自動切換」に設定すると、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD® に対応した HDMI 機器を接続している場合には、オリジナルの音声を優先して出力します。

*3 「BD-V」副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(→150) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

*4 接続する機器が 7.1ch に非対応のときは、ダウンミックス 5.1ch PCM、またはダウンミックス 2ch PCM で出力します。

接続端子		HDMI 端子	
「HDMI 出力」の設定		オート ^{*1}	PCM
再生 コン テン ツの 種 類	4K 放送 (4KDR モード、4K 画質モード) ^{*3} (22.2ch)	MPEG-4 AAC 22.2/7.1/ 5.1/2ch	ダウンミックス 5.1ch PCM ^{*2}
	4K 放送 (4KDR モード、4K 画質モード) ^{*3} (7.1ch)	MPEG-4 AAC 7.1/5.1/2ch	ダウンミックス 5.1ch PCM ^{*2}
	4K 放送 (4KDR モード、4K 画質モード) ^{*4} (5.1ch)	MPEG-4 AAC 5.1/2ch	5.1ch PCM ^{*2}
	4K 放送 (4KDR モード、4K 画質モード) (2ch)	MPEG-4 AAC 2ch	2ch PCM
	4K 放送 (1.5 ~ 15 倍録) ^{*5}	MPEG-2 AAC 2ch	2ch PCM
	ハイビジョン放送 (DR、1.5 ~ 15 倍録) (5.1ch)	MPEG-2 AAC 5.1/2ch	5.1ch PCM ^{*2}
	ハイビジョン放送 (DR、1.5 ~ 15 倍録) (2ch)	MPEG-2 AAC 2ch	2ch PCM

*1 接続する機器が非対応のときは、PCM 2ch または 5.1ch で出力します。

*2 接続する機器が非対応のときは、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

*3 「4K 画質の音声 ch 数優先」(→148) が「入」の時

*4 「4K 画質の音声 ch 数優先」(→148) が「切」の時

*5 4K 放送の番組を 1.5 ~ 15 倍録に録画モード変換した場合、MPEG-2 AAC 2ch (ステレオ音声) で記録します。(→51)



戻る

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
 - TiVo、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 TiVo Brands LLC および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。G ガイドは、米国 Xperi Inc. および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。米国 Xperi Inc. およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。G ガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。G ガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
 - 電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
 - 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
 - ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
 - “Master Grade Video Coding” の文字およびロゴはパナソニックホールディングス株式会社の登録商標です。「マスター・グレード」は(株)バンダイの登録商標です。
 - For DTS patents, see <http://xperi.com/dts-patents/>. Manufactured under license from DTS, Inc. and its affiliates. DTS, the DTS logo, Digital Surround, and DTS 2.0 + Digital Out are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. and its affiliates in the United States and/or other countries. © DTS, Inc. and its affiliates. ALL RIGHTS RESERVED.
 - HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
 - OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
 - Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - QR コードは、株式会社デンソーウエーブの登録商標です。
 - 日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイルWnnを使用しています。
- “Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd.
1999-2002 All Rights Reserved
- 富士通株式会社の Insprium 音声合成ライブラリを使用しています。Insprium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011-2025
 - “DVD Logo” は DVD フォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
 - “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™”、“WPA3™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
 - DSD はソニー株式会社の登録商標です。
 - FLAC のソフトウェアライセンス文は、「[ホーム] ボタンを押し、「設定」→「メール・情報」→「ID表示」→「[青] ボタンを押して「ソフト情報」をご参照ください。」
 - SeeQVault および SeeQVault ロゴは NSM Initiatives LLC の商標です。
 - AURO-3D® は NewAuro の登録商標です。
 - 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
 詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpeglal.com>) をご参照ください。
 - 本製品は、VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報を VC-1 規格に準拠して（以下、VC-1 ビデオ）記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された VC-1 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した VC-1 ビデオを再生すること。
 詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpeglal.com>) をご参照ください。
 - この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、「[ホーム] ボタンを押し、「設定」→「メール・情報」→「ID表示」→「[青] ボタンを押して「ソフト情報」をご参照ください。」
 - Copyright 2004-2014 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。



戻る

著作権など（続き）

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。

無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー（ダビング）が中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、

<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元是不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機器をネットワークに接続して利用される場合、当社は、本機器に入力された文字情報を、本機器の操作機能（かな漢字変換や番組の検索等を含む）の利便性向上や新機能の開発のために、弊社サーバー上で保管し、利用することがあります。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は2025年9月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのはかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- シーン／見どころ情報は、情報提供元より提供された番組関連情報を元に表示しています。当社は、シーン／見どころ情報について、表示結果としての完全性、正確性、網羅性、的確性、十分性、その他あらゆる意味での完成度について、一切保証を行なうものではありません。シーン／見どころ情報の正確性、的確性、完成度などに起因しましたは関連して生じたお客様の損失・損害について、当社は一切責任を負わないものとします。
- 天災、システム障害などの事由により、シーン／見どころ情報が表示できない場合があります。当社は、シーン／見どころ情報の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。

ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。© 2023-2025 ACCESS CO., LTD.
All rights reserved. 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
● GoogleおよびGoogle HomeはGoogle LLCの商標です。
● 「位置参照情報ダウンロードサービス」（国土交通省）
(<https://niftp.mlit.go.jp/ksj/other/agreement.html>)
を加工して作成



著作権など（続き）

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して発売されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての默示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口 : oss_cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://docs.connect.panasonic.com/oss/>

"PlayReady" is a trademark registered by Microsoft. Please be aware of the following.

(a) This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

(b) Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies.

Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content.

If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

ソフトウェア更新に関する重要なお知らせ

①当社は、ブルーレイディスクレコーダーに内蔵のソフトウェアを、バグ等の修正、機能改善、機能追加、セキュリティ機能の強化などを目的に更新いたします。当該更新により、利用者が使用されるブルーレイディスクレコーダーおよび内蔵ソフトウェアの機能の追加、削除等の変更が行われる場合があります。②また、当該更新は当社の判断により行われ、その適用をブルーレイディスクレコーダーおよび内蔵ソフトウェアの継続的な使用の条件とすることがあります。なお、内蔵ソフトウェアの更新にともない、利用規約の条件を追加、修正、削除する等一部変更する可能性がありますが、いずれの場合も表示部上またはサポートサイト (<https://panasonic.jp/support/av/diga601/>) 上にて事前に周知されます。③当社は、法律により許容される範囲において、内蔵ソフトウェアの更新に関して、故意または過失により生じた場合を除き、利用者に対して一切の責任を負うものではありません。利用規約に同意いただけない場合は、設定よりソフトウェアを更新しない設定でお使いください。

損害について

本機の誤った使用、使用時に生じた故障、その他の不具合、本機の使用により受けられた損害については、法令上責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権など（続き）

Gracenote®エンド ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」とする）を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenote データ」とする）などの音楽関連情報をオンライン サーバー（または製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」とする）から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

本アプリケーションまたは本製品は、Gracenote の提供者が所有するコンテンツを含む場合があります。その場合、ここに説明する Gracenote データに関する全ての制限は、該当するコンテンツにも適用され、また該当する提供者は、ここに説明する Gracenote が享受可能な全ての利益および保護を享受する権利を保有します。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利かつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対してても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、

使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または默示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、默示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または默示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、あるいは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

一部コンテンツの著作権はグレースノートもしくはコンテンツプロバイダーに帰属します。



Gracenote、Gracenote のロゴおよびロゴタイプ、「Powered by Gracenote」のロゴは、アメリカ合衆国および/または他国における Gracenote, Inc. の登録商標または商標のいずれかです。

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- 番組表表示や、1か月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- 宅外リモート接続機能
- 人名検索に関連する機能
- シーン一覧に関連する機能
- 番組ニュース機能
- 音楽のタイトルやアーティスト情報などをインターネット経由で取得する機能
- AI おすすめ機能
- その他の放送やネットワークのサービス事業者が提供するサービス

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは
まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

ACAS番号

※ ACAS 番号を記入してください。

お問い合わせのときに必要な場合があります。

ACAS 番号を確認するには (→19)

※ ACAS チップが故障した場合には、部品交換修理になり、ACAS 番号が変わります。
その際には、ご契約先の NHK や有料放送に変更連絡してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな!?」(→183 ~ 190) でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をお買い上げの販売店にご連絡ください。

● 製品名 ブルーレイディスクレコーダー

● 品番 DMR-4TS204S

● 故障の状況 できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、
おそれりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間

8年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙の「Diga (ディーガ)・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口」、「修理に関するご相談窓口」にご連絡ください。

お問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることができます。(→183)

事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

さくいん

英数字	ページ
■ ACAS チップ	
番号を見る.....	19、157
■ AVCHD	
再生する	119
取り込む	114
■ BD-Live	90
BD-Live インターネット接続.....	147
■ CATV	
接続する	24
録画する	79
■ DIGA Drive 機能	138
■ DNS-IP 自動取得.....	153
■ DR モード切り換えについて	77
■ ECO スタンバイ	151
■ HDD	
取り扱い	170
フォーマット.....	149
■ HDMI	
アンプと接続.....	29
設定する (「HDMI 接続設定」)	151
テレビと接続.....	20
■ HDR (ハイダイナミックレンジ)	152
■ IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定....	153
■ MP4	
書き出す	123
再生する	119
取り込む	114
■ SeeQVault.....	38
■ Ultra HD ブルーレイ	89
■ USB-HDD	
接続する	39
フォーマットする.....	40
■ USB 機器	42
■ U30.....	176
■ 10 秒戻し	91
■ 24p 出力.....	151
■ 3D	
3D 再生時の注意表示	151
3D ディスクの再生方法.....	147
再生する (映像)	90
■ 30秒送り	91
■ 4KDR モード	51
■ 4K 画質モード.....	51
■ 4K 出力	151
■ 4K 動画 (MP4)	
再生	119
保存	114
あ 行	
ページ	
■ 暗証番号	
BD-Video の視聴可能年齢	147
DVD-Video の視聴制限	147
HDD 番組の視聴制限	149
視聴制限 (番組)	156
■ アンテナ	
アンテナ電源.....	160
アンテナの調整 (アンテナレベル)	159
接続する	18
■ 一括ダビング	112
■ 枝番号	49
■ オートサウンド連携	135
■ お好みチャンネル	48
■ 追っかけ再生	83
■ お手入れ	169
■ お録りおき	
再生する	87
消去する	87
設定する	73
保存する	87
■ お引越しダビング	112
■ お部屋ジャンプリンク	
設定する	165
操作する	136
■ おまかせ録画	69
■ 音楽	
再生する (CD)	127
■ 音声	
音質効果を設定する	96
音声言語を切り換える (音声情報)	94
音声を切り換える (再生時)	93
音声を切り換える (受信時)	48
記録する音声 (主/副) を選ぶ （「二重音声記録時の音声選択」）	148
■ 音声ガイドの設定	145

さくいん（続き）

か 行	ページ
■ 画質変更ダビング	103
■ カテゴリーまとめて予約	71
■ かんたん設置設定	31
■ かんたんダビング	104
■ 機器パスワード初期化	154
■ ギャップレス再生	128
■ 記録方式	35
■ クイックスタート	146
■ ケーブルテレビ（CATV）	
接続する	24
録画する	79
■ 検索する	62、63
■ 高速ダビング	
高速ダビング速度	148
■ すべての設定リセット	158
■ コマ送り／コマ戻し	91
さ 行	ページ
■ サーチ	91
■ 最新ニュース	74
■ 再生する	
BD ビデオ、DVD ビデオ	
（市販またはレンタル）	89
音楽（CD）	127
撮影ビデオ（AVCHD、MP4）	119
写真	119
番組	83
プレイリスト	83
■ 再生設定	94
■ 再生中番組の保存	110
■ 探して毎回予約	134
■ 撮影ビデオ（AVCHD、MP4）	
再生する	119
取り込む	114
■ サブメニュー	
かんたんダビング	106
写真／動画一覧	121
スマホ転送番組一覧	133
番組表	56
録画一覧（再生）	84
録画一覧（編集）	97
■ シーン一覧	85
■ 次エピソード自動再生	86
■ 時間指定予約	67
■ 視聴制限	
BD-Video の視聴可能年齢を設定する	147
DVD-Video の視聴制限を設定する	147
番組の視聴制限を設定する	156
■ 自動更新録画	58
■ 字幕	
切り換える（再生時）	93
切り換える（受信時）	49
字幕設定（再生設定）	94
字幕設定（放送設定）	156
録画モードによる記録の違い	51
■ 写真	
書き出す	123
再生する	119
取り込む	118
■ 受信アンテナ設定	159
■ 仕様	191
■ 消去する	
写真	121
スマホ転送番組	133
番組	97
録画一覧の全番組消去（HDD）	149
録画一覧の全番組消去（ブルーレイディスク、DVD）	142
■ 詳細ダビング	
番組をダビングする	107
ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）をダビングする	109
■ 信号切換	
再生時	94
放送受信時	49

さくいん（続き）

■ 信号設定	60
■ 診断コード	183
■ 新番組／特番おしらせ	66
■ スカパー！プレミアムサービス 接続する	26、27
設定する	165
録画予約する	78
■ スキップ	91
■ すべての設定リセット	158
■ スマホ転送番組 記録時間の目安	200
作成する	131
転送する	133
■ スロー再生	91
■ 設定	145
■ 節電待機	43
■ 選局対象	156
■ 操作状態の表示（情報表示） 再生時	93
受信時	48
た 行	
ページ	
■ 代替録画	75
■ ダウンミックス	150
■ ダウンロード ソフトウェア更新	168
■ 他機器での再生について	35
■ 宅外リモート	166
■ ダビング お引越しダビング	112
かんたんダビング	104
再生中番組の保存	110
詳細ダビング	107
セットトップボックスから	113
ディーガから	112
ピエラから	113
ビデオカメラから	114
■ チャプター	101
自動チャプター	148
■ チャプターマーク	101
■ チャンネル設定	161
■ 重複について	76
■ 通信によるGガイド受信	156
■ 続き再生メモリー機能	91

■ ディスク 記録できるディスク	35
再生のみできるディスク	37
ディスクの再生方法（再生設定）	94
名前を付ける	142
フォーマット	141
プロテクト	142
■ ディモーラ	34
■ データ放送	47
■ 同時録画再生	83
■ 同時録画について	80
■ どこでもディーガ	4、166

な 行	ページ
■ 名前を付ける ディスク	142
番組	97
予約録画	67
■ 日時設定	145
■ ニューストピックス	74
■ ニュース録画設定	74
■ ネットワーク 接続する	26
設定する	32、153

は 行	ページ
■ ハイビジョン画質	52
■ ハイビジョン動画（AVCHD） 再生する	119
取り込む	114
■ ハイレゾ音源（音楽ファイル） 再生	128
保存（取り込み）	130
■ ハイレゾリマスター	96
■ はっきり効果	96
■ 早送り／早戻し（サーチ）	91
■ 早見再生（1.3倍速／1.6倍速／2.0倍速）	91
■ 番組 再生する	83
消去する	97
名前を付ける	97
プロテクト	97
編集する	97
■ 番組キープ	135
■ 番組結合	98
■ 番組追従機能	75

さくいん（続き）

■ 番組転送	131
■ 番組内容	48、92
■ 番組ニュース	65
■ 番組表	
枝番号表示を非表示にする（選局対象）	156
画面の見方	55
検索（フリーワード、ジャンル）	62
設定を確認する	156
表示チャンネル数を変更する	56
予約録画する	57
■ 番組分割	99
■ ビエラリンク（HDMI）	134
■ ファイナライズ	
ファイナライズ解除	143
他のBD/DVD機器再生（ファイナライズ）	143
■ フォーマット（初期化）	141
■ 副映像	90
■ 部分消去	98
■ 部分リセット	158
■ プレイリスト	83
■ プレビューサーチ	92
■ プロキシサーバー設定	153
■ プロテクト（書き込み禁止）	
ディスク	142
番組	97
■ 編集する	
番組	97
■ 放送設定	155
■ 放送メール	157
■ ホーム画面	44
■ ポップアップメニュー	89
■ 本体表示窓の明るさ	146
 ま 行	ページ
■ 毎日・毎週予約	58
設定する	59
毎日・毎週予約で録画した番組の再生	
（まとめ番組の再生）	86
■ マイラベル	
設定する（予約時）	60
設定する（録画一覧で）	99
■ マスタークリードビデオコーディング	90
■ まとめ番組	86
■ ムーブバック（詳細ダビング）	103、107
■ 無線 LAN	
接続する	27
設定する	32
■ 文字入力	144

や 行	ページ
■ 野球延長対応（番組追従）	75
■ ゆっくり再生	93
■ 予約確認	68
■ 予約録画	
重複について	76
番組表を使って	57
予約内容の確認・取り消し・修正	68
録画日時を指定して（時間指定予約）	67
 ら 行	ページ
■ リージョンコード / リージョン番号	37
■ リピート再生	94
■ リモコン	
各部の働き	16
他機器が同時に動作するのを防ぐ （リモコンモード）	162
本機のリモコンでテレビを操作する （リモコンのテレビ操作設定）	163
■ リモコンモード	162
■ 録画中に再生する	
（追っかけ再生/同時録画再生）	83
■ 録画中の同時操作	172
■ 録画モード	51
変換する	100
録画モードを選ぶ （かんたんダビング時の画質変更）	106
録画モードを選ぶ（詳細ダビング時）	107
録画モードを選ぶ（予約時）	58
録画モードを選ぶ（録画時）	54
■ 録画モードと記録時間の目安	
録画	194
ディスク	196

「CLUB Panasonic」に「商品登録」をお願いします

ご利用の家電をまとめて登録管理、商品のサポートも充実
詳しくはこちら <https://panasonic.jp/membership/mylist>



お問い合わせについて

まずは、本書の「故障かな!?」(→183)をご確認ください。

解決しない場合は、下記のご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support>



DIGA（ディーガ）・オーディオ 使い方・お手入れなどのご相談窓口



0120-878-982

受付時間
9:00~18:00 月~土曜日
(祝日・正月三が日を除く)

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
- FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

電話番号・受付時間は予告なく変更する場合があります。
最新情報は上記QRコードから確認できます。



修理に関するご相談窓口



0120-878-554

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 受付時間 9:00~18:00
03-6633-6700
(一部地域を除く)



<https://panasonic.jp/support/repair.html>

掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)

・ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

・受付時間などの最新情報はWebをご確認ください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめ了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 煙が出たり、異常ににおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、
電源を切り、コンセント
から電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検を
ご相談ください。

パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント＆コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2025

DVQP3530ZA/X1

F0925KY0